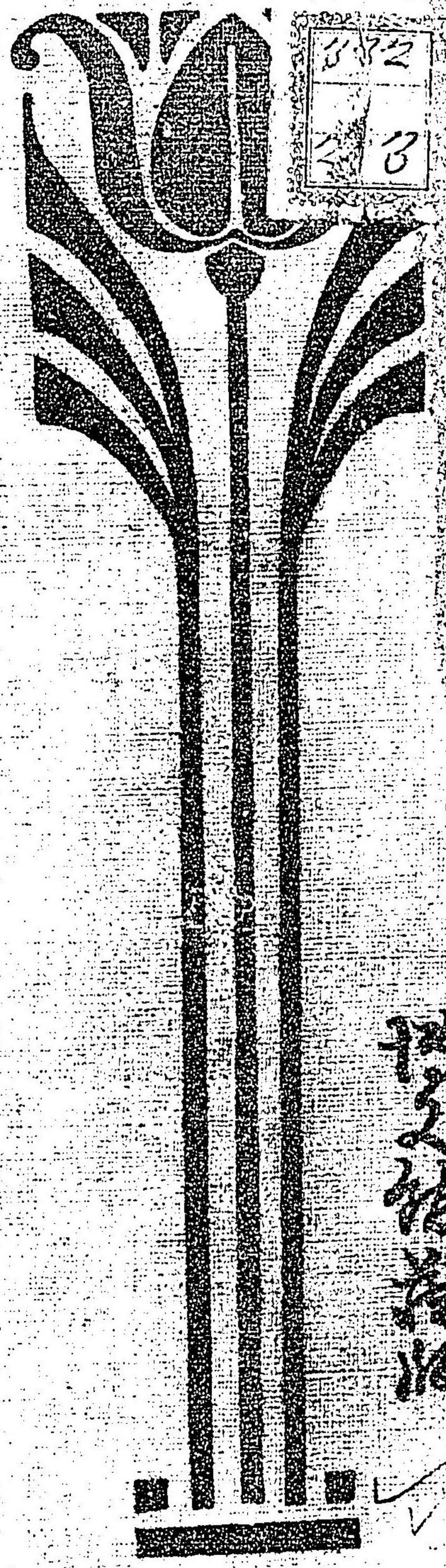


372
3



新渡戸草子

新渡戸草子

新渡戸草子

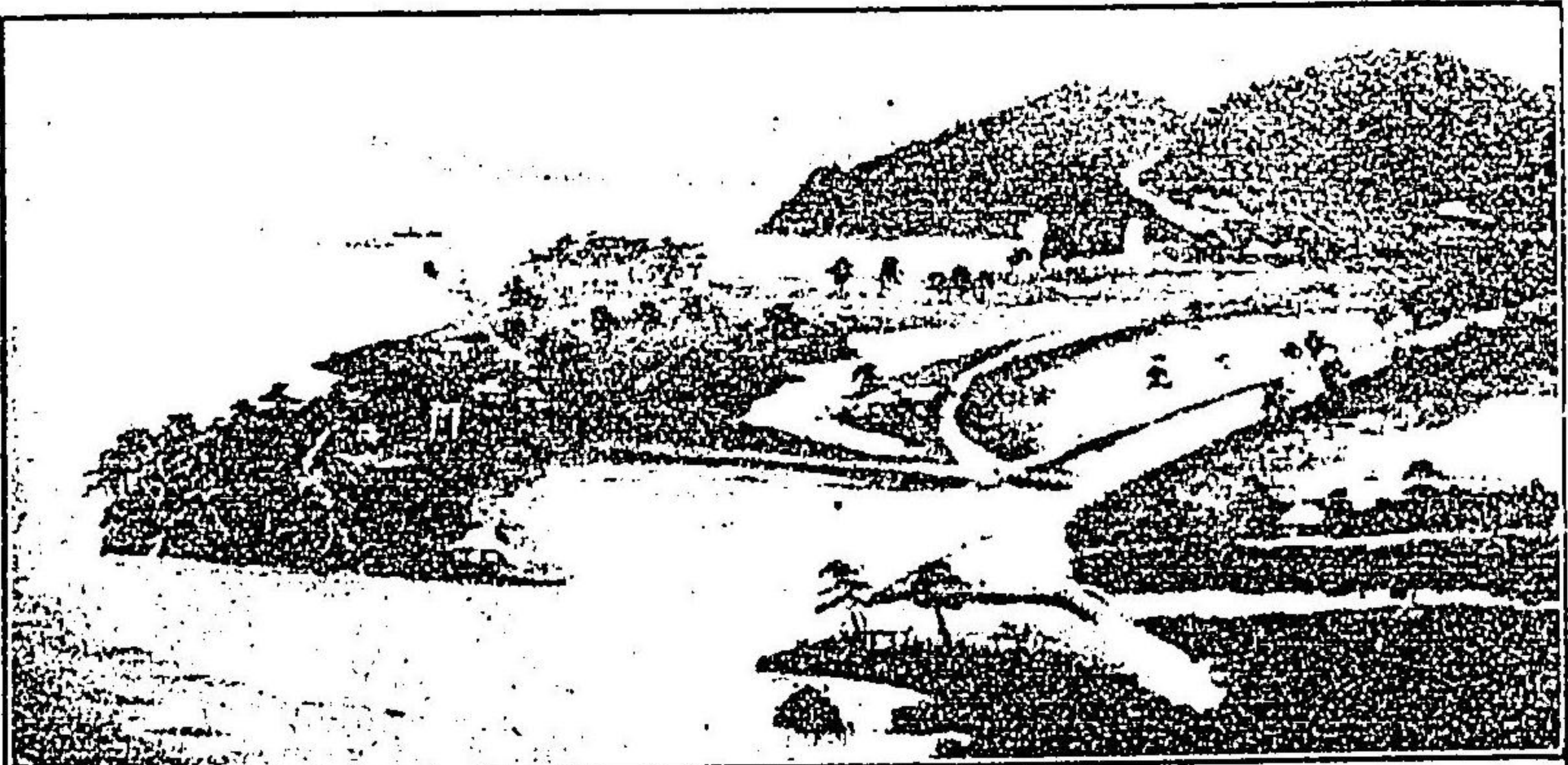
332-203

島貫兵太夫著

新渡米法

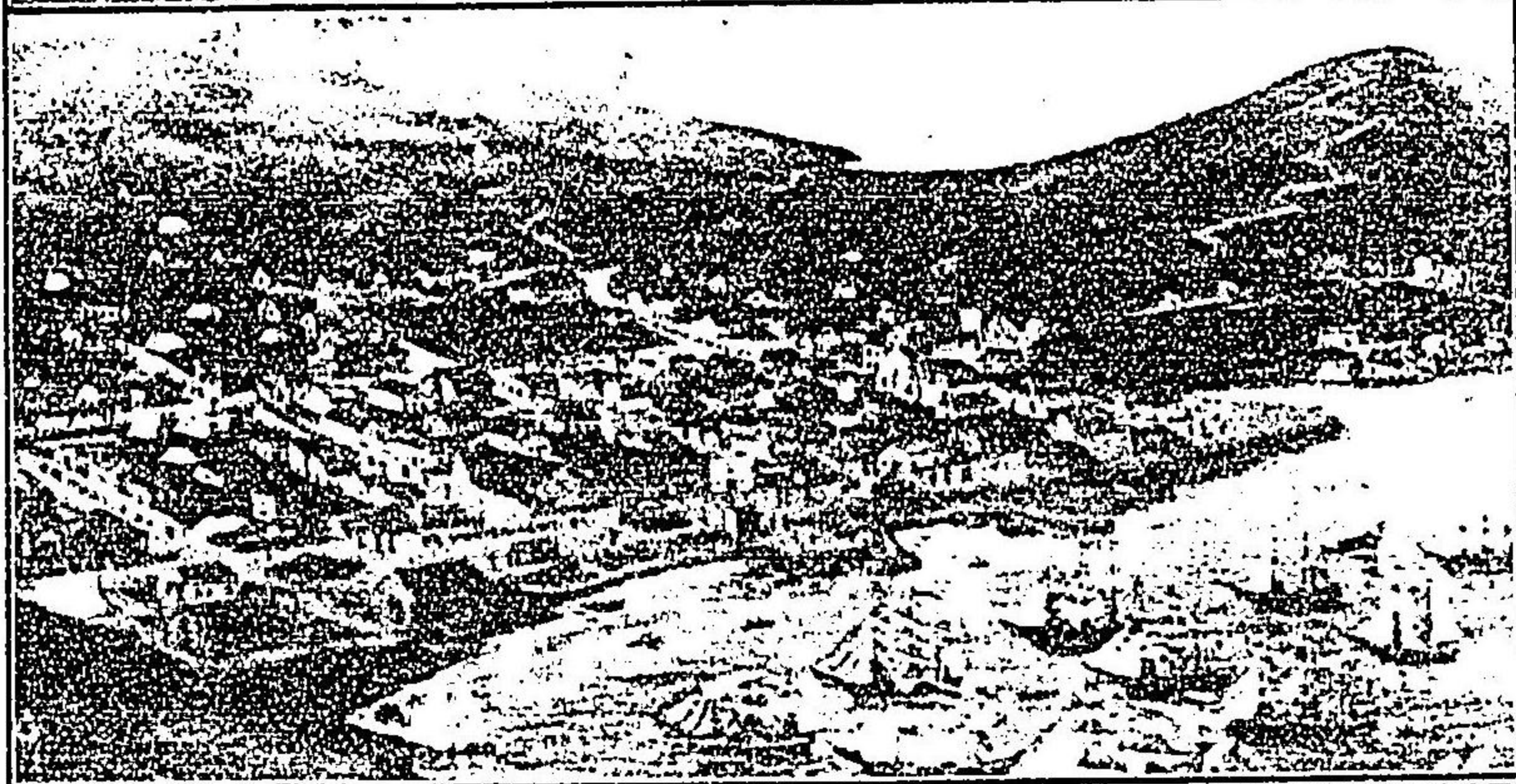
東京博文館藏版

44.2.11



五十餘年前の横濱

漁村行人稀忽雷船來



六十餘年前の桑港

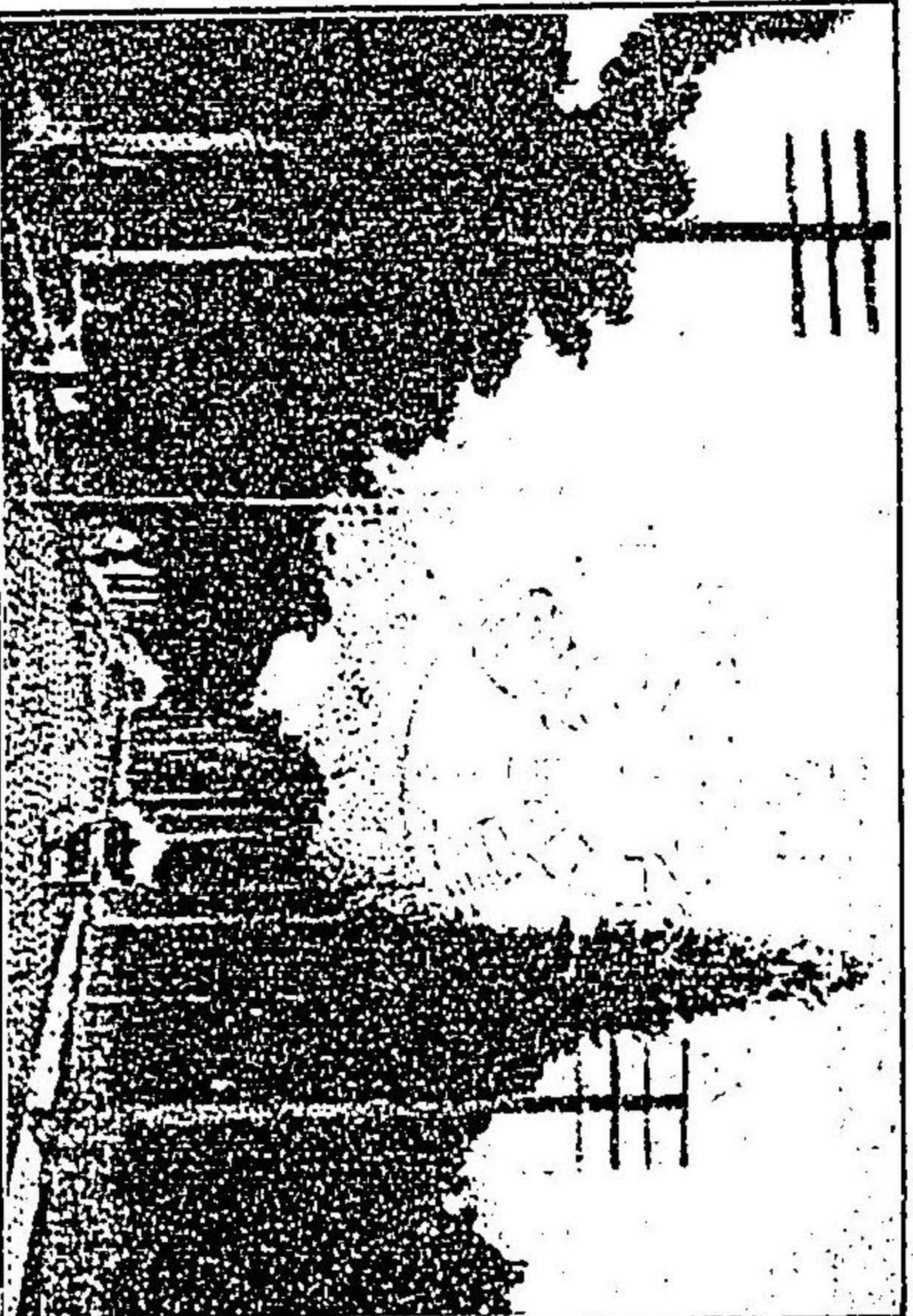
靴一足と一ロツトを交易せし
當時の桑港



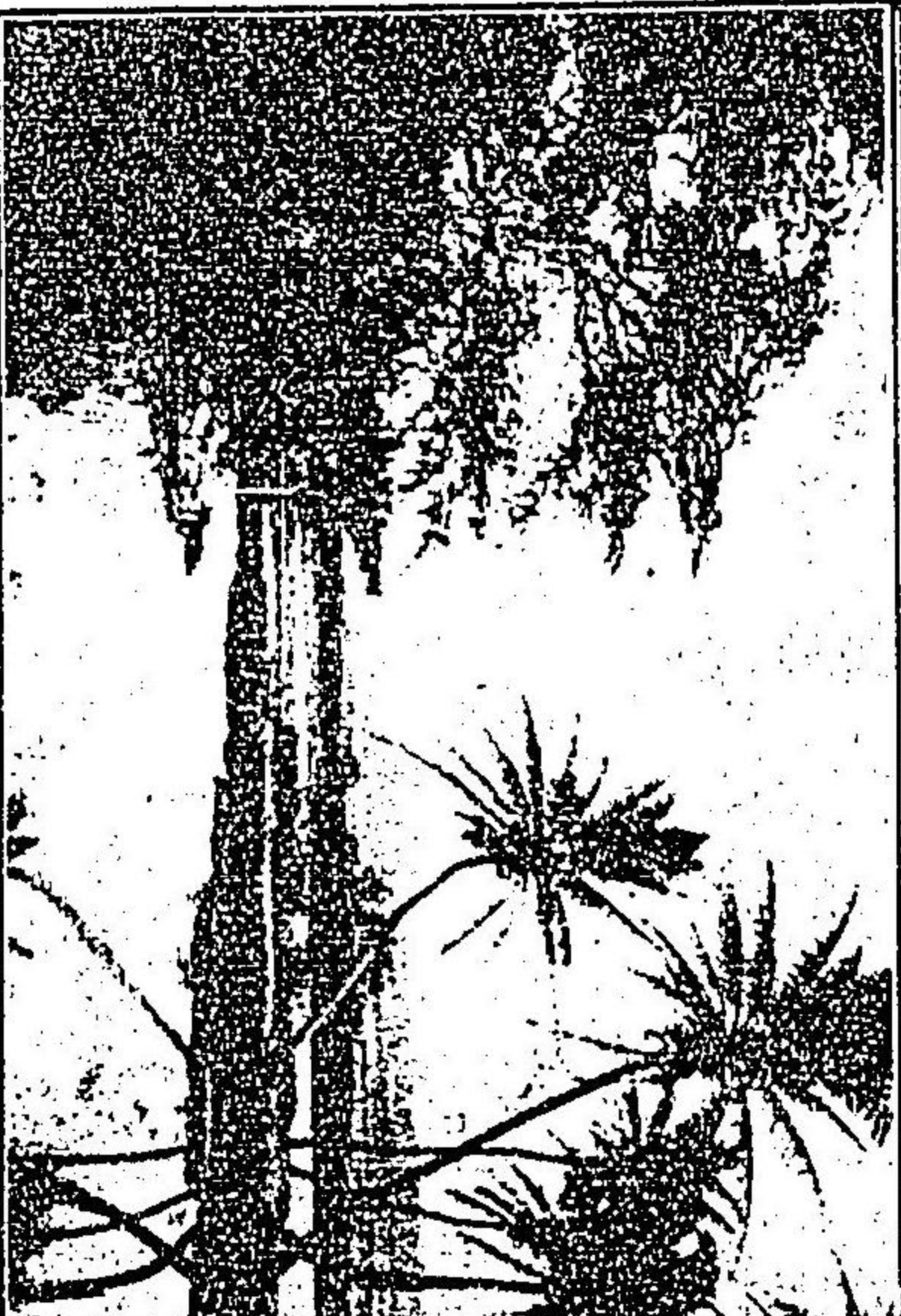
日本に開國を迫りし米國大統領
領フ非ルモア氏の住みし家

ハルリは此の溫和なる大統領
の使なればこそ

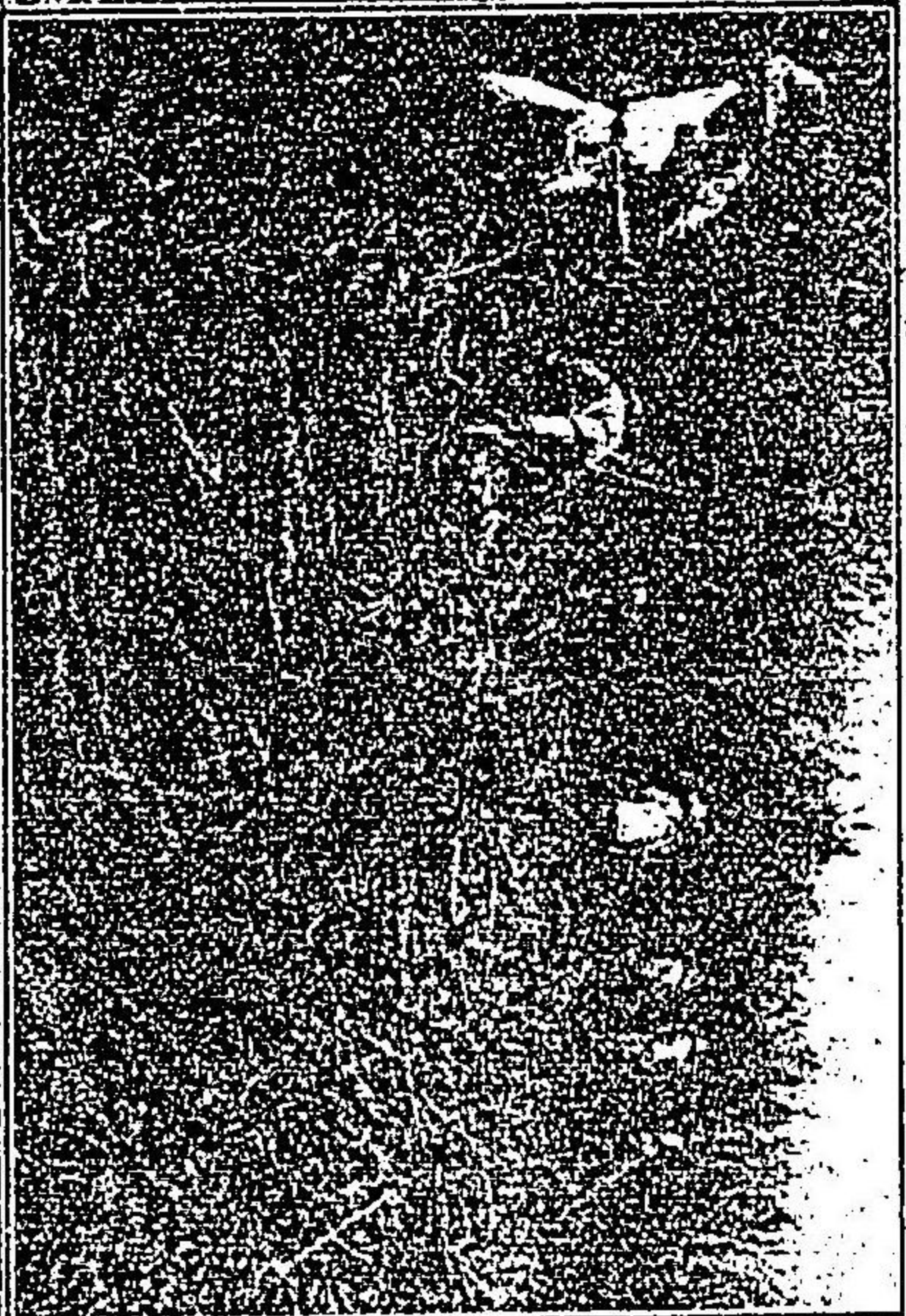
布哇ホノル、の山手街



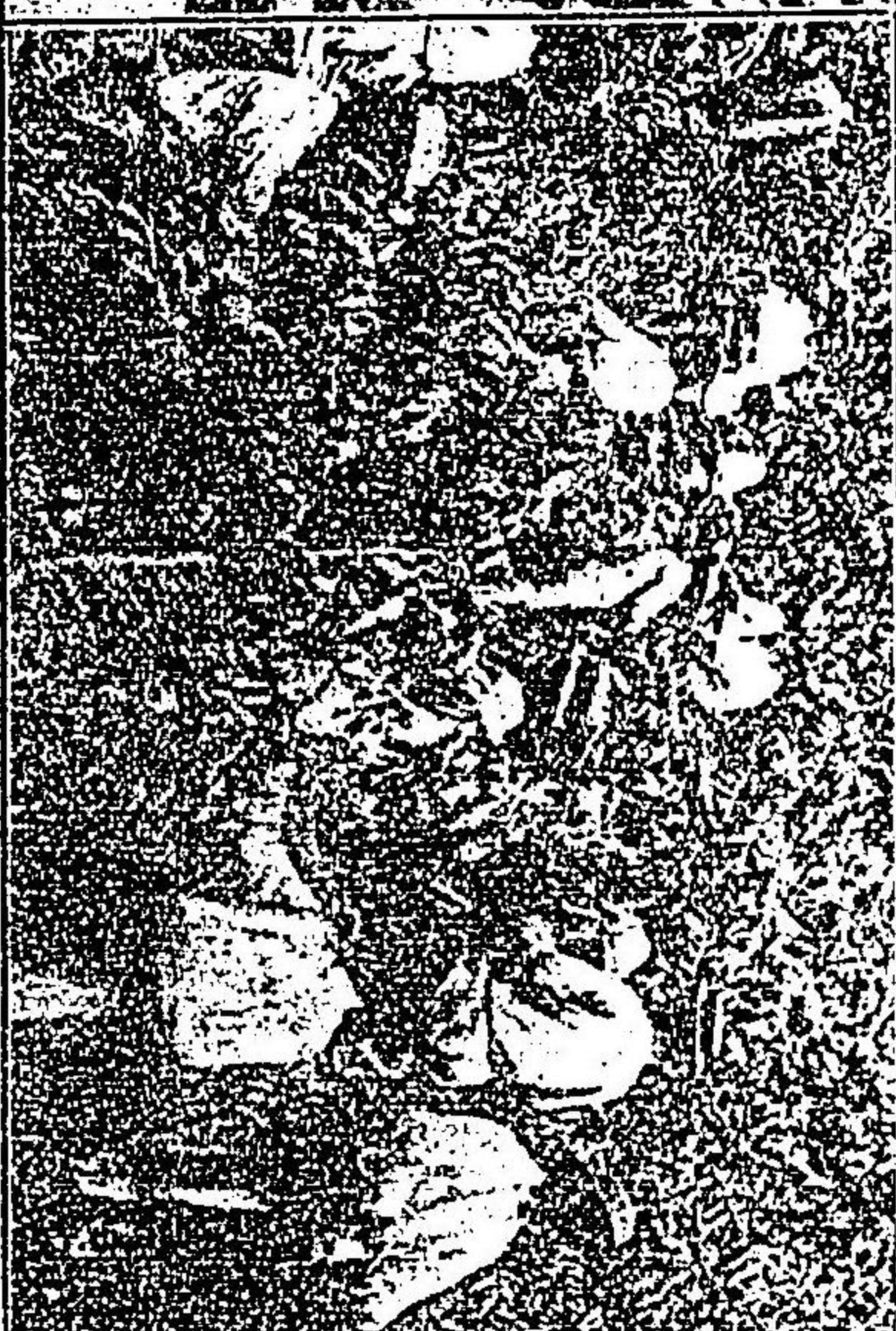
布哇の風景一般



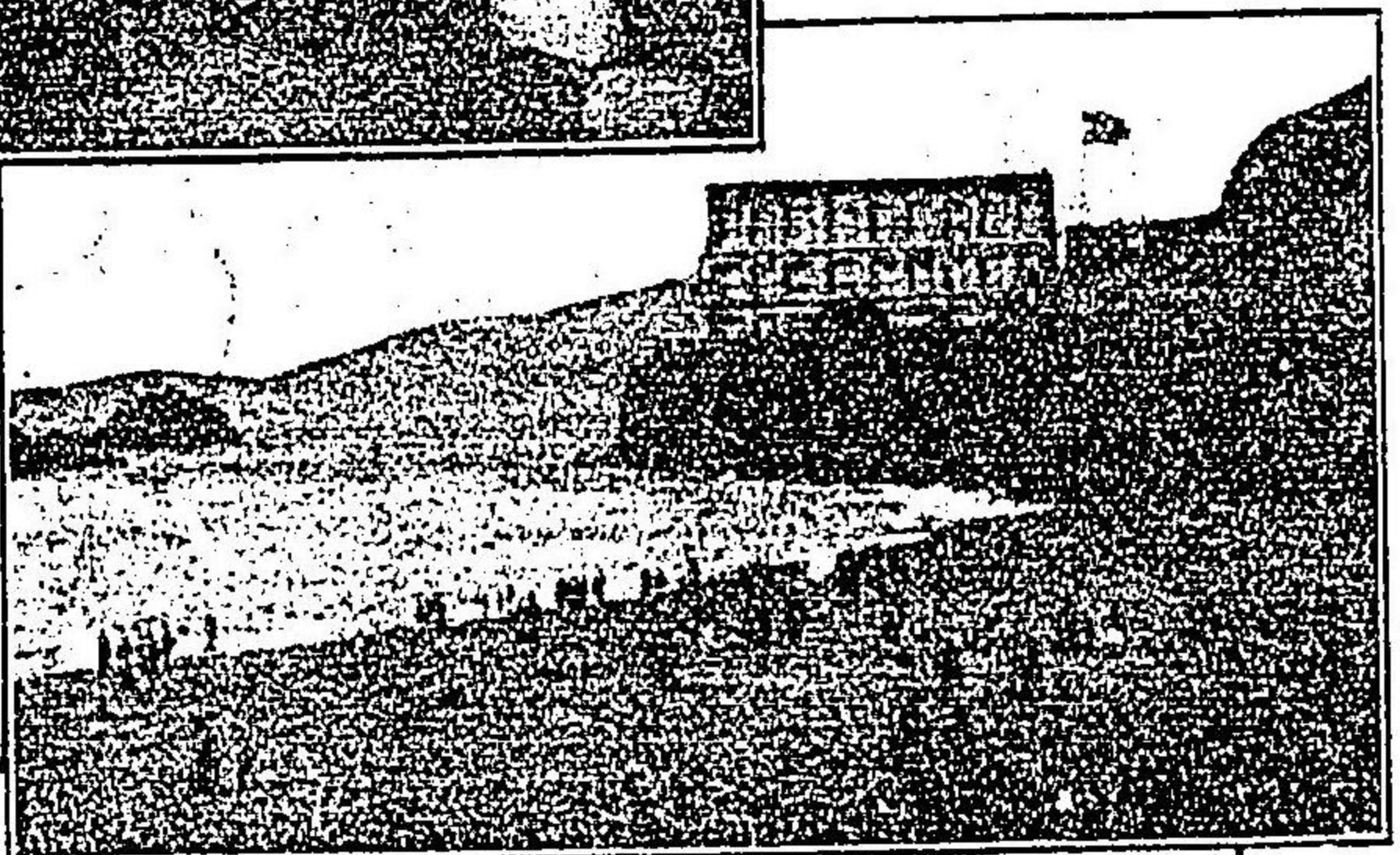
布哇の甘蔗刈り



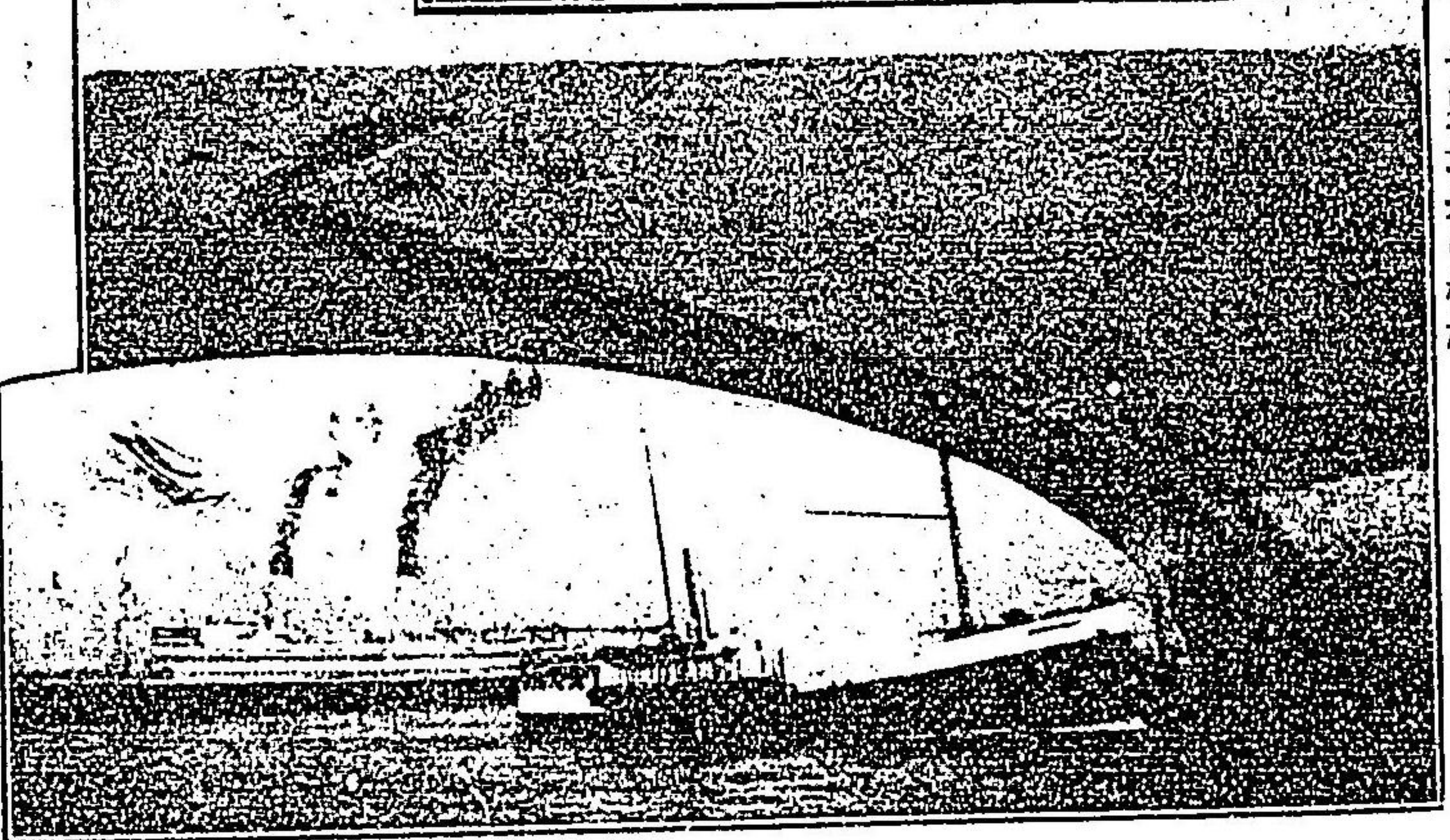
布哇のコーヒー摘み(邦人労働の實況)



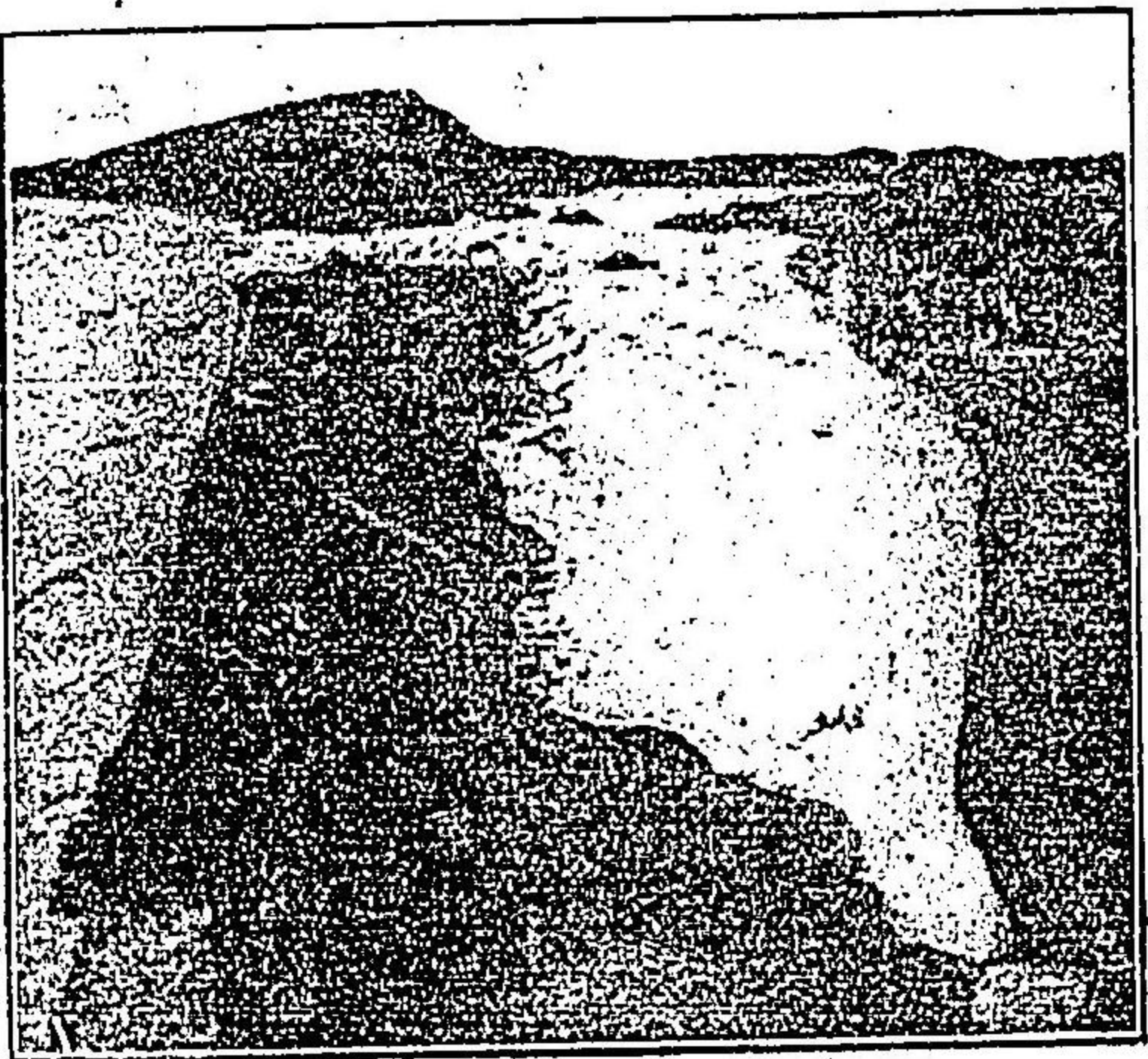
家に向ふ側を通りて入る



加州ポルトロースアンセルス
世界最長の棧橋

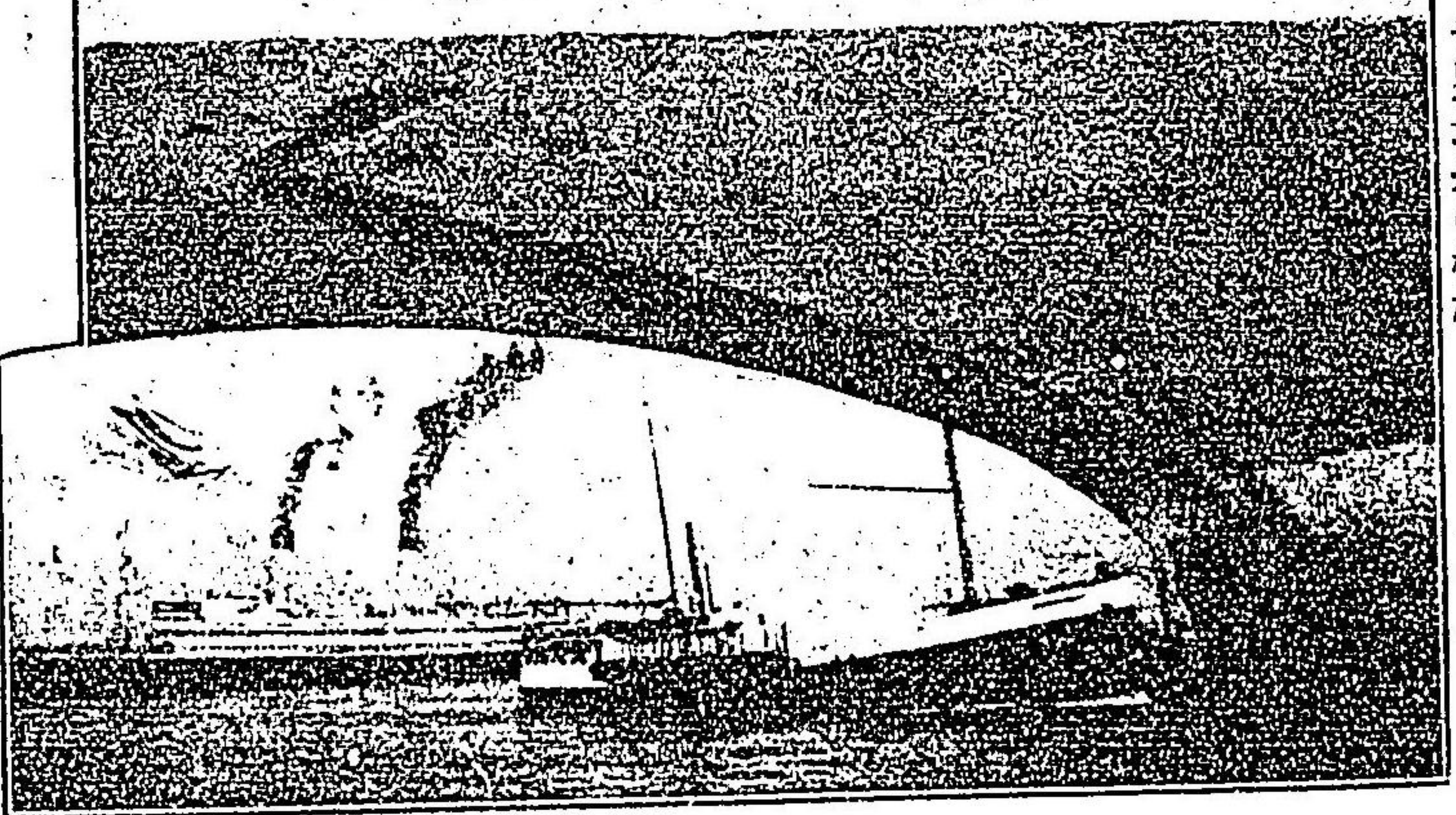


米國の入口なる桑港及び
其附近の高低圖

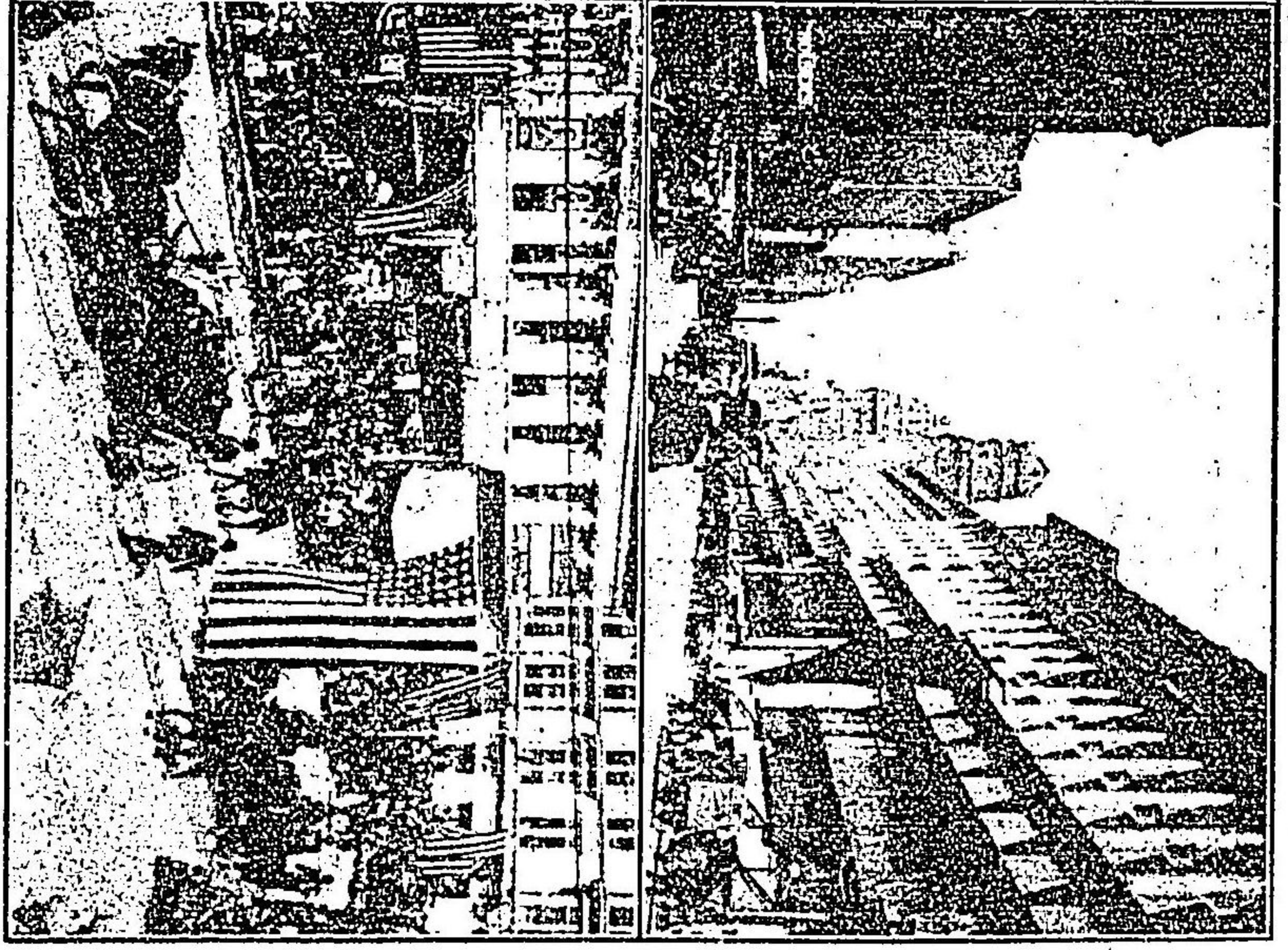
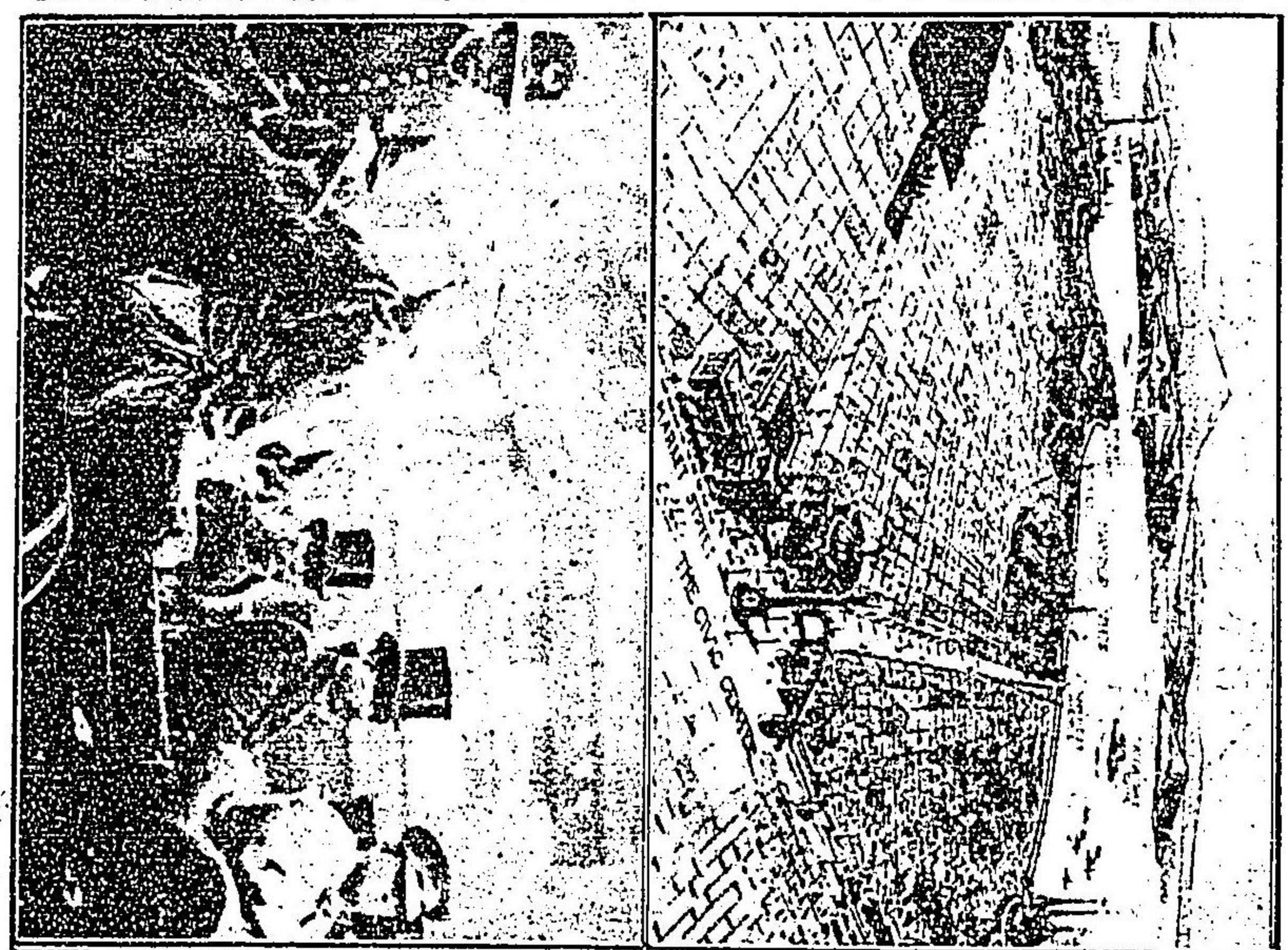


白きは海黒きは陸岬に桑港あり

著者を乗せたる天洋丸黒煙を
吐き將に桑港を出帆せんとす



桑港全體を大博覽會場とする
 パナマ大博覽會場の豫想圖



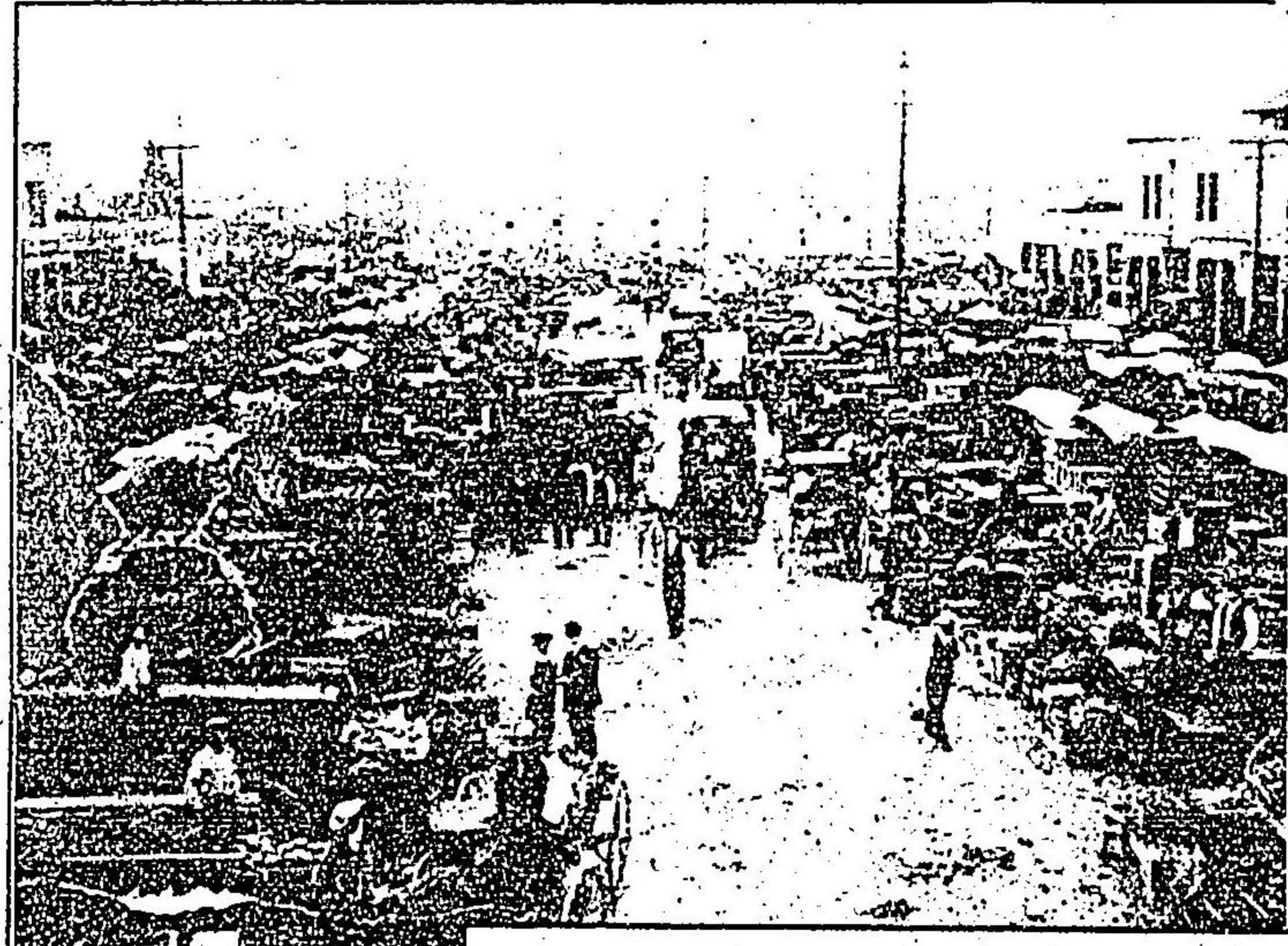
現今の桑港
 マイクスト街

大統領マント氏桑港巡回の實況

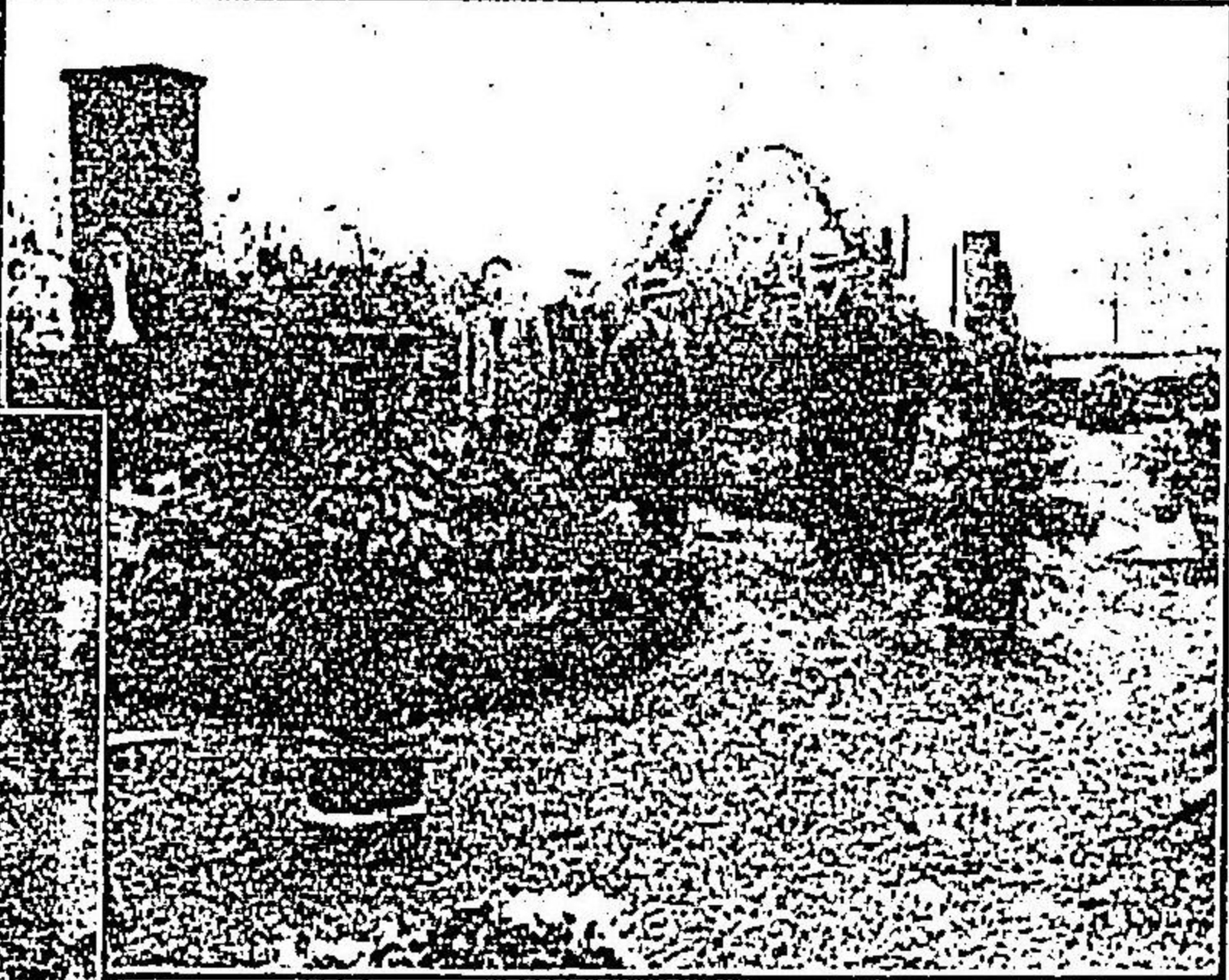
シヤトルニ於ける東郷大將歓迎の實況



南加羅府日本人の設立せる新青物市場



米國北方の入口シヤトル市リンコ
 ルンホテル屋上庭園に於ける著者



在米同胞鐵道に活動せる實況



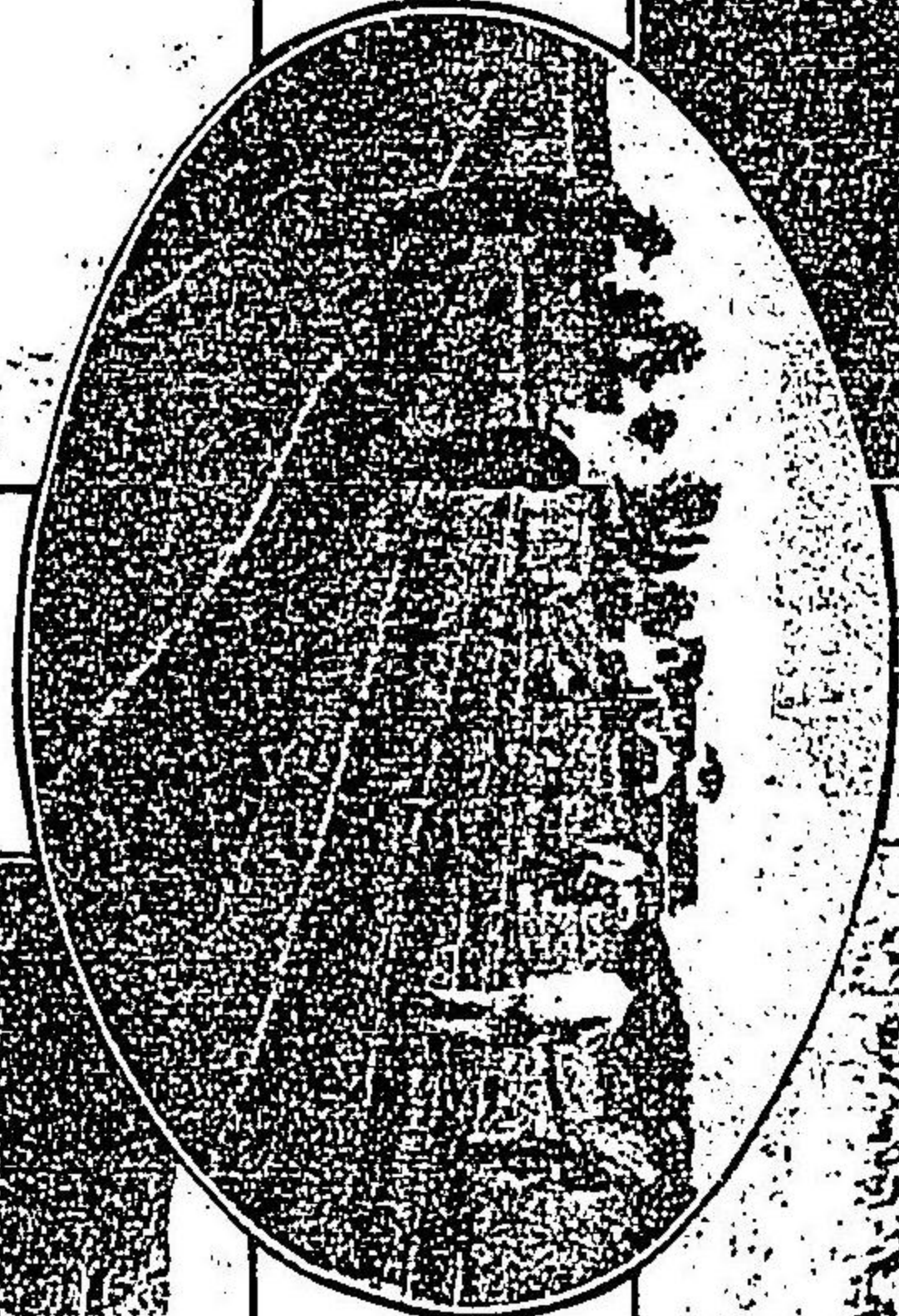
加州ホート知



米國西北部の牧牛場



加州甘蔗運搬の實況

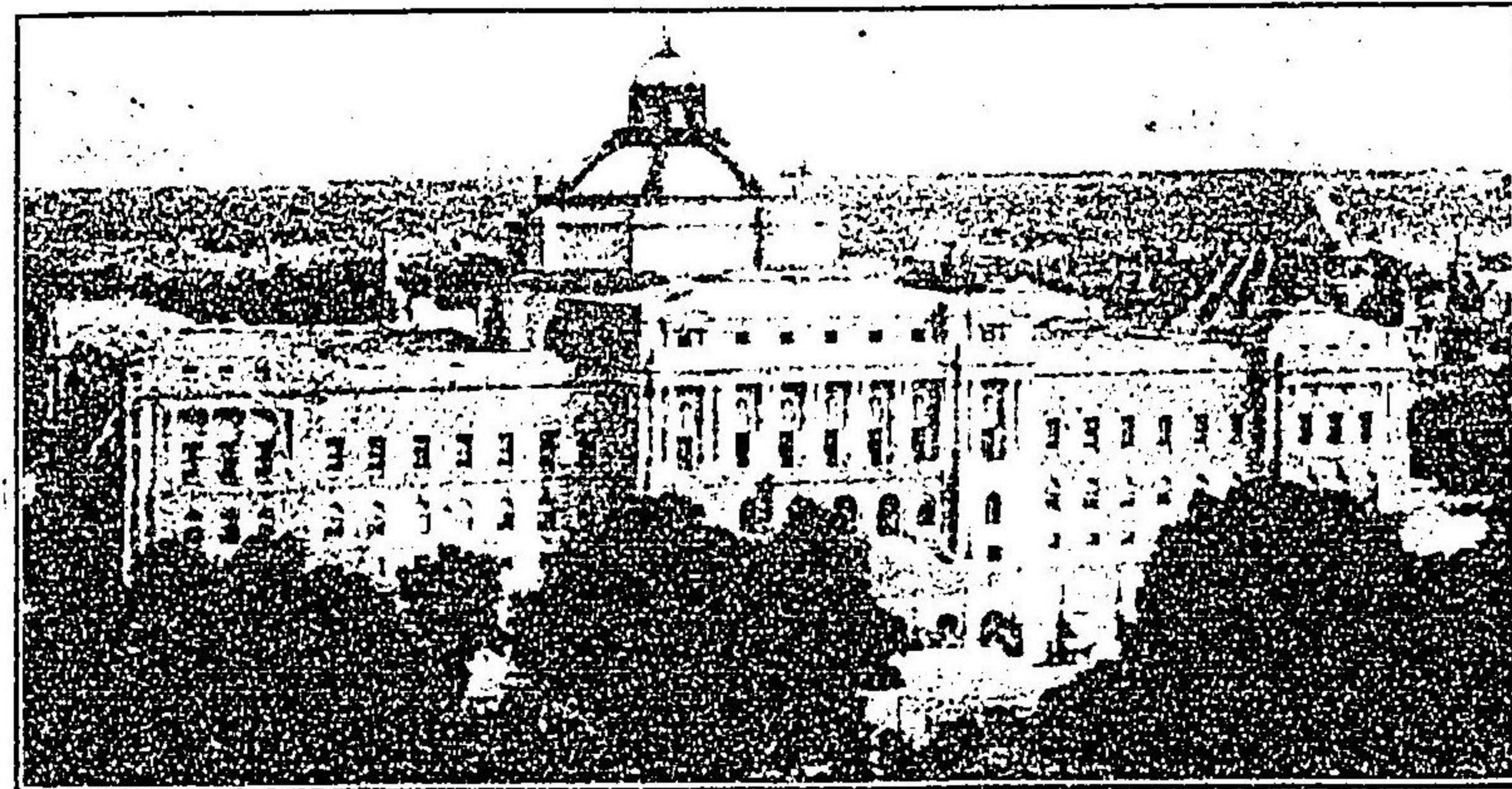


加州の無花果を乾燥する實況



米國西北部羊牧場

ワシントン府大圖書館

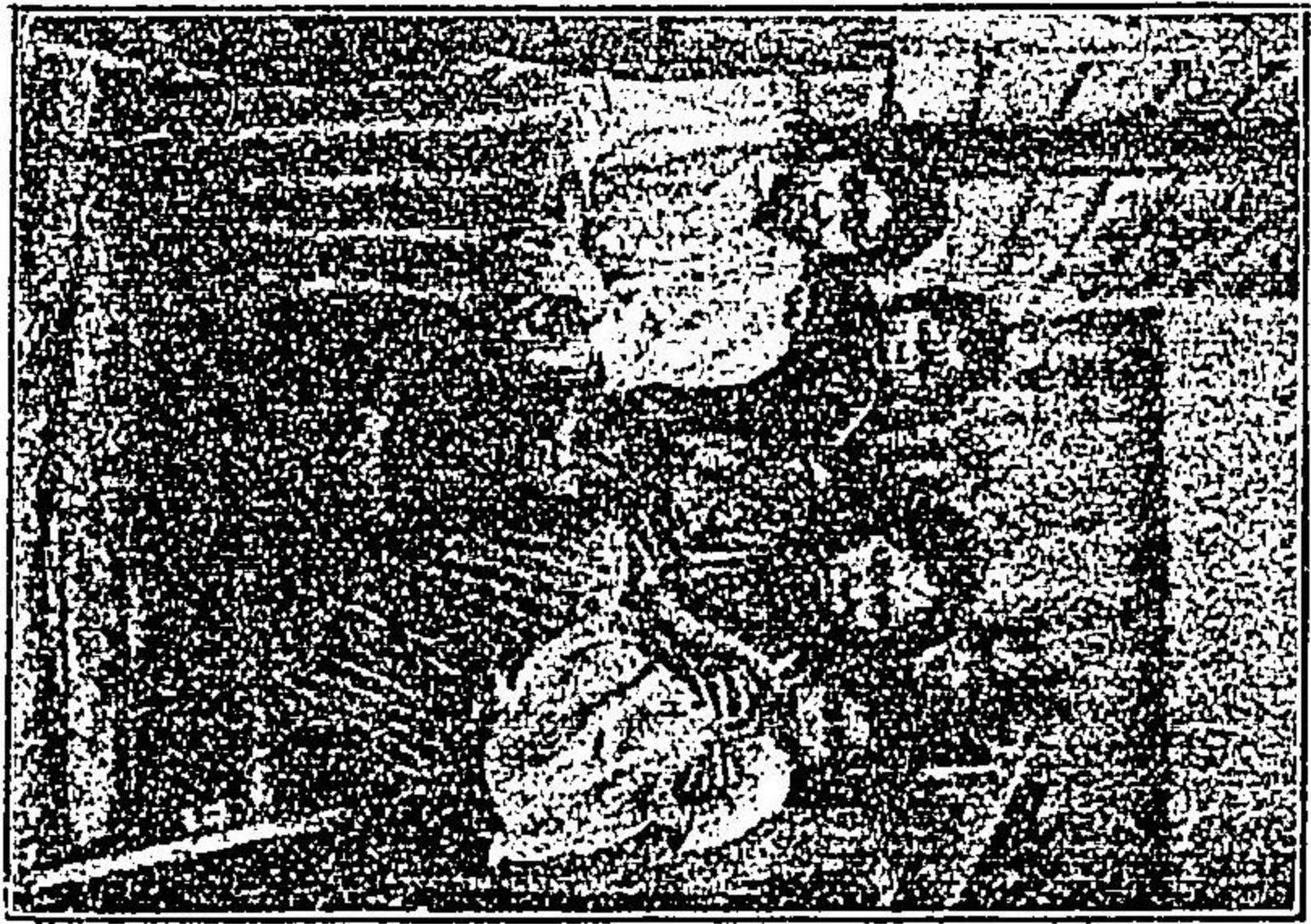


桑港日本人小學校金門學園



桑港日本人夏期小兒學校(此夏レホームド教會にて實行)



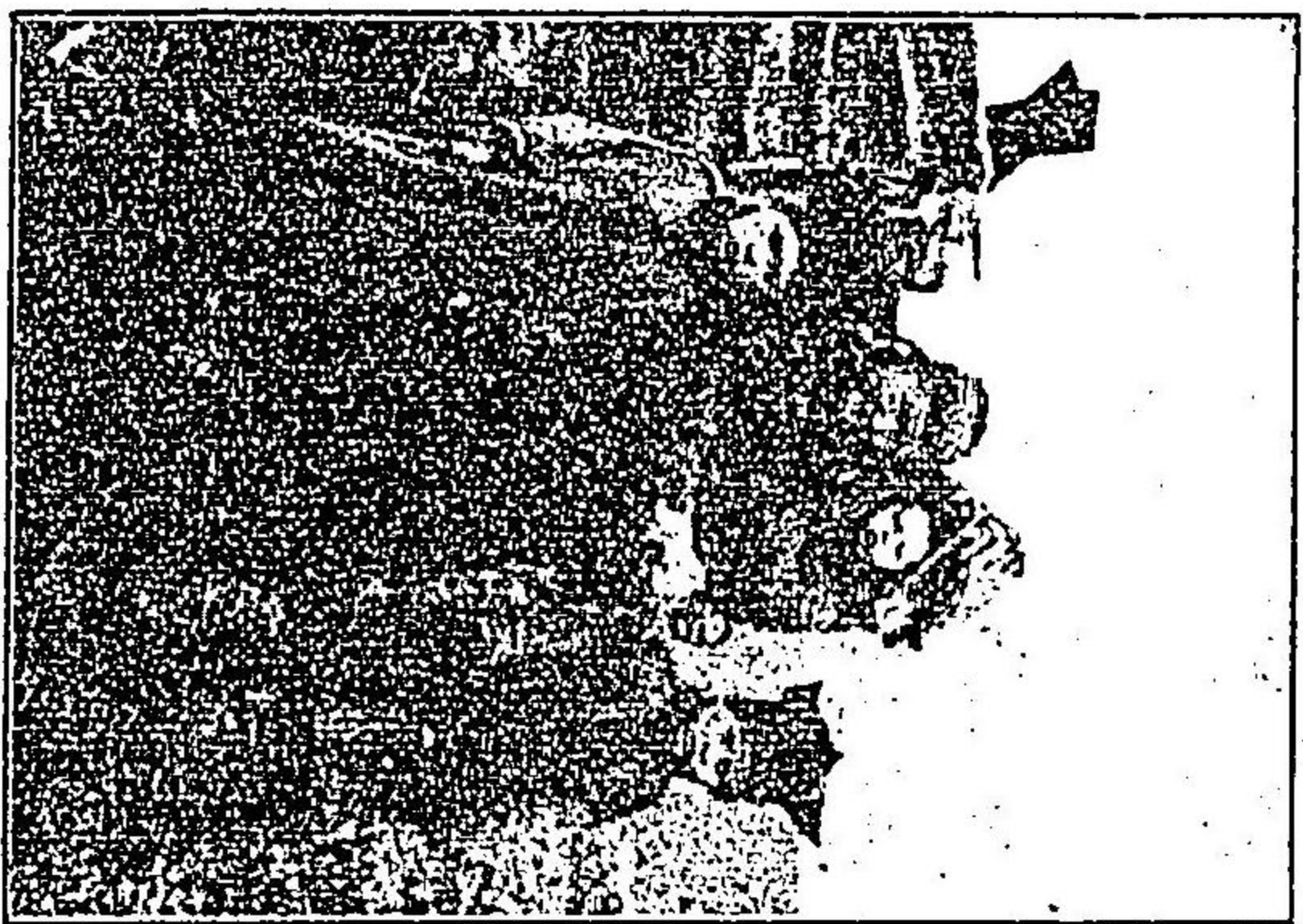


インディアンの女及び子供

日本人に頗る相似たり日本人は米國の最初の主人かも知れず



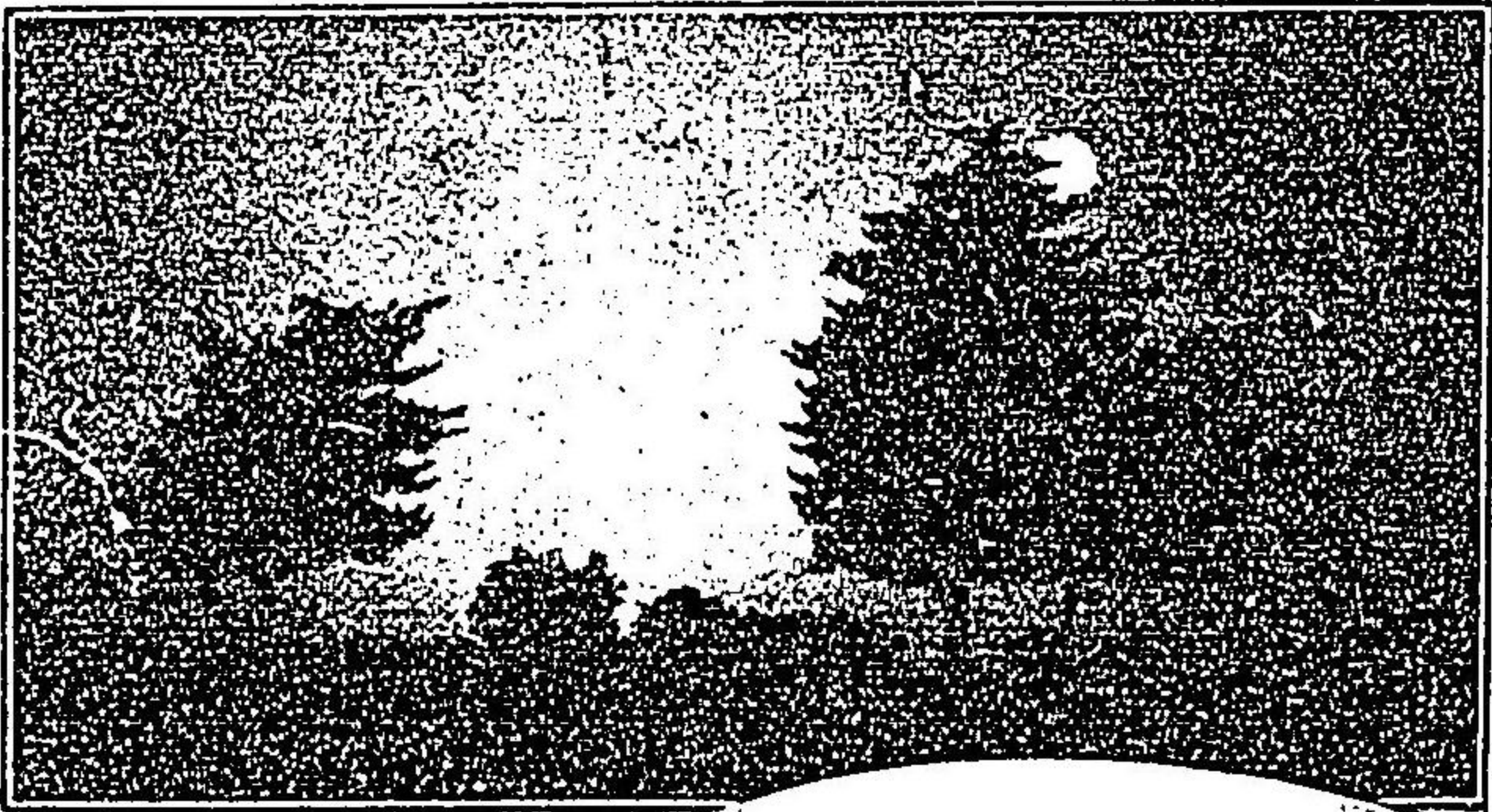
米國來の土人インディアンの老翁



愛情の深きエスキモ―土人

フロリダ大和殖民地

加州大殖民地の月夜



桑港日刊新世界記者池上氏の撮影せるもの

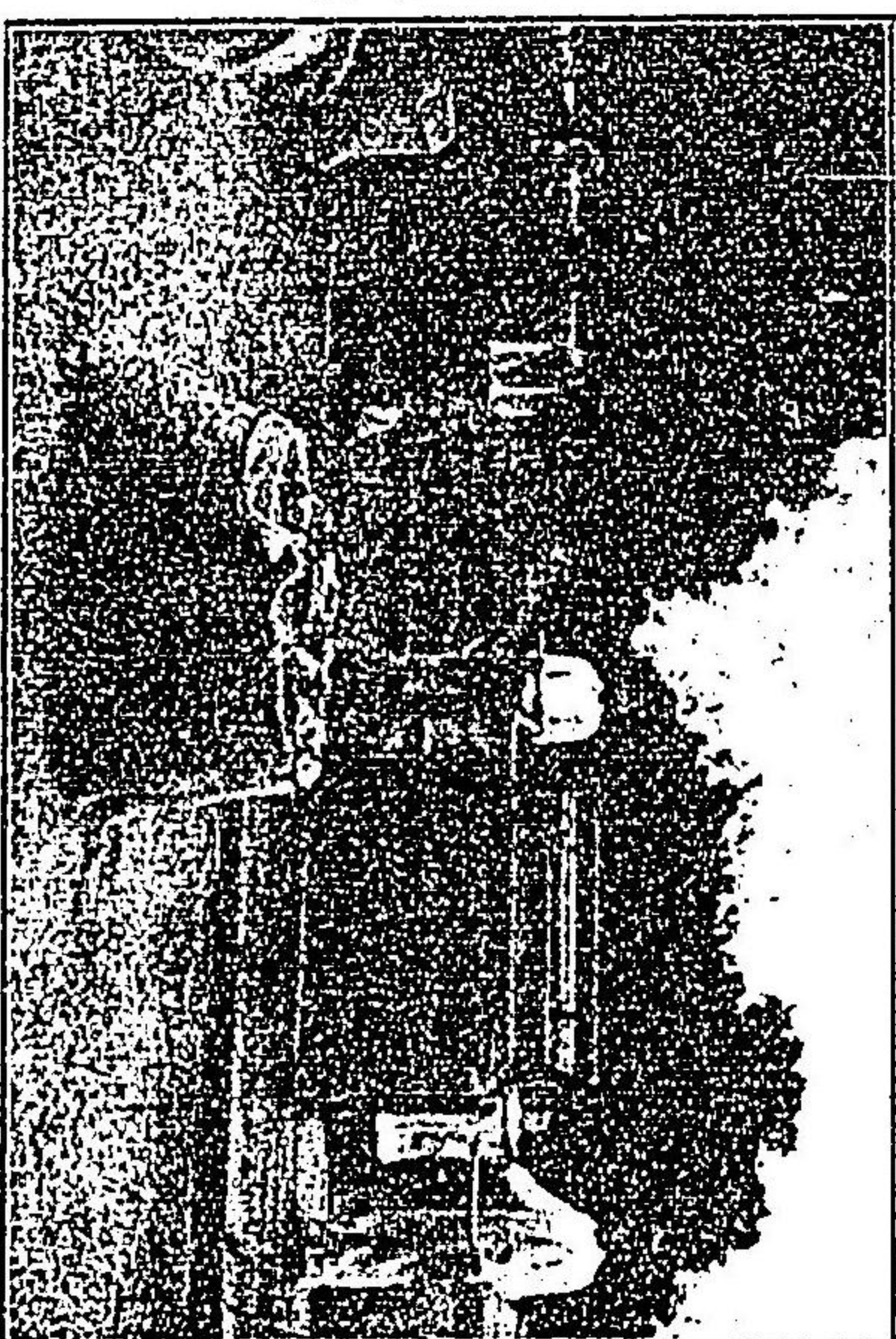


加州大和殖民地
地主奥江氏家族

加州大殖民地に於ける著者



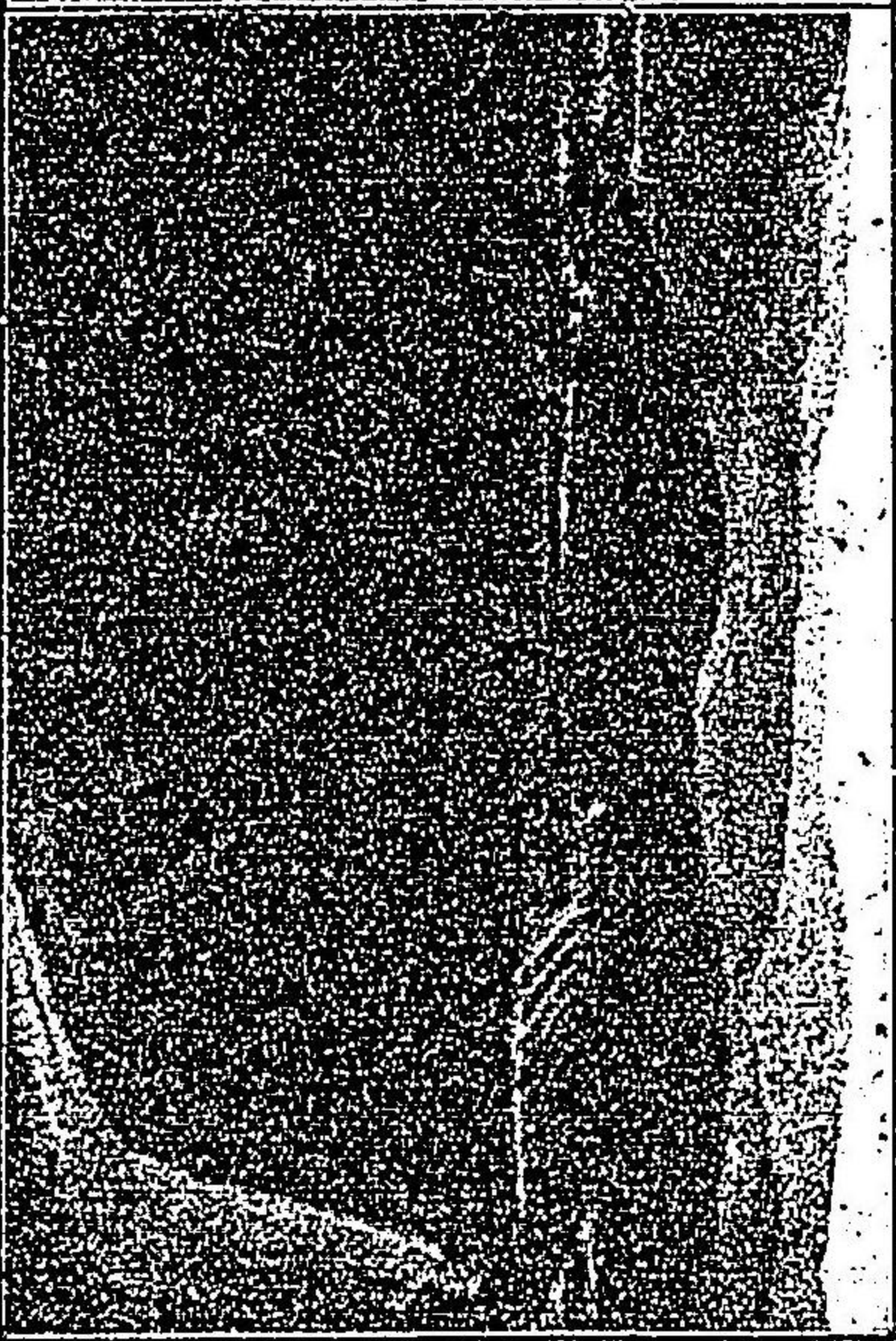
南カリフォルニアの理想的道路



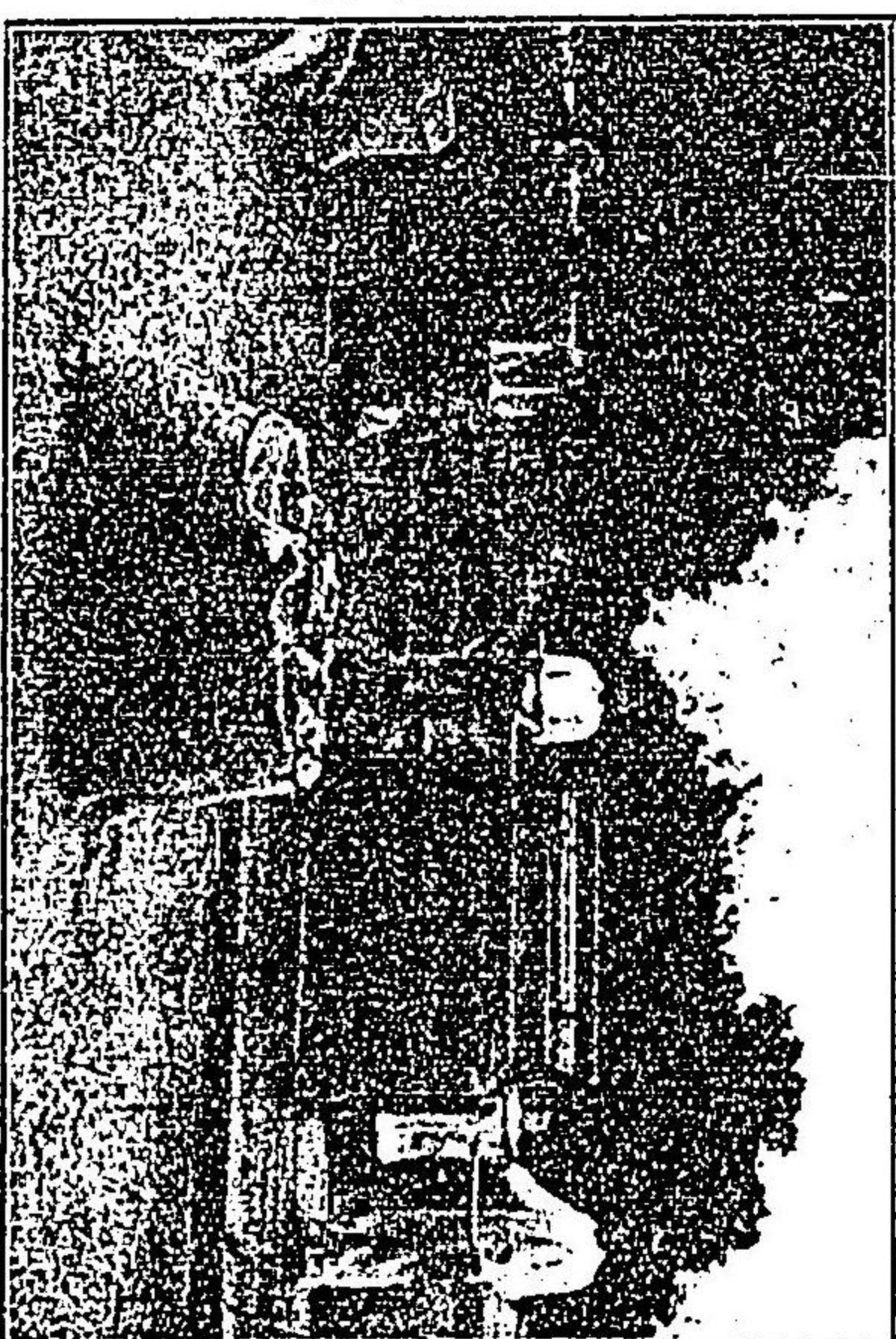
加州アーモングスの花盛



カナダの果樹園(ワシントン州)



加州の胡桃收穫



米國加州の大木

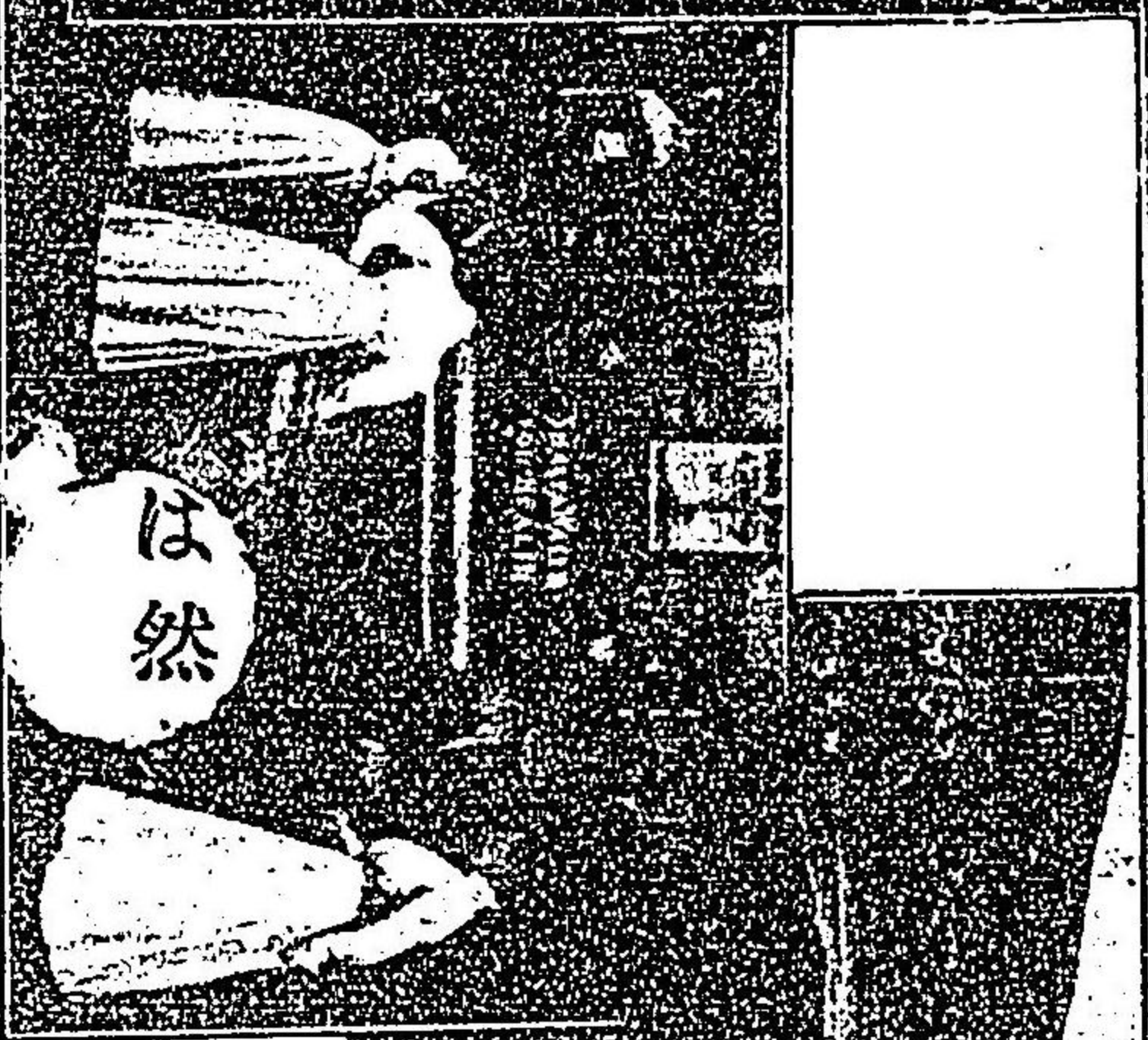


コロンダイク附近沙金採掘

邦人の月給三百圓の
ワシントン市(三十餘人の
日本人活動せり)



天然のソーク
水(ササタの
泉、只飲み自
由勝手)

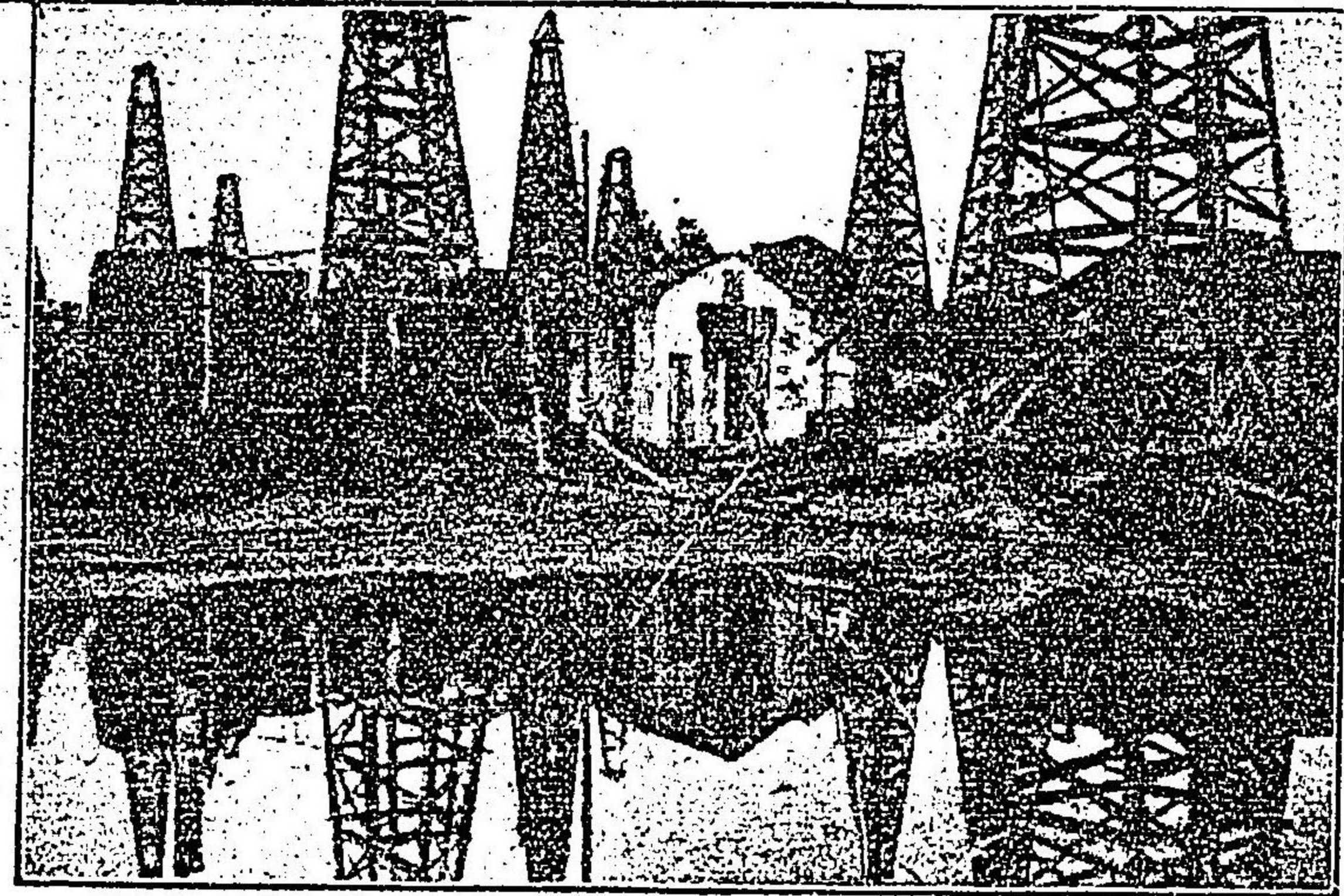


は然

最近の著者



羅府高架家屋鐵骨の組立



米國油田の一實例

新 渡 米 法 自 序

新渡米法自序

渡米して利ありや、害ありや、從來の渡米者は多くは失敗せり、故に渡米せざるを利とするか、渡米者の多くは墮落せり、故に渡米せざるを利とするか、妄りに日本より多く渡米するは米國人の反感を買ふのみにて日米國交上利あらざるか、故に渡米せざるべきや、移民よりも貿易が大切である移民問題によりて日米貿易を害せざるを利とするか、故に當分多く渡米せざるを利とするかと問へば然りと答ふる論者が一方に

扣ひて居る、かと思ふと又他方には曰く從來の渡米者中にも中々の成功家あり。渡米豈に日本人發展の方法として不可ならんや、又渡米以來米國人の宗教道德學術の感化によりて頗る立派な進歩主義文明的の人となれるもの一人にあらず、日本人の渡米と我國の文化の關係豈に獨り福澤、新島の兩先生の類のみならんや、又米國全體の人は日本人の渡米に就て痛痒を感せず加州一部の野心家が唱道して野心を遂ぐるの具に供せるのみ資本家及び一般の加州人士

すら昨年の加州日本移民調査報告書にあるが如くに大に日本移民の必要を認めて居るにあらずや又日米貿易や海運事業の隆盛は在米同胞か一人も多くなればなる丈隆盛に赴くものにして同胞か米國を去ればそれで日米貿易が盛大に赴くと云ふ事實は日米貿易史上從來あらざる所なりきと。

況んや第一等國の列に入れる我日本の國民が他の二等三等の歐洲國民とすら同等の待遇を受け得ぬ道理あらんや即ち日本人は他の歐州

國民が渡米する丈の割合に(數と種類に於て)渡米せられぬ理あらんや且つ已に在米せる日本國民とても任意米國の市民となるの權利あらば他の歐洲各國の渡米者と同等にて可ならざらんやと。
 之を思へば一人も多く又一日も早く日本人の渡米するを大に可とすると云ふ論者も一方に扣ひて居る、筆に辯に公會に私交に否な議場にすら中々盛に論じられて居る。
 一方又渡米者自身に於ては如何と云ふに卅八

九年頃雷同的に渡米せし風潮に動かされて渡米せんとせし流行の渡米者は恰も罪人の如くに取り調べられ散々待ちくたびれても旅券下附容易ならざるに閉口して思ひ止るもの多く、又此困難の極にあるにも係らず。恰も十五年二三十年計畫の大事業でも成功するが如くに旅券下附や其他の渡米準備の爲めには一二年は愚か三年も四年も費すも敢て辭する所にあらずと落着いて着々と渡米準備をする人もある、此後者なる人々の爲に新渡米法を書き十分な

る覺悟、決心、準備、方法にて渡米せは差當りて排日の運動も起らざるべく又將來に於ては眞正實力ある大和民族の發展の事業を成功して日米問題を永遠に解決する事となるものあるを知りて之を著述するものなり。

從來の渡米者は失敗者も墮落者も又排日の材料となりし人も多かりしならん、然らば如何にせば其弊を拒く事を得るか。

如何にして道德、經濟、宗教、道德、教育、政治、商工業に於て日本人が渡米せしが爲に利する事を得

るや、如何にして渡米の上我民族は各方面に於て大發展をなす事を得るや、市民權可なり多數の移民日米相互に利あり、加州資本家の日本移民を求むる等皆能く之を知れり、如何にして之れか目的を達する事を得べきや。

種々の方法と色々の工夫もある事ながら差當り今日渡米せんとする剛健の渡米者に最良の準備をなさしむるは少くも渡米者自身を利するのみならず、此等諸難問を解決するの手段となるべし。

著者は十五年間青年男女渡米者の相談相手となり彼等の教導者となり彼等を教育し彼等を教化し彼等に相當の準備をなさしめて渡米せしめしもの現今此等の在米者已に三千有五百名に達し今尙彼等と文通して之を教育し之を慰問し慰藉して如何にかして彼等を成功せしめんと日夜に思ふて忘るゝ間なき迄に熱狂するもの也頼まれぬもせずして國家の爲に盡し又青年成功の爲に盡すもの、今や海外發展最も困難の時に當り尙全國に於て數萬の剛骨にし

て眞心大和民族の發展を希望し一個の偉業を海外に期するものあるを見ては同情に堪へざる所あるは無理なる次第にあらざるべし即ち十數年間の實驗より來れる事實談を述べて現今の眞正剛健の渡米者の参考とも指導とも又は兩者兼備のものともならしむるを期するは今日に於て著者の義務なる如くに感ず。

明治四十四年十一月中旬紅葉二月の花よりも紅なる時。

東京小石川區駕籠町力行會應接間に於て
著 者 識

新 渡 米 法

目 次

新渡米法を著すの理由	一
一 旅券に就いて	三
二 在米同胞の狀態	五
三 在米者の職業	七
四 品性問題に就いて	一〇
五 宗教上の問題	一三
六 語學に就いて	一七
七 人情風俗	二〇
八 渡米者の教育	二五

九 身體の強健……………二八

十 社交的修養に就いて……………三二

如何なる人が渡米出来るか (一)……………三六

如何なる人が渡米出来るか (二)……………四〇

如何なる人が渡米出来るか (三)……………四五

旅券下附は何故困難となつたか……………四八

旅券下附困難の利益……………五一

旅券下附出願者の心得……………五六

旅券下附出願者の手続き……………五八

旅券は何日位にして下附さるゝや……………六二

旅券は何の効力ありや……………六三

旅券は何日間効力ありや……………六五

密行及び他人の旅券使用……………六七

家貧なり保證人資を給す渡米如何……………七〇

家貧にして學問も無し渡米出来るや……………七二

學無く技術無く渡米爲し得るや……………七三

△呼寄せ渡米……………七四

○會社商店よりの呼び寄せ……………七五

米人或は學校よりの呼び寄せ……………七八

米人と同伴渡米……………七九

○盲本紳士と同伴渡米……………八〇

ゴック、水夫、火夫、ボーイとなりて渡米如何……………八一

洋服屋、農夫、靴工、洗濯屋、理髮師、寫眞師、クック、

園藝等にて渡米如何……………八三

渡米出帆準備 (一) 八五
渡米出帆準備 (二) 八六
渡米出帆準備 (三) 九一
渡米出帆準備 (四) 九二
渡米出帆準備 (五) 九九
船中の心得 (一) 一〇二
船中の心得 (二) 一〇六
船中の心得 (三) 一〇八
上陸の心得 (一) 一一三
上陸の心得 (二) 一一五
渡米上陸者の日本規定及注意 一二〇
上陸に就いて心得可き米國の規則及注意 一二三

旅館の注意 一二六
就業について 一二九
上陸當時警戒すべき要點 一三三
苦學する人に告ぐ 一三九
學資ある學生に告ぐ 一四四
日米貿易に志す學生に告ぐ 一四七
特種の事項を研究する學生に告ぐ 一五〇
一技を専修せよ 一五四
歸るか歸らぬか 一五七
神學を學ばんとする學生に告ぐ 一五九
大學に入らんとする者に告ぐ 一六三
農事を経営せんとする人へ 一六六

○商店會社などに入らんとする人に告ぐ……………一七〇

一人をたよりて行く人に告ぐ……………一七三

發明家に告ぐ……………一七六

視察者に告ぐ……………一八〇

渡米開業せんとする日本醫へ……………一八四

雜誌新聞廣告をとらんとする人に……………一八七

種牛及び乳牛買入れの爲め渡米する人に……………一九〇

新聞事業研究の爲めの新聞記者の渡米……………一九四

○日本茶を販賣せんとする人に告ぐ……………一九九

最も給料の多い米國の各地は何れ……………二〇六

日米問題……………二〇八

日米問題と婦人渡米……………二一五

力行女學校設立趣意……………二二一

獨身婦人の渡米……………二二六

結婚して渡米する婦人へ……………二三一

在米同胞後援事業……………二四〇

再渡米者に告ぐ……………二四七

歸國せんとする人に告ぐ……………二五一

在米同胞と徴兵令……………二五六

新 渡 米 法 目 次 終

新 渡 米 法

新渡米法を著すの理由

(一) 従来渡米者の多くは只旅券を得さへすればそれで最早渡米成功せし如く考へ専ら旅券下附の方に奔走したものでその爲めにはどんな手段をも選はないと云つた有様であつた、かういふ手合が随分全國にあつたらしい。成程旅券を得る事即ち渡米成功の發端なるは元より異論は無いのだが旅券をとつて向ふへ行つた人は皆成功して居るかと思ふに、どうしてどうして中々成功者が少ないのである。或在米帝國の總領事の如きは渡米者に成功者

は一人も無しと迄或雑誌に極論して居る。かの米國の政治の中心地なるワシントン、商業の樞軸地ニユーヨーク邊り丈に居た某氏が歸朝しての話に、太平洋沿岸に最大數居住せる吾が同胞を罵りて寧ろ彼等の渡米に依て日米問題は愈々紛糾を加へ延いては大和民族發展に減退を強ひ却つて日本人の爲にならぬ、と論じて居るを或席上に於て著者が現にきいたのである。なせ渡米しと忙しく急いで行つた人が成功せぬかこれは熟考せねばならぬ大問題である。渡米成功中々六ヶ敷しとせば日本人の渡米は斷然中止す可であらうか、いや確かにさうでは無い大分時勢が昔と違つて來たし又は從來の經驗は渡米成功中々六ヶ敷いと云ふ事を教へてあるから從來の渡米と違つた形式で行く、即ち新しき方法で行く事が必要である事が分るのである、今迄失敗した同胞が吾々に與へた教訓によりて今後多くの成功者が出るわけとしたらこれ迄の渡米同胞は即ちバイオニアとして尤も國家に貢

獻淺からぬ人々と云はねばならぬのである、それでは如何に變つて來たかと云ふに、

第一 旅券下附が六ヶ敷なつた

從來は中學を卒業して家に一萬圓も資財があれば事實どうあらうと例へば向ふへ行つて成功の見込みあらうかどうか或は國家の威信を疵付けぬ程の人格の人か條件に叶ふ經歷を有つてゐるかどうかは問はず調査は單に形式に止つた觀があつた。特に各縣の統計表など見ると三十九年の如きは頗る多くの旅券が濫發されてると云つてもよい有様だ、これで見ると形式的に調査して旅券を下附したのが明かである、カナタにもアメリカにも暴力まで演出されたのも思ひ起される當時の通商局長石井氏が行つて見て驚いて歸つて來られた、歸つてから急に旅券下附を引き締めて來たのも無理は

ない、それから次第／＼にその缺點ある所を除去して遂には中々抜け目の無い所まで進んで来た、渡米者を罪人視する位になつた、然しこれも移民問題で日米貿易や外交上に執拗なる難題を惹起すよりは旅券下附を嚴密に制限した方が増しなだけである、著者もこれには賛成である。

かくして今では下附至難の極端に達してゐる、今年舊條約第二條の但書移民制限は除いても覺書をやつてあるので明文に無いから移民遣つても可いといふ時と違ひ道德上の問題として是非遵守せねばならぬ事になつたのだこれからは嚴重になるばかりと思ふ。新しき覺悟で渡米の準備をせねば渡米希望は徒らに失望に終らねばならぬ様になつて来た。從來は調査に来た人の前さへ繕へば可なりそれで通つた。

虚言と胡魔化しとでも甘く間に合つたらしい。それが今では少しも利かぬ様になつた。とにかく家に一萬圓の財産あり中學を出て實際修學のため

と云つてもその品性上に疑があるか經歷に不備な點があつては下附にならぬ人が澤山ある。殊に品性を第一に必要としゼントルマンとして彼等の間に恥しからぬ修養を積み日米彼我の意志を通ず可き語學も十分に學んで行かねばならぬ、向ふへ行つてやる事もその研究をしてやれるだけの自信と傾向が無くてはならぬ、これ等が整つて成功的人と分れば何所迄もやらぬと云ふ方針ではないのだから決して渡米の道が前に拓かれぬ譯は無い。旅券とる準備も昔の形式を捨て、事實とれるだけの十分の準備をして當局者に心配させぬ迄にやらねばならぬ。是れ渡米に新式の準備を要する所以下である。

第二 在米同胞の現状態の如きも從來と著し

く違つて来て居る

記者は最近に二年續けて太平洋沿岸の同胞を見舞ふべく行つて來た。殊に太平洋沿岸の在米同胞の状態、農業の状態、商業、勞働其他大和民族發展に必要な諸件を仔細に視察して來る。

旅券下附は三十九年十一月から格段にやかましくなつた、随つて行く人が減するばかりで歸る人は例年の通り歸つて來る、最初から行つてゐたんで二度と戻らぬ心で歸つた人も有るし是等の事情は自然在米同胞の増加を許さぬ事となる。渡米者がどしどし行く間は更に語學が出来なくともやつてゐる仕事割合が悪くとも日本人相手にて成功した、その日本人相手の仕事は今、不可能となつた、即ち廢めたり縮少せねばならぬことになつた。下宿屋旅宿鐵道人夫口入れ業日本人の金を相手の日米銀行金門銀行等は異常なる打撃を受けた而して遂に其らの銀行は潰れて仕舞つた。

日本人相手に出來た仕事が段々消滅するので今は權でも八でもと往つて

直ちに成功すると云ふわけには行かなくなつた、西洋人相手の出來ぬまた西洋人の間に働けぬ人には永遠結局の大成功は出來ないと云ふ事を在米同胞中にも悟る人が出來て來た。長年在米日本人を上得意にしてゐた商業の上に俄然大變動は襲つて來た、日本人相手の仕事は已に永久のものに非ずと見てとつて勢ひ米人相手に移つて行かねばならぬと決心し出した、こゝが用心の入る所である。

英語が話せぬもよいと云つた時は何時か昔しになり始めた、日本人の多かつた時は人情風俗まで左程心配無用で通つたが今は白人の間に圓滑なる小外交を活用し得るだけの腕と語學と人格とを鍛えて置く必要がある、その研究は不敏ながらこの著の中に往來してゐる。

第三 在米日本人相手の仕事だけでは至つて

頼み少なに變化してつた

それかと云つて米國には金が有る日本人が働けば日本の五倍十倍の利益ありとすれば是非行く事を勧めたいのである。それには白人仲間に入つて優に仕事の出来る支度が大切である、只かう云ふ仕事をして行けば好からう位の極く單純な覺悟では駄目だ、これと固く決心したら遺漏なくその準備をして行く、行つた上では實際やれる目的が立たねばならぬ、日人間にやる仕事のひとつとして力行會では日本茶の行商の如きを比較的有望な仕事として選んでゐる、この日本茶の方は先づその販賣人の資格を作る、英語は普通自由に操るまでに修めさせ品性はゼントルマンとして對等に交際し得る様に導き宗教は精神の根柢を作れるもの故これも信じて研究して行かねばならぬ、又仕事の方は、賣り方、内容行商等の研究、これが分つての上

なら行つても間違つて愛も無い、多くは渡米前に企畫した事を渡米後に履行してゐるものが少ない、迷といふ事が事業を始める人々として恐る可き敵である、上陸後かの建築の偉觀や先住者の意見等にて最初と違ふ事が頗る多いやうだ。

シカゴに行く積りなのが桑港に止つて有耶無耶の間に五年六年を無駄に送つて了う者もある、これは只、心に思つたといふだけで十分な準備が出来てゐなかつたから即ち修業準備無き決心だから人により境遇により周圍によりて變るのである、茶、クック、洋服洗濯、その何んにしてもこちらで白人向きの職業に關して相當の用意をして會話に差支へ無く、品性に不安を感せぬ程度にして西洋人の間に活動し得れば行つたつてソウ迷ふ氣遣ひは無い。傍から人が何んと云つたつて自信があつて大膽であれば五年六年の内にどん／＼計畫通りに行くのである、唯健康が續かねば保證は出來

ないが。白人間に勢力を作る用意に缺かねば遂には成功するに極つてゐる
即ち新式渡米法を著す理由の一つはこの點からも出て来る。

第四 従來の渡米者は品性問題を餘り注意し

なかつた恨みがある、

これに就いては日本人がこゝに居られては困ると米人に思はれる種類の
人が少からず、これは在米日本人の間にも尤も議論になつてゐるのだから
米人から排日の材料に供されたのは尤の次第である、かくの如き劣等な品
性を米國に持つて來られては精神的に吾々家庭及び國家のため子孫の爲に
看過すべからざる危険的の事件とせられて居る米國はすでに黒人問題解釋
について困つてゐる、黒人の品性が低いため南方アメリカではその損害を
受けてゐる事多大なものである。若し日本人の品性が支那人黒人に類似し

てゐるとすれば一體米人が排日に賛成するのは仕方が無いからこの忌まし
い聲の滅滅は中々至難である、三十九年布哇から數千の日本人が一時に轉
航した當時の事を思ふと日本人すらその様子を見れば皆悉く一驚した程の
風采の者があつたのだから排日の聲が一層高く擧つたのも道理である、排
日の議論もいろいろあるが此品性問題は識者の同情を得又は識者も動かさ
れ遂には此問題を重要視して研究するに至つたのである、これ米國の労働
者ばかりでなく大抵の識者の間にも其暗潮の澎湃として漲つてゐる重大な
問題となつた。しかし願みて彼の排日論者は労働者に媚び政治上の野心か
ら出てゐるのだから、でも日本から行つた者が見て眞逆彼等が云ふ程でなく
も、日常の言語、行爲、盡く品性の卑しい事を證據立てゝゐる事が尠くな
かつたなら、それが容易ならぬ力となつた、で在米同胞の或人は定めし立
腹する人もあらうがそれを確かに認めてゐる在米同胞間の識者も多いのだ

から今後の渡米者はこの排日の材料を勉めて與へぬ様に第一に自個の成功の爲め大和民族のため飽く迄も慎重なる態度をとるべきであるのは言を俟たぬ、議論は別として在米邦人の間に日本の體面を汚す者が有るか如何は別として日本現在は品性の下等な者は従つて卑まれ容れられないこれに反して品性高潔な人は用ゐられ擧げられる故に品性の涵養は眞實の仕事の出来る人の根本であり中心である、これからの渡米者としてもこれが必要條件の一である、一體日本人は昔から君子國と云はれてゐた、強く體面を重んじその感情は繊細でかの獸性に富んだ米人よりも遙かに立派な紳士としての内容を有つてゐるか知れない。文明は徒らに機械の發達のみにあらず其國民の品性如何にあるのである、人格ある國民こそ眞正に文明の名實を獨り保持し得るのである。

第五 今まで行つた多くの人は又宗教問題に不注意であつた

或者は金ピカの聖書を買つて持つて往きさへすればそれで能事了れりと言つた風の上陸後はアーメンだけで表面信者で胡魔化さうとした、しかしかく簡単に宗教問題が解決さればこれに越した事はないがそんな形式だけで通れるものでないのは三歳の兒も猶よく知つてゐるといつてもよい。何にしても宗教は國民性の基本である、例へ宗教が腐敗したとしても一度はその國民國家の人心を支配しその習慣風俗を成したものだ。ピューリタンが先驅者として且つ新教がどしどし浸入した米國は新教國を以つて誇りにしてゐる國故宗教の重大視せられてゐるは勿論、宗教の爲めと云へは金を惜しまず出す人ありロツクヘラー、カーネギーのやうな純正な信者でな

い者までも金を出すに惜まない、此年も日本各地の青年會に寄附したうちにはロックヘラーの金も澤山這入つてゐる、さう云ふ風にして實際の米國社會は宗教中心で動いてゐる。

政治運動と實業の運動もみなこの宗教を中心にして動いてゐる、會社の重役支配人等が教會の役員をしてゐる有様だからあちらへ行く人も日常生活の根本たる宗教で多少の安心を求め宗教で一切を律し得られる人となつて行けば彼我の思想交換にも職業の問題にも至極便利である、これ恰も法華宗の人が門徒のところへ嫁して來て宗旨違の爲出される例の如く隨分宗教の異同がその生活に影響するものである、元來慈愛を心とする宗教にそんなわけがない様に思はれるが少し違つても反對を起すといふのも人情自然から來るのかも知れない、キリスト教は異宗に迫害を加へてまでも信者にしたいと云ふのが眞の愛として居る、萬里の波濤をこえて新教國の米國

に行き確信する仕事をするにはどうしても安心立命の精神が必要である又彼等之間に交つて闘ふには各方面から内地にある時から十分研究して眞面目な信者として行く方が別してよい筈である、在米同胞の信者の内にも痛く不都合の人もある。

柔弱で女に甘いとか遊怠の人とかは日本人の未信者からも厭やがられ米人からもミッシヨシボーイとして卑下されてゐる、ミッシヨシゴロと云つて轉々としてその間に一身を持ち扱つてゐるものがある、爲めに耶蘇信者はどうせ碌な事は出來ぬと思はれて同胞間には鼻つまみとなつてゐるものがどうして米人間に働けるものか。大體、日本人は太平洋沿岸では高等職業に雇つて呉れぬが宣教師の紹介で行つて直に東部の鐵道會社の役人に雇はれた人もあるのだから或信者は日本の政府から頼んでも見られぬ工場の中を自由に觀て來た或は入れぬ家庭にも入つた人もある、日本の外交官

も出来ぬ彼の勢力家の向にも往來した日本人もある、信者である、云ふ事は彼等社會に入るには大なる力である、在米の日本人牧師と云へばその名に依つて在米同胞の大概の證人に立つやうになつてゐる何かと云へば在米同胞に引き出されるのを見てか、かの地に於ける彼等の勢力を想像する事が出来る、邦人相手でなく米人相手の仕事なれば熱心な信者になつてから行くことは本人の爲め米人の爲め兩國人の爲め、どうか眞摯なるキリスト信者となつて自分にも偽善者でないといふ自覺が出来て行つたならば米國へ渡つても仕事もなし易いし又少し位の難儀にも耐え得らるゝ。

殊にあちらに行つて青年の墮落に、感染せぬ用心はその教會に出入りしてゐるより外無い、無論教會に出入りしてゐる人にも怪しい者も多いが、でもとにかく教會に缺席せず祈りバイブルを讀み讚美を唱へ説教を聽いて居れば良心の刺戟も相應に有るから悪い方を避けるやうになるであらう。

既に太平洋沿岸の識者間にもこの事を認めて或牧師の如きは、太平洋沿岸の邦人傳道は即ち日米問題解決の捷徑であると信じてこれを唱道するに至つた者もある。

第六 語學のこと

従來の渡米者は語學の如きは殆んど眼中になかつたので西洋人の間に仕事するには非常に不便であつた。

これ迄としてその必要を知らぬのではない、だが行つてからでもやれる寧ろその方が正確で得策だとさへ思つてゐた、一時も早く横濱を立ちさへすればよいと思つてゐた。けれど行つてからでは食ひながらやらねばならぬそれが却て困難だ、西洋人の家だからと思ふが、臺所の言語位なら直ぐだが、それ以外はなかく覺えられぬ、向ふへ行つても進歩は六ヶ敷い仕方が、

なく手眞似などで胡魔かすに過ぎない、それでも間に合ふ、その爲めに十年も行つてゐても進歩は覺束なく矢張りブロークンで終はる勉強する氣もいつの間にか碎けて了ふ。會話は下手で書けぬ人、讀めぬ人として向上すべき道もつかずたゞ下等な言語ばかりに慣れて米人ともつかず日本人ともつかぬ變挺な言語を語る人になつて了ふ、そこから英語は最初から十分に研究して目上の人々とも流暢に語れるやうになつて行けば職業の範圍も廣いからよりよい仕事に有り附けるのである、米國人には大體人種の考へが無い信用すべき善き性質があつて仕事か出來さへすれば喜んで使つて呉れるカーネギー、モルガラントラストのゼネラルマネージャーとしてスワフに任せられた様に有用の人奮闘的人であれば何んでもかまはずに使ふ即ち意志の疏通が出來互に交はれる迄行つて居れば人物とも接し又、見抜かれるもする、ブライアンが山下ブライアンをして大學を卒業せしめかのハリ

スが長澤鼎を信任したやうに、人種は丸で眼中に置かない何の人種でも役に立つものはどしどし使ふに躊躇しない。

日本人は黄色だからなど、自卑せずに大統領にでもなる位の氣込みで今の間は政治には勿論參與されぬが實業界に大飛躍を試みるもよからう。向ふへ行つてから學ぶの、西洋人の家庭に入れば出来るの日本語を米人に使はすのと徒に大言壯言するよりも物價は廉く月謝の安い日本で實力をつけて行つたがよい。アクセント、プロナウンセーション等は西洋人についた方が早いけれど英語の實力を養ふには日本に居た内にした方が遙か利益である又順序である譯讀文章文法單語などをやつておけば後は容易に出来るから行く時間を延ばしてもウンとこちらで勉強した方がどんなに優しだか知れない、ましてどうせ米國に行かぬとしても日本人はこの世界語を學んでおく必要が十分あるのだから。語學の力があつて何んでもやりこなす人な

らば當局者だつてその様な人を行かすのに否やはあるまい、英語は渡米者にとつて無二の武器である、これは余輩のみか米同胞みな深く感じてゐる所であるから英語をマスターする事は是非誰れでも忽諸に付してはならぬこれは従來の渡米者はあちらに往つてから皆々悔いる所である。

第七 従來の渡米者の注意せざりし人情風俗

前述の如く徒らに渡米を急ぎ旅券とり熱中してはどうか旅券が手に入れば大概六箇月で無効になるので親類廻りや送別會などで二三箇月をつぶし、もう愚圖々々されぬと大急ぎに行つて了ふ、何の準備も落着いて出来なかつたのである。

旅券下附の前後には渡米法とか彼の地の人情風俗位書いたものを讀んでは居れど旅券の方に一心が集つてゐるので参考に讀んだものも餘り身に染み

ず渡米の役には立たぬのである、従つて語學や宗教等の方のみか人情風俗をも了解せずに行つて了うので上陸後は何かと詰らぬ所で間違つてきりぬる故冷遇される場合が多い又冷遇の積りでなく當り前の事を言はれても冷遇と思ひ僻む或は些度した事から情なくも放逐される、日本では何でも無い事迄あちらでは不都合といふ具合で不首尾に了る事情がいくらも有る。スクールボーイにさへそれがあつた。

それでは今後白人間に突進するには大きな矛盾であれば彼地の禮儀風俗人情に通じてから行くとすべし、従來は渡米後日本人中に入つてその紹介で満足し或は日本人のボツスの下に働いてそれでも可なり金になつた又日本人の農園に働いても居た、しかし今後渡米者はそればかりでは今までの在米同胞位の成功以上に達し得なくなつた。これではどうも諸君に渡米を勧める程の事がない。是非白人間に勇敢に突進して貰ひたい。人情風

俗などは向ふへ行けばすぐ覺えられると思ふかも知れないが中々考へものである。只知つてゐるばかりでは駄目だ。これに慣れると同時に厚く尊重せねばならぬ。ところが行つてから同胞の間に入るとこんなことは何うでもよいと云ふ様な始末が起つて来る。裏面ぎり見てゐると英語の不規則と同時にこの生活を頭から馬鹿にしてゐるので諸事が放肆になる、電車の中で席を譲る位は知つて居ながらこの女はこの風體で濟まして居るか内幕に入れば當にならぬとしてその相應の禮儀も怠る約束を守る事、時間を守る事は知り切つてゐても渡米以後各闇黒面に於て自分と反對の人に多く眼を開いてゐたので平氣でこれ等をすべて無視するに至るのは不思議である。こんな事では例へ成功したとしても甚だ不整頓なものに過ぎない、凡そ國の習慣風俗はその國に於て成功する必要な形式である、これを無視してはならぬこれを守らねば生活が出来ぬこれを本式に眞面目にやつて来る西洋人に

對してだけ此方でもやるのではだめ、これを西洋人が本式にやらぬと云つて怠つては紳士でない、朝起きるとグットモーニング、別れる時グッドバイと云ふ如くサイドウォークは矢張りその街の右左と極めてある所を通る如き又街に依つては自轉車で人道を通れぬ所もあるこれ等は守らねばならぬは極つてゐる又日本人のやうに躁忽にやる必要もないが就業時間は少しでも休まずに勤める早く濟ましてから早く休むといふ様には出来ない正確に自分に仕事を精出してやれば悪い主人でも主婦でも段々尊重するやうになるしその人に大事を托するに足ると信じて来る。信用を得る事は最も大切な事で又成功の基である、この習慣、風俗、人情を了解して何處までも眞面目にやつて行けば渡米成功の功驗が次第に眼に見えて来る。まして下等の米人のみか中、上流の米人に交はりて彼等以上の働きを仕やうとするにはこれを大に研究して行つたがよい。しかも日本に居る時から少しづつ、

習慣つけておくは、何より大切な事である、髭を剃る、爪の垢をとる、靴の埃を拂ふ洋服の折り目をキチンと付けて置く。それに金の有る人は日本にも西洋風にやれる、寢臺のこと食物のことでもさうだ、さう迄出来ぬ人でも一寸注意さへすればやはりその練習が出来る洋服を着るのも手早く着るやうになる。就働時間十時間をちやんと働く癖をつけて置けばこれも彼地へ行つてさう苦しくはない。これを瑣事のの一つと思ひ或は解つてゐると思つてもさして自身實際にやつて行くのは極めて困難のものである、一寸人に會つて笑顔を作るのはよいと知つてゐても平常苦面の人には五年十年かかつて愛嬌を見せられぬのが普通であるこれなぞも氣をつけておく可きである。

要するに排日運動の起るのも彼地に行つた日本人が向ふの人情風俗を案外無視するからの事である、精神では同化しても外形で同化しない人間だ

といふ風にいはれたのが排日にもなつたのだ、これも尤の言ひ分の一つ。諸君にしる家庭に雇つた支那人かアイヌ人が何時迄もその故國の風俗を直さねば折々注意もするしそれでも聞かねば遂には不快と立腹とに至るであらう、これ等は東西動かぬ人情なれど十分同情もし研究もしてその舊慣習から離れるやうにしたい。

第八 従來の渡米者と教育

旅券とり一方で一切の準備は缺くる所が多かつたため例へば日本現代の各方面の事情をよく調査して居る時間なき爲に解つて居ないで行つてから日本と或ものを取引する又は日米貿易等の現状が薩張り暗いので手がつけられないといふ事である、よし計畫しても盡く事實と適合せざるが故に一も成功する事は六ヶ敷き情態であると言はれて居る、中等教育を受けず

に行つた人が多いので太平洋沿岸も日本語の通する日本人の間だけシャトルならその附近だけポートランドならポートランドだけと云ふ風に或る限局された一箇所だけの内故葡萄を作つて儲ける者があれば直ぐその真似をする者が出て来るレストラントを一人がやればすぐそれに倣ふ、勿論その土地にもよるが場所も考へず桑港やオークラントには靴屋が多いといふやうになつてゐるかうなつては丸で日本と同じ事だ。向うでは金銀の値段が違ふから日本へ持つて歸へれば倍にはなるが向ふでその日くを送つて居ては大した儲けにもならず。唯生活が少し容易でいくらか無責任の暮しが出来るといふだけの事であつて態々米國に行つた甲斐がない譯である。

始めから米國の諸方面の事情に明かであり同時に日本の事情に通しかねて日米關係の上に卓抜な理解力を有して居て此の方針なら將來どうなるか僕の見識に敢て缺かぬといふ程度の中等教育や準備はしておく方は宜しい

のである、それは中等教育が有つたからとて何んにもならぬ者もあるが普通教育があれば素地があるから渡米後で適當な處置を要するに際して其見解を立てるには少くともこれ以上の教育はどうもなくては困る又日本と取引すれば儲かる事がありながらどうも外人にしてやられるやうである。

米國に長く行つてゐてよく米國の事情に熟して居る日本人が澤山あるのに日米貿易は何故か横濱や桑港邊りの外人が今でも昔と同じくやつてゐるのは全く奇異の觀に打たれる。勿論年數の足らぬ爲めか資本も充分に持たぬ所以もあらうがそれぎりではない日本の事情に通じてゐないのが第一の因由をなしてゐる、中には日本へ持つて行つたら儲かる事と思つた商品も疾くに日本に来て有つたりするなどして大失敗したやうな人も記者もよく知つてゐる今後は決してエケおどかしは利かぬのだ米人も今では日本の事情にも通ずるやうになつた日本人も亦大分米國の内情に明くなつて來たか

不斷の注意はますます研究の方に進むべきである、日本人の問題はこれから日米貿易に係つて兩方を了解する事が要點となつたのだ、それには内地に十數年居て向ふへ行つて又十數年居た人が何より都合がよい、たゞ勞働を賣つて内地の二倍の賃金を取るだけに満足せずと商品の賣買で金を儲ける事に心懸けねばならぬ。

今後仕事して行く人の着眼點は即ち此處に在るこれからは日米間に政治商業、文學、美術何れの方面に係つて儲けんとするにもせよ中等教育位はやつておかねば發達成功の望みはないと諦めねばならぬ、それも正則に中學を卒業せよとは云はぬ。實力を養ひさへすればよいのだ新式渡米者は此點を大に考ふ可きである。

第九 身體の強健

凡そ事業を成さうとする人にとつては身體が強壯でなくては何事も仕遂げ得ぬとは今更云ふ迄もない、殊に海外に發展せんとする者は猶更の事である。若し海外に出て病氣にでも罹ればそれだけの穴は容易に埋め合ひがつかぬ、藥代その他の費用は莫大なものである。精神的には意志の衰耗を來たして消極的となる五六年の計畫か十年二十年と延びて行くから、直接にその仕事の上に影響が加つて來るから疾病に犯されやすい身體の人は行く事を止めた方がよろし、自分では強健であると思つてゐてもその實際より強健でない人がある記者の知つてゐる人にもトラホームの憂なしと云つて居ながら検査の時に不合格になつた人がある、心臟病、痲病、肺病その他病氣は周到に用心すべきである、彼地へ行けば頭腦を使ふ事より身體を使ふ方が劇しくなるから諸事にまめに立ち働く人とならねばならぬ、しかるに其時の旅券下附の傾向はどうでも、一萬圓の資産を有つてゐる上に中學

卒業といふ方針であつたからして旅券をとつて行く様な人の多くは身體が虚弱で瘠せてゐるので通常十時間の労働にも耐え難いらしかつた、修學のためといふ様な人も家から金を送つて貰つて向へ行けば何にしる金をとれるので遂には自分でも労働する氣にもなる、それでこのスクールボーイをやつてハイスクールを卒業する迄續ける人は割に少なかつた多く旅券を下附された人もこの點に於ては多く失望したらしかつた。

労働者は渡米させぬ方針でも金の窮する日本から金を取り寄せるより向で働く方が都合が利くので矢張り労働する人が絶えないのは實情である上陸の際にも家から金の來ぬ時は労働すると言つても許可され是認されてゐる當局者は労働者でないと思つてやつても行つてからは中々さうばかりも行かぬ、内地で落第したとか商業の失敗又は放蕩したからと云つて父兄が本人の身體に缺點があつても渡米させる者がある、そのやうな人は元から

身體が弱いので少し働いてすぐ嘆聲を洩す外なくそれでも今更歸るわけにも行かなくなるので、種々抜け道を一向に考へ詰め、たゞ無理をしてゐたり其結果は随分心身共に病氣に陥り止むなく向の慈善病院に入つてゐる人も少くない、これ人生の悲惨事であり痛ましい運命と云ふべきである、普通の病なら病院の金が高い上に愛情に満ちた看護はとても貧しい病人には基督教國でも望まれそうもなく感めてくれる友人一人や二人が來て呉れるにしても其人達の一日の賃金を無駄にしたのみか治療代もかけてやらねばならず日本の病院どこの騒ぎではない、僅か桑港など都會の地には慈善會教會等多少は世話する所があるが、それでなくては全然動けなくなつたとか或は死んだとかと云へば金も集まるし少しは面倒見てくれる位が關の山と思へば豫算が狂はないのである。それ故少し長く病院に入つて居れば一年位の労働ではとともとりかへしがつきやうない、さうかと云つて國から金

を取り寄せる事もならずそんな凭んなから始めの計畫も見事壞はれて無理な事も考へ身體を樂にして金の儲かる非理な事に苦心する、尤も學問もあり語學にも精通してゐればいくらかは仕事もあるだらうがそれでなくて外の事も餘り分らないと随分悪いと知り乍ら見す／＼その無理な仕事をせねば動きがとれなくなる、從來の渡米者は此邊も注意して行かず只客氣にはやつて行くやうな始末であつたのでその結果はあり／＼と見透いてゐる、新式渡米者は疾のある人は根つ切り治癒して又十分強健でない人は健康體に復した上で行くやうにせねばならぬ。

第十 社交的修養

從來の渡米者は多くは米國に同化し難い國民と云はれた餘りに愛國心の強い國民だと云はれた、恰度米國に日本人の團結してゐるのは一個の爆烈

彈のやうに危険視されてゐた、これも排日の理由には有力の一つであつた日人には歸化權云々の論起る毎に内地に於ける識者と稱せらるゝ人は曰く態々邦人を米國に放逐して米國人にする要無しなど、詭辯を弄し又市民權無きをも更に意に介しないのみか或人は米國人が邦人に市民權を付與せぬをよい事にしてさながら市民權を得んとするは大和民族の發展の意に反する事だと云ふものがある、けれども日本人の自由意志を以てして日本人にもなり米人にもなれる權利がなくては侮辱されてゐると云ふべきで歸化權は或論者の如く歐洲人と同様に獲得するのが至當である、が在米同胞を見るのに餘りに故國を愛着する念熱きを見る即ち我儘を徹して米國に於ても猶日本の風を止めず旭旗を持つたり時には軍服の上に勳章をつけたり宗教も佛敎によつて寺院を建てたり日本風の湯屋、蕎麥屋、汁粉屋を開業するなど、しかも日本風を開業するなど米人の間に在つて日本風を吹かせて得々

として誇つてゐるものも間々あるのだ、さうでなくとも日本を恐怖して疑念を抱いてゐるのに日露戦役後は到る處に日本人振る何かあつて、團體の祭りでもあるとすぐ日本人の色彩を表はす。

此頃のシャトル市祭にも二千五百人の同胞が其時因幡丸の持つて行つた提灯で行列を舉行したので其盛なる有様を見て米人は容易ならぬ事と驚いてゐたと云ふ七月四日の獨立祭に日本から取り寄せた花火を擧げると日本の國旗が高く天空に浮き出たのでも驚かした。その様な時に日本の移民の中で古い軍服など引き出しては着るので軍事探偵ではないかと怪しまれたいくら辯解して行つてもヒョイ／＼現はれる此様な出來事では疑はれるのも仕方がない。郷に入つては郷に従へとは決して餘所事とは思はれない。米國に入つては米人の氣を損せぬやうに努めるが當り前の社交的の禮儀であるまいか。内地からの移民の内には東京の生活を知らずして全然日本の

田舎風を其のまゝ露出して憚らないので尙更言はれる、今後は米國風に感化される事を忘れてならぬ。かう云ふと大和民族發展の意義に戻り千人行けば千人だけ日本人の勢力を減去するかのやうに思ふ者もあるか知れぬが斷じてそれは間違である。日本人が歸化して居ればそれだけ日本人のためにもなるのだ、今日の様に邦人に歸化權が無いのは何等正當な權利が有てない、云ひたい事も採用される筈はなし、政治上には全く手も足も出せぬ。踏み躪られても平氣で我慢せねばならぬ。若しそれを市民となり得て日本人が警視總監となり市會議員等となつて居れば日米人間に事が起つても日本人の不利益や不公平の事のないのは知れた事である。

伊國人もそれだ、伊人の如きは同化すると見られ且又立派な人がその國の重職についてゐるのであるがその伊人は先きには排斥されたものであつた。これを思へば歸化權を得るにはどうしても同化される國民と見られる

位でなければいけぬ。風俗宗教食物等にもみな同化する心が入るのである。たとへ十萬の邦人が行つて居つても政治上には無關係であり何等の權利無き國民では心細い次第である、日本人は白人と同じく同化される國民と信じられるだけの注意は是非必要である。

何んでも向へ行つたからには米人から尊重されて立派な職業にもつき愉快に仕事の出来るやうに國民の地位を自覺して一步も他の白人に劣らぬ決心を有つ可きは云ふ迄もない事である、今後新に渡米せんとする人に對して此點は重々熟考して頂きたいのである。

如何なる人が渡米出来るか

これは却々複雑で一才明確に答へ難いが新式渡米法を著すの理由を見れば

大概見當がつかさうに思ふ。何んでもこれからは準備だけは完全にしておかないとどうして大成功などは空言と等しいわけである、辛うじてこれ迄多少の人は成功してゐるがチャンスなどは少しも的にせず意志の力にすべてを預ける事を旨とせねばならぬ、資格や準備が十分整へても若し旅券が下がらねばそれは當局者がその實力を認識する能力がないと云ふべきで實際は在米同胞の状態、宗教語學人情風俗に明らかで日本の中學を出で身體が強壯であれば向へ行つても普通何んでもやれる人であるから成功も疑ひなからう又當局者だつてかう云ふ人達を意地悪くやらぬといふ道理がない、けれどこれあるからと云つても茫乎してゐてこの準備を事實の上に乗び行く技備がなくてはならぬ、單に用意を持つてゐるばかりでは偶像と同じだ、即ちその資格を具てゐる事を旅券下附を願出てる時に十分現はれるやうな風になくは無駄になる折角、下附されるのもフイになる心配も

ある、中には資格が不十分でも、より以上にその効果を奏する者もある、一概には言はれないが兎に角渡米して西洋人から信用され、この人なら渡米して確實に成功すると何人からも見られる人ならば旅券の下がらぬ事は萬あり得ない。又横濱の檢疫、消毒、水上警察の訊問、船中の事學校に入る事就職の事それからそれと恰も坦々たる平地を行くが如く萬事都合よく運ぶ可きであるかう云ふ人が一人りでも多く渡米すればそれだけ日本民族の發展となり、米國の利益ともなる、由來旅券をとる事に詰らぬ悪徳を弄して少しも恥ぢず虚でも何んでもない、盛んに運動費を遣つたり職業を偽りなども行けなくなる様な事にもなる。そんな馬鹿らしい事は止めにして一年がらうが三年か、ちうか成るだけ頓着せず悠くりと大局の上に眼を開いて一切の準備を遺漏なからしめ自分の成算通り遂行するに限る。彼地に行て

工業商業に従事した所で金が内地の二倍も五倍も残るとすれば小學校の小使が校長となつたやうだし郡役所の小使が郡長に郡長が縣知事になつたやうなものソなるには日本では多くの年數がいくらかゝるか知らぬのでないか、然るに渡米と來ては唯太平洋一つ越えさへすれば一躍して其校長や郡長になるのだ準備の爲に一年や二年位かゝつても仕方ないではないか、少々位苦まずして容易に旅券も下附せられ安すくと渡米せば恰も成上りの忽ちに失敗するに取つた金を直ちに使つて仕舞ふ、否墮落して三年五年と送る内に識らずと二度と浮かばれぬ淵に沈んで永遠の死に終るのであるすつかり準備して可なり苦んで行つた人は取つた金は残らず貯へて仕事の基礎も固くつくる様になれども小使が郡長になつたのでは只成金で身につく金にはならぬ、世間一般から考へても準備が必要なのは極めて明かな事實である五年十年とせかすと二三年は用意して行くが好い決してあせる

必要がない。せかずに往けば必ず往けるものをせくが爲に失敗する人は十中八九は皆それである。急かす着々と準備して十分の資格を造つて往けば何人も渡米六ヶ敷いものでない。

二

又此問題は誰れしも渡米せんとする人にとつて寸刻も早く聞きたいと切に望むであらう。この問題が解決すれば多くの渡米者は萬事渡米準備が已になつたやうに思ふ、これが極まれば渡米成功したと思ひ何百圓出しても惜しまないと意氣込む者もある如何に此問題が渡米者からは重大視せられるかは覗ひ得られる。これも從來の渡米者が皆々さう感じたので今日の實際の有様から見れば旅券などは渡米準備としては準備全體の一割位の價值しかないと言つても敢て過言ではあるまい。旅券あればそれは行かれるけれど行つたからとて成功は容易ではない別にお芽出度くない。成功せぬ程

なら行くものがない態々金を費つて米國の肥料になるのは餘り氣の利いた仕打ちではない、勿論旅券も準備の一つ故今は此問題を掲げて話さうと思ふがかう云ふ人が行かれるとカツキリ極つてゐるわけでもなく當局者にして其間の手加減には甚だ困難をしてゐる。向へ行けば必ず成功する様な人と又行つた爲めに却つて國辱を仕出すに過ぎぬ人とは似てゐる事がある。一體中等教育の必要な事は先づ認められてゐるので、中學校、甲種農學校、甲種商業、高等女學校、女子大學、女子師範其の他研學の目的のため行かうとするが如き實業では視察などこれ等はみな教育ある人として容易に旅券は下附される。これだけの事はどうしても肝要の一つに認められてゐるのだからこれは承知して貰ひたい。

次に財産の點については自家に財産のあることが何よりも先きである商業視察でも學術研究でも自家に財産があれば一番容易に旅券が下がるそれ

は人によりその經歷により或は補助人が出資して呉れるのにも澤山下がつてはゐるが必ず下がるのは自家の財産によるのだ、もとより出来るだけ有るのがよい一萬以上二萬、三萬多いのに越した事がないのは明かですさうでなくてはならぬ。

自から呼び寄せて呉れる人がある場合は實際に於ては差支へない。又君の熱誠に感じて補助してやらうといふのも宜しいが自分の家にも財産の要る事は當然である。

仕事に深い経験のある事も是非必要である、今迄その事業に従来してゐたものが彼方へ行つて更に研磨するとかたどへば齒科醫であつた人が彼地へ行つて更に研精する、銀行家が銀業事務を研究に行く、これなどは當然旅券が下がるのである。

學術も日本よりは向へ行つてからやつた方がよく出来るものであるから

これに對する経験があり實際それに従事してゐた人ならば旅券下附の條件に合致してゐるのである。

今迄は床屋が學術研究、労働者が商業視察など仰山に言ひ觸らしてそのまゝ願ひ出づるので當局者もやがて手出しがならぬ、どうも人を莫迦にしてゐるやり方故刑事巡査にこれを調査させるやうになつたので詰り欺かれるのであるから、何も欺かれなどしてまで國際問題を頻りに醸成する愚は黙許するに忍びず國家の金を遣つても調査を嚴重にしたのだ、品性の善良な人平常から評判のよい人、それが知れれば好い中等教育受けた者でもその平常の行爲が危険のものと注意されてはいけぬ、悪い傾向を有つた人が向ふへ行つてから一文無しの揚句どんな迷惑をかけるやらわからない、いかに教育ある人でも一人りのため何萬人かの迷惑を惹き起すなどは捨てゝも置かれない、無賴漢などをやるやうではどつち途困り切るので強ひて

も調査の方を劇しく勵行するのである彼方の日本人を排斥するのもこれから出て來てゐるのでだから。

まして米國は至つて自由な國であるのが極端な性行の人ならば極端に走るのは見易いから日本までその影響が波及する事もあり一旦向へ行くと共に取り締りが難事になるのであながち無理ならぬ事である、随つて宗教の素養あり品性の高潔、健全な性向の人ならば渡米許可されるのは普通である、また或縣の如きは健康状態の調査を願書と一所に提出させてゐる所もあるこれも亦旅券には關係があると見える又下附されても不健康の人では上陸すると直ぐに痲病、肺病その他花柳病など持合せては縁く事も出來ずだから旅券は下附されたとしても身體に種々の欠點ある人は行く事が不可能であるばかりか本人にしてからが行つたつて仕様がなない。

三

著者は十有五年の經驗上から云つて置かねばならぬ事がある、それは渡米者の家庭事情はその人成功と否とに、至大の關係があるからもし家庭の事情が許さぬ限りは折角行くのを断念した方が徳義から見てもよいやうに思ふ、この境遇を振り切つて行つたのは人生の悲惨事が湧いて來て償ふべからざる結果を受取る事が往々ある結婚したばかり別れて行くのは堪え難いものだ愛してゐない女を無理に父兄から押し付けられそれを逃げるのにはよいかも知れぬが愛情の濃厚な仲を強ひて離れて行くのは二三年の辛抱ならずに歸つて來る人が多い、次に長男に生れて父母の世話焼く人の無い場合に行くはよろしくない世人が盛んに渡米くと騒ぎ立てるので長男の位地も願みす態々ウイスキーの味や醜業婦の味や煙草などに馴れるためにも

う戀しい父母の上をも頼んと忘却して了ひ其上財産も蕩盡するなどは無慘な極ではあるまいか。勿論短期の視察などはよいかも知れない。

それも大學卒業とか云ふ様に何年もかゝるやうならば行かぬ方がこのましい、若い妻の賛成の上なら異存もなからうが父母老ひてゐる時はよく考へた方がよし、遊民的生活に慣れた人、濡れ手に粟の山師の如きはイーシーライフを欲求する人、口ばかり發達して手足の副はぬ人此等は渡米の甲斐少しもあるべくも見えない行つた所で僅かに用達やなんぞに成り下つて何年踏み留つてゐたからとて眞面目な仕事に有り附く事叶はず宙ぶらりの半途で失敗また立つ機會が來ない。

活動嫌ひ力行、奮闘を厭ふやうな人は始めから行くだけか野暮の骨頂である。

とかく遊蕩に流れ易い人酒や女に沈溺し易い人は其性根に改革の實の譽

る見込みない人は虚にも行く念はやめにした方がよろし。凭んな人間は日本だつて安全に身の落ち着く地が有り様がないではないか、學校は落第し不義理な金は使ひ込むとか女との醜關係から脱れる爲めに渡米しやうとする人があればそれは文明人種の間にも禍害を撒いて歩くやうなもので一體が卑怯な人間である、中には心機一轉したとかいふのも一萬人に一人や二人りはない事もあるまいか？ 米國は意氣地の無い人間と益惡化するには種々の方法で完備してるとも云つてもよい位だから無理に死地に突き入れるやうなもの、本人もいくらか、心機一轉を期して居るかも知れないが的にならぬ。

旅券がとれたとてこの様な人は渡米中止が何よりである、他に精神及び肉體の状態によつて行くのが得策でない人もある。

精神の小さい、神経質で膽の無い人は精神の異狀を來たす者が多い。

肉體が弱くて氣だけ昂つてゐる人も同じ事である、前條に述べた如く、サナダ虫、トラホーム等は上陸は許されない心臓病、肺病等はおもしかすると死に行くやうになる要するに精神及び肉體の不健全の人は心からは渡米廢止を願ふのである、反つて病氣快癒のために行くと云ふ人などはむしろ鎌倉、箱根邊りへ行つて保養した方が増しである。勿論澤山の金ある人ならばリバーサイド、バサデナ邊に遊べは悪からう筈はないが渡米成功の考へには自己の爲めから云つて行かない方がよいと思はれる。

旅券下附は何故困難になつたか

旅券下附が滅切り困難になつたのはもと／＼日本人も悪かつた、白人間からは日露戦争以來頻りに注目され出した米人は最初は吾が子を愛撫する心で丁寧に通つても段々進歩發達が眼について來るとなかく／＼憎くもなる

これは進歩の階段だから止むを得ないが。

日本人にしても品性の下劣宗教相違同化し難い危険の性状を有すといふが如きは十分に辯解の道はいくらも或名士の間に宣傳される、日米戦争の如きも辯駁する所あつても論議は理屈の上では通つても感情を氷解するは出来そうでない又日本人の缺點として布哇からの移住者の如きは風俗の亂暴言行の劣等、酒や女に感溺すること指目されて淺ましい次第、これが遂には日米戦争の因源ともなつたらば實に遺憾千萬といふべきである。

移民問題以外日米貿易これは兩國の實業界の利害得失の休戚に係るので延びては國家の利害に及び、移民問題と貿易問題と比較すれば種々の點から貿易問題の方が非常に重い、元來米國は中央政府は中央政府の權力を振はんとす地方政府は又しても其地方政府の權力を擴張せんと努めてゐる。

此政争の餘波が在米日本人へも押し來て、かの兒童問題の如き無慘に

もこの政争の犠牲とならんとして漸くその面目を保ちたるも、それに代ふるに協約の下に日本移民禁止となりて現はれたのである、日本人が行かねばそれで平穩に落着くとしてもしかし全然この様な渡航禁止は文明國として行ふ事は出来ないとするそこで渡米人物の選良となつたのでこの旅券の難易は相對國との關係から來てゐるのだから日本だつて向ふで歡迎して呉れるのならどん／＼やりたいが山々なのだ、けれど貿易上の利益とはとり換へ兼ねるので泣き寝入りとなるのである。

條約に第二條の但書が存在してゐるのは國辱といふべきで大に憤憾に堪えぬわけであるのが此前の桂内閣の時小村外相の手腕で取り消しとなつたのだ、米國もさるもの故明文には除去しても事實の上には依然取つてないタフト氏以下の盡力で成立したのだがタフト氏は此時加州に對してその除去はするも何等以前と相違無いと明答して同州を慰撫してゐる。

そこで何か他に必須の阻礙があるそれは即ち道德上其協約を守る事となつてゐるのである。

旅券下附困難の利益

旅券下附の困難になつてから一般の渡米者は非常に迷惑に感じ又一部の識者間にもこれ海外發展を阻止するものと唱道してゐる向きも見えるが併しそうばかりでもなささうだ。

困難にしてみても始めて其効果が解かつた第一には國交上に、ともすれば熾んに火の手を擧げた移民問題でも時々些々たる紛糾は起る事あるも太平洋岸の在米日本人は其後減少する一方で増加する模様は更に無いからもう頭痛にやむ程の問題も續出する患はあるまい、屢々小問題の起ることあつても解釋もわけなくなつた、この旅券下附難が日米國交上の進行を

圓滑にした事は争はれぬ事實であるから旅券下附の際、その調査を十分に
するのは免れないことだ。

第二には以降日米兩國の交際を永久に親密の度を以て保持する原因とな
る、即ち渡米者を成績好良な確實の人に限つて撰擇するのでこれ迄のやう
な願書の作成に僥倖を期し運動の熱達によつて保證人を利用して財産の有
無及學術の資格の有無等に拘らずに許可した時に比ぶればいかに失態の演
出を防ぐ事の出来るかは言ふ迄もない。今や撰ばれた人のみが渡米する事
となれば米國の苦情は全然とまで行かずとも九分通りは取り除くやうにな
つた、さり乍ら日米間のこれ等の懸案も時の進移によりて變化して行くの
だから今回移民は禁止されても外の事で巧妙な言ひ辯りを持つて來るかも
知れないから當局者及び國民は大に注意を怠つてはならぬ。

第三の利益は今迄の人の内には不適當の下附に有り附いて向ふへやつと

上陸だけは出來たと云ふ人も多かつたのでどうもその成績が上がらなかつ
た。勞働にも堪えぬ學生が表面中等教育を受け財産も相當にあると見做さ
れて許可され上陸してみれば矢張り勞働の外、途がなくその勞働も柔弱な
お蔭でどうもならむといふ時は勢ひ良くない思案に暮れて捨て腐れのまゝ
ついでに外れた事をする、これが害をせずにはおかなかつた。

今日になつては、もう正當な資格を具へた善良な人ぎり安心して行かれ
るだけで願書の内容が事實の上に全く合致せねば到底失望の外ない、今後
向ふへ行く人の間にはさして逕庭を見出す事が難くなつた。

商業上の視察農業の研究とか彼地に行つてゐる夫がその妻を呼び寄せる
父の許に子が行くと何處までも確實なもの故向ふへ行つて仕事をする人も
その用意に缺くる所がないたしか自分で期待した仕事を目的に撰んでゐる
ので日本に居た時とガラリ豹變するやうな眞似はしない、それで成功者も

多く出ることだらう。

第四、米國に行く事に何んの制限もなくて容易であつた時は日本で味噌をつけた人間が哀れな妄想に驅られて一散に行つた者が多かつた、運命だめし若しくは、恥辱しとかう思つて米國に出稼ぎに行つたものだ、だからその性格には無能、粗野の暴露を免れなかつたらしい。

かういふ雑多な人を混入して居たが今日では最早此種の人は容易な事では行けなくなつたといふ觀念が世間の人の頭を占めて來たので浮き腰の人や中途半端な人はすつかりと渡米を斷念してゐる。

今日ではよく／＼意力の強い人でなくては行かうとしない、向ふへ行つても必ず成功する人、即ち剛毅の人堅忍不拔の人力行的自信のある人が行くに至つた、斯の様な人なら彼地へ行つてもとにかく成功するに違ひない今は行く人も少なくなつた、米國人は日本人の數の多く行く事を氣病みに

してゐるけれど數の多少のみが大和民族の發展に影響するものでもあるまい、頼み少ない不用意な人が澤山行つてやたらに紛争を醸生し米人の神經を刺激するよりは遠大な志を持つた堅實な人が少なく行つて着々成功の道を進め段々民族の基礎を築いて行く方がどれ程好望だか知れない、眞平の發展は人數の増殖ではなく少數にも經濟上の勢力を獲て信用を保つ可き人から成り立つてゐれば、それでよいのだ。

されば如上四つの利益ありとして當局者は今年より第二條の但書を消除し聊か移民禁止の耻辱をそゝいた代はりに道徳上に渡つて渡米者の調査に聊の缺陷なからしめ將來兩國平和の保證となるべき米國より歡迎さるゝほどの人ぎり送るといふ方針は如何なる點から見ても賛成するに躊躇しないよし米國はどうあらうと渡米する日本人が獨り崇潔な精神を以て白人の心裡に照映せしむるやうの覺悟だけは互に忘れてはならぬ。

旅券下附志願者の心得

前章には旅券下附の困難の理由とその利益とを説いた、今度は苟も渡米せんとする人は、前述の二項を熟讀玩味した上で好點な方法で旅券を萬一期しやうなどは微塵も思ひ浮べず、是非當局者の方針に向ふて美しい同情と敬意とを表しそして渡米の願意は發作的でなく笑談や物好きでなく飽くまでも決行すると云ふ大陸の氣風に負けずに旅券下附される迄は徐かにその實力の蓄積に意を致して可なりだ、實力があつて當局者の眼鏡に叶つた人は許可されるのは定てるもの故どうせ行く程なら十年廿年の計畫で、もし出来るならば一生は愚か子孫までも永住のつもりで行かれないものだそれで渡米前の準備を完備するためには日本に二年なり三年なり諸般の修養に盡すことを一考せねばならぬ、土臺の壞れてゐる石垣はいくら其上に

石を積み上げてもすぐ無駄になると同じく、その用意にして周到でなければ後悔の日が速かに來るのを如何にせんや、此心得を念頭に置いて奔走運動、表面の糊塗等ばもう根つから癢めにするに限る、向ふへ行つてからの失態はその實力の養成を等閑視した罪から多く生れ出て結局は己れ一身の損害は夥しい量となる、何より當局者の満足を買ふだけの用意をしてから願書を提出するがよい、この様な事をうるさく云ふのでもないが實際は堂々たるこの決心が出來ぬ人が多い、山をかけて狡猾に取繕つて渡米を急ぐ弊が絶えないのは嘆かほしい。ごまかしの念を思ひ切れないのは鄙劣である。著者は繰り返して云ふ。何年かゝつても遺憾なき準備とその資格とを根底から作り上げる慎重の態度からその人の成功は現はれて來る。

之れを要するに今後の渡米者は、資格ある人も無い人も、若し一度渡米せんと決心した上は何年かゝるも、如何なる困難あるも、當局者の是と認

むる迄準備をして行く様になれば良いので、輕卒に、考へ輕卒に止める如き人は今後渡米を志願する資格の無いのみか上陸の上も失敗の外無い人と思はねばならぬ、即ち、

第一の心得は自分の意志を強からしめん爲修養する事精神一到何事か成らざらんと云ふが如き格言は今日の渡米者にも活用すべき格言である。

旅券下附志願の手續き

如何にして旅券を得べきか、その手續きは如何といふ事は隨時記者の受くる質問の例でまことに當惑する。なせなら如何なる人が渡米すべきかを知り旅券下附さる可き人の資格を知つたなら順序として述べる事も出来るが、でない人は單に旅券とるを目的としてゐる有様で歎しい事である。然しひとひに手續と云ふ事でよければわけがない。書式は左の通りだ。

(書式)

海外旅券下附願

一 姓 名 何 某(姓名の傍に假名をふるべし)

一 生年月日 明治何年何月何日生

一 身 分 何 某 何 男

一 族 籍 平民若クハ士族

一 本籍地 何縣何郡何町村何番地

一 所在地 何區何町何番地何某方

一 職 業 學生或は商業

一 渡航地 北米合衆國

一 目 的 何々研究

右之者今般北米合衆國へ渡航致度ニ付旅券御下附相成度戸籍謄本相添へ

此段相願候也

明治 年 月 日 右 何 某 印
府縣知事 何 誰 殿

これではよいのだ、それに履歴書を添へ猶當局者の調査に便利を與ふる爲め保證書でも入れてやる、本人の人格、目的、經歷を明白に當局者に誤解なく會得する様にして行けば何んでもなく出来るのだ、手続きは尤も簡單なもの故これだけでは旅券がとれるとは確言しにくい、手續には巧妙と拙劣の區別はない、書式手續で下がる、下がらぬとは言はれないので其人の實力がよく目的に合ひ人格が海外に活動するに不足でなければよいのだ書式がどれほど良くも手續に抜目なくも調査の結果が不首尾であれば先づ下がらぬのであつてこれは多くの例によつても知れる事である。

書式手續は抑々末枝であつて米國に渡つてから成功する實力が何より大

切である。

これは何處で提出してよいかと聞く人がある東京府は直接府廳へ地方ならばその警察署へ持つて行けばよい、勿論警察署へ出したからと何にもその署長の適宜で許容したり却下したりするのでは無い、府縣知事から警察に詳細に調べさして許否は外務省で決定するのだ、署長がどう云ふものにしたがり氣に掛けたりしなくてもよろしいのだ、唯書式に就いて云々のあつた時に其指命に従はなくてはならぬのは仕方がない、各地方によつては其手加減に少しづつ、差違はあるがそれには服従する外はない、で本人の持參がよし書留で送付するもよい親戚親友に頼むも又位置あり信望ある人が代はりに持つて行くもよいのだ出すべき所にさへ出せば決して異論はない。

勿論書式に相違ある時は受付けられぬ事もある又、受取つたとしてもこれでは駄目であるから能く注意して正式に認める事が肝心である、末枝で

あるとしても忽諸にしてはならぬ。

旅券は幾日位にして下附さるゝや

この問題にも度々出會つてゐるが一概に極める事は出来ないもの、二三週間で下がる人もあり、三日で下附された人も聞く、一ヶ月位の後の人、六ヶ月かゝつて下がつた人もある。要は當局者からの調査が容易に行き届くやうに始末よくしておけば結果は早く見られる下がる、下らぬは別としてその結果だけが見たければ都合よくて解りやすくしてやれば早い警察では刑事に調べさせるのに外面ばかり自分の偉らがりを誇張したとても、無駄である、最初から斯う云つておけば好かつたと後で残念がる事の無い様、豫め漏れ無い答への出来る準備をしておけばよい、調査の困難であればある程それに準じて遅くなるわけである、本人の關係が諸方にあればど

うも長びく、保證人が長野縣の人で現に長崎市に住んでゐたりすると手間どるのである。本人が東京市内に居て保證人も同じ市内でその住所もすぐ解かる所に居ると云ふ場合の如きは早く片がつく、殊に信望ある人が出かけて行つて話して呉れゝば猶その利目ある。

又長くなつたとて心配せんでもよろしいが此頃は餘り長くかゝるのは見込が薄いそれかと云つてすぐその翌日調べに来たなども怪しい、三十日から六十日の間それ以上は困難の方に屬し三十日位が好成绩の方である。それで旅券が付與されてから始めて渡航の支度に取りかゝつても敢て遅くはない。

旅券は何の効力有りや

旅券は渡米者にとりては極めて肝要のもの第一である船の切符もこれが

なくては買へないこれが無くては乗船も出来ず出港の時にも警察の訊問にも不可となる、けれど眼の検査はこれなくもやつて貰へるが。

旅券がなくてはいくら氣ばかり急つても行く事が不可能である、甲板上では米國の醫者が調べる、その旅券を持たねばすぐ船から下ろされる上陸の時もこれなければ上陸不許可で密航と同視される、尤も英國佛國の如きは旅券なくも上陸を許可する、が米國はこれなしには入國出来ぬ故にその効力は非常なものである、旅券の本文では外國で變事が起つた時は保護してくれと明文にあるわけなれば保護される権利を保有するのだがその實は却てその通りにする必要がない様である、何しろ殊に米國に行く人にとつては携帶せねばならぬものに定つてゐる、何か事件の起つた場合には、旅券の必要が起る事故、渡米者に必要缺く可からざるのみか、上陸してから紛失せぬ様心掛けねばならぬ。

旅券は何月間効力ありや

旅券の効力期限は六ヶ月間としてある、もし六ヶ月経つても尙ほ乗船出立出来ないやうなら事情を具して再下附を願へば直ぐ許可となる此種類の再下附は以前却て困難であつたが今度になつて一向に雜作なくなつたからまた六ヶ月が追加される。そこで多くの人は旅券とつてから六ヶ月もあるならと渡米準備をその後には廻はすけれどこれは本當に拙手な遣り方と云はねばならぬ、時効六ヶ月などは愚圖々々としてゐる内、疾くに消滅してしまふから旅券が手へ入つたら何時でも飛び出せる様に臍を固めておく方よろし六ヶ月あるからとて浮つかり油断などしやうものなら、それこそ大變と承知するが間違ない、この期間に欲張つてからに語學もやらう米國の人情風俗も調べやうといふ人もあるがどうしてそう甘くは行かぬ、旅券を取て

からは別れて行く友人や親戚の家にさへ疑つとしては腰を据えては居られぬ有様だ。

この六ヶ月と云ふ意味は出帆乗船が六ヶ月以内ならよいと云ふのである、横濱水上警察から訊問される時が六ヶ月以内なら大丈夫なものだ、丁度船が十二日に立つならその前日迄といふ時の如き。一日二日の事は事情がよく筋が通していれば許されるが期限はとにかく厳しいといふ事に留意ありたい彼地へ行つては期限のことは左してやかましいものでない。然し此方ではやかましく言ふので結局期限の切れたものでは水上警察の調べを通過するわけにはゆかぬ、再下附を願ふにしても前の旅券が必要だから人に貸したり紛失したしてはならぬ。

旅券には三ヶ年間米國に居るとしてあつてもこの期限は旅券面には記入してないから持つてさへ居れば幾年でも効力がある身體に危険の切迫した

時は保護してくれとこれに記入してあるのだから。

初め期限を三ヶ年滞留としたのだから三年経過したら書き換えねば効力が消滅すと正直な人などは心配するけれども夫は無用の心配だ。三年間にしてある人がそれ以内で歸れば再渡米に際して旅券なしでも行かれると思つてゐる入あり即古い旅券で再下附を願はず間に合はせやうと思ふ者があればこれは誤りである、その旅券は歸ると官廳に七日間に返附する事になつてゐる、そこで再び出かけるには改めて新しい旅券を貰つて行くのだ。

旅券無しの際密航及ひ他人の 旅券使用は如何

密航といふ文字は随分厭やな内容を想ひ起させるが、字義としてどう悪くともなくともよかりそうに思ふ國禁を犯して行くといふ事にすぐ見做さ

れるのが先づ弱味である、吉田松陰が暗夜、伊豆の下田で黒船に投せんとしたといふ事實の如きは寧ろ情夫を奮起させる事實である、これも密航の未途ではあるが誰れもそうとは思はない、外國へ行くにしても旅券無しとなると密航と命名していかにも國法を犯して行く罪人の如くに卑しめていふ今では水上警察及び向ふの上陸検査が極めて嚴重であるため全く不可能となつて來た、若し密航をやつた人の談を聞いて田舎には未だにやりかねない人があるやうだ、又出帆港の附近には暴利を貪るため密航が出来るらしい事を云つて世話をする奴輩がある由だがこれは出来ないものとしつかりと諦めて御調子に乗てはいけぬ、水上警察は乗船の時にも訊問するし愈々出帆の時となつて港外に船が動き出してから停船さして懐中電燈やランターンで船の隅から隅まで残らず調べるのだからとても無法な行爲はとれる筈はない。

危険を排して石炭倉の奥に這入つたり積荷の底に蹲踞したりしてまで渡航するやうな事は愚なこと、又それのみか十八日間食ふか食はぬかその所は判然しないそして上陸の際には鵜の目鷹の目で見詰めてゐる、よし上陸した所で船門にも又税關の門にも嚴しい警戒があるし、海の方では水上警察が船の周圍にボートで見張つて居る、若し逃れやうと水にでも入る奴があればピストルで射撃せぬばかりにして待つてゐる様だから滅多に欺かれぬやう又は物笑ひにならぬ様決して密航周旋の口などに乗つてはならぬ。加之人の旅券を買うて偽名してまで行けると誤解してゐる人もあるやうだこれも警察の眼をくまます事は殆んど出來ぬ相談と云ふべし、おどけにも密航や古旅券の買求め談の手管に聞き耳を立てゝはいけぬ。

近頃では此様な事は余り少くなつた様子故著者が業々しく注意する要もないかも知れぬが、でも時々無謀な企をした噂も聞く故一言したわけ、何

も、かうして命がけで出かけやうとする程なら、その決心で旅券の下附されるだけの素養を作る爲、立派に資格のある人となるだけに、三年でも四年でもかけた方がよい、資格の無い人が渡米したとて成功は覺束ない事、呉れ呉れも此様な、邪じまな無法なことを考へぬ様にさせたい。

家貧なり保證人資を給す渡米如何

家が貧乏だからとて金輪際渡米不能の原因とはならぬ、赤貧の家から出で、渡米した人がいくらあつた又今も幾何もある。

その家の貧しくつても行く人は大方保證人から資金を供給してゐるのでこの保證人が實際に規定通りの資を給して扶けて呉れさへすればそれでもよしけれど保證人が金主となるとしてもその理由が正確である事を要するのだ。

普通は出資するといふ名目の下に少しも出さぬ者があるので保證人も有各無實であつたらしい。

事實に於て十分本人に見込みをつけ、學力も中學卒業程度でその經歷が商業其他研究に適當の人でありこれに資を給する人がありとすれば渡米は出来るものでこの様な例は今迄乏しくはない、唯、何萬圓だけあればよいとして本人の性情、資格にも不案内で盲目判を押しとおき調査に來た人に向いては金は出します位の軽い話であれば誰れが見ても確實ではないと思はれる、斯ういふ口の上ばかりの保證人はとても役に立たぬは自明の理である。

これでは保證人も虚言を吐いてゐることとなるし、本人も偽りを云つてゐることだし、のみか當局者に於ても、そんなことに欺れるやうなことはないに定つてゐるから、何處迄も公明正大に事を運ぶだけの覺悟あつて然

る可しである。

家貧にして學問も無し渡米出来るや

家が困つて學力が更に無いとても行かれぬとは斷言し難い、この種の人
は研究で行かれもしないし又向ふへ行く必要がない、けれど、その人に優
秀な技術を有してゐて、これを向ふへ行つた上益々練習を加ふれば日本のた
め各國のためにもなるのだから、行かれもする、即ちやつてゐる技術を向
ふへ行つてからなほ研究する必要が備つてゐる程前途有望な技術を有して
ゐる人はその爲めに資を投じて呉れる人を見出しさへすれば行けぬ事はな
い只労働するために行くのでなければ大した事もあるまい、技術の研究と
云ふ事になれば移民ではないからだ。けれど床屋さんが俄に日本で名ある
畫家になつたり洋服屋さんが一かどの美術家になつたり、して一寸した道

樂した事に名を技術としても旅券は下りつこはない、斯うした事でも從來
は下附された趣があつたが今ではそのやうな曖昧のものは調査の時にハネ
つけられて了ふこれは本人にとつても却つてよろし、若し労働一方で體格
が強健である人なら人によつては南米なり、南洋なりその方面へ行つた方
が良いかも知れぬ。

家貧にして技術も學問もなし渡米し 得るや

家が貧しく技術を有たぬ人は何のために渡米するのか知らんが労働なら
どうしても行かれない。それも或商店又は會社に長く働いてゐてその商店
或は會社から信用され商業の視察取引のため販路擴張等のためならそう困
難でなくとも行かれる又行ける道理である、この様な人は随分あつたがこ
れも始めから渡米の志望を抱いて居つて商店に入り六ヶ月一年ほどで名だ

け借り込み自分か不適任であることを願みす主人に保證して貰ひ偽つて行かうとして試みてゐる者もあるやうだがこれも直ぐ精査の結果判明するから中止の外はあるまいこれも前述の通り名實相副ふてゐるなら許可されるのである、これなら商人の視察になる先方へ商店でも出してあればその會計の整理などに出張させるに許されぬわけ無し。

在米者より渡米促し來る場合は如何

これも却て容易な事ではなくなつた、父がその子呼び寄せる、でなければ夫が妻を迎へる、若しくは子か一人りの父を呼ぶとか云ふやうな場合でなければとても許されない。

但し子供なら無制限に呼んだものだけに今は追々制限の度が厳しくなつて、従來は十七才以下に極つてゐたに今は廿以内なら自由である、それ以

上は行かぬない。

年老いた親を養はねばならぬ責任を負つた子が先方に行つてゐる場合もよろし。

夫がその妻を呼ぶのは介意はないが従來醜業婦を妻と稱して連れて行つた事もあるので調べ方が無暗にやかましくなつた、もしその醜業の目的であるなら上陸の際嚴罰に處せられる、又シヤトルでは昨年以來、其地にある日本醜業婦は悉く送還されて了つた、正體を解らぬ男女が入籍を済まして渡米し先方で飛んだ失敗が折々もち上がった、従つてこの證明が馬鹿に嚴びしくなつた、在米領事の證明があれば大概旅券は下がるけれど萬一怪しひと睨まれてもすれば旅券が難事なばかりか時には旅券下附後乗船間際になつて突然差し止めを食ふ事が往々ある、假りの夫婦と云ふ奴も勿論駄目である、正當に結婚し父母、親戚、朋友皆それを承知してゐるもので如

何に調査しても公明正大なものと思われたものでなくてはいかぬ。

旅券は入籍、結婚後も六ヶ月以内は下からぬと云ふ規定であつたが今はそれ以内でも許される様だ、勿論非移民はもとから直にも許されたのだが、日本の結婚法に依つて正當に夫婦となり入籍してあるものなら許される。先方からの證明には「移民」と「非移民」と二つの別がある、移民の方は警視の取調べを受けるので人相書寫眞等を添えて願ひ出さねばならぬ。取調べも何處までも念入れにやられる。乗船検眼等の方もやかましい、上陸の時も身體検査は嚴重に執行される。

此の移民、非移民の區別はなせつけるのがよく解からないが併し移民の呼び寄せの方が總てが喧しく面倒であると承知せねばならぬ移民は出願するにはその原籍の方で手続きするのが便利である旅券も願ひがかなふても許可されても出港の時横濱で受け取るといふ有様であるが非移民ならす

べてが寛大なる取扱ひを受ける。

信用ある在米個人會社銀行商店等の 呼び寄せは如何

是等は不可能ではない、若信用のない人なら米國の日本領事が許して呼び寄せ状に證明して呉れぬ呼び寄せて呉れる丈の資格があればよし、家庭教師、店員其他其家に無くてならぬ者として働く事が明瞭になれば行かれる又信用ある人なら領事から直接外務省へ書面を出して貰ふ事も出来る。

尙その様な商店なら此方にも關係者があるからその方の盡力でも旅券に心配懸念はないけれど却て信用を有した商店は割合に少ないものだから向ふから呼び寄せて貰ふのも難儀のものであるが呼び寄せを呉れるだけのものならよい、又行く人にしてもその仕事に適當した經歷のある事を要する

のは勿論である。

何 米國人及學校からの呼び寄せ渡米如

米國の學校などで「入校を許可する」だけの證明では無駄だが先方の學校で十分補助してくれるから來いといふ事なら許される。

先方の學校には随分補助するものがある神學校などでは大方補助する神學校に入學するのならば極つて補助は受けられる。

シカゴムーデーの聖書學校の如く各個自ら働くものもあるがこれは少數に過ぎない、故にもし普通の神學校へ入る事が確定すれば許される、又、信望ある西洋人ならよからうか假りに若しその身分の判然しない西洋人では矢張許されぬ、でも日米領事から確しかに證明でもして呉れそれが明かな事實ならば好いから只西洋人からと云つたつて仕様がなない西洋人の呼びよ

せなら必ず旅券は下がるものと心得たら間違の種である。

信用ある米人と同伴渡米は如何

それは實際その人が連れて行くと極まれは相當の手續だけでよろし

ブライアングブライヤン山下を世話したやうに、スタンフォードのジヨルダンが二三の農學生を連れて行くと云ふ風にすれば、かうなれば調べも又厳しくないのだ、立派な人が連れて行くとなり、又その一所に行く人も經歷ある人なら尙更都合がよい、が一體理由の更にわからぬ人であつたり、調べる時間が出發迄に間に合はなかつたりするといけぬ、彼のマニラの總督が或日本婦人を連れて行きたいと切に望んだが許されなかつたこれはその出立までには僅か二三日しかなかつたのでよく調べ暇がなかつたのかも知れぬ、勿論身元は兩方とも確實であつたのだが。――

日本人の信用ある人と同伴渡米は如何

それも出来ない事はない、その連れて行く人の信用によつての事、その人が非常に信用ある人であれば少しも難はないこれがその目的如何にもよる、もし従僕とか何んとかでは用済み次第直ぐ連れて來ねばならぬ、二三年向ふて修學させると云ふのなら所定の年數は延びても差支なし連れて行く人が信用ある人であれば一言の下に許されるが本人の方も一と通りは調べられて不適當の人かどうかを見る。

又調べる時間がなければ許されぬ事もある、かうして行つてから勉強して歸つた人はこれ迄澤山ある、島田三郎氏が太平洋沿岸視察に行かれた時小山法學士を連れて行かれた如き、新渡戸博士が米國の大學に講演に行かれた時二三名の書生を同伴された様なのであれば何等の差支へも無い。

クツク、水夫、火夫、ボーイ、となりて
渡米せんとす如何

これは船員となつての渡米法如何と同じ事になる、即ち旅券なしでも船に乗り込みさへすれば何れへでも行けるので日米間を航海してゐるキアナデアバンシヒツクか郵船會社パツシヒツクメール東洋汽船會社などの船に使はれ船員となつてから渡米の好機會を見付けやうとするのだが今では中々出来なくなつた。

嚴重な監視の下に上陸しやうとするにはどうで命がけの仕事である生ちか上陸したとしてもちぎに發見されて送還される位の事。これでも行ける様に思つてる人もあるか知らぬが先づ凭んな藝當は空想と見ねばならぬ勿論これは密航者ではない、上陸する迄は立派に航員として乗つてゐる

のだから内地では無事に出港する事が出来ても向ふで上陸の見込が全然ないやうなら始めから諦めた方がいかにもよからう。

尤も火夫や水夫は極まつた収入だがクック、ボーイは心附けが多いので随分金にもなるから一航海して戻れば一寸貯蓄かできるこれなら何も米國にもゆかなくてもよい位のものだ米國の事情に通じた人なら濫りにボーイをやめて上陸する氣がなくなる、米國の事情を知らないと無暗に上陸したがるものだが。

渡米の望みでは何れにしても乗船せぬがよし折角世話してくれた人の面目を失ふ若し信用せられて船の係員に許されて上陸をしてもその信用に對してもなほ遁げる事は忍びないであらう、斯うまでして諸方へ迷惑をかけた之船では罰金をとられ紹介者に心配をかけて迄上陸したつて成功するとも限つて居らないのだ覺束ないだらう。

農夫、洋服屋、理髮師、寫眞師、靴工クック

洗濯屋、園藝等にて渡米せんとす如何

これ等種類の者は中には労働でないやうだが大抵は移民の部に入れて取扱つてゐるから困難でなければならぬ農夫と云へば向ふへ行つて労働する事を意味する、労働者なら移民であるから無論許可されないそれでも金などつさりあつて土地を買求めて地主となり土地も處分し或は開墾するといふ事になれば許されるらしい、單に農夫と云ふ丈ではどこも見込みなし、洋服屋にしる向ふへ行つて働くとすれば労働者だからいけない、これも金があつてミツチル或はリチャードソンなどの裁斷學校へ入るとすれば別に故障は起るまい、相當の經歷を有つてゐる必要はあるが。理髮師にしても長い經驗があり金もあつての研究として行くのならよからう、靴屋や洗濯

屋でも同じ事、信用あるこちらの靴工が視察にでも行くとか材料買入のためとか云へばよし。

洗濯屋にして矢張り然り、園藝にして園丁は一種の技術家だから向ふの商人その他の人から招聘されて技師として行く資格があればよい。がこれも労働者であれば無駄である、然し丸でこれ等の職業は一般向ふへ行つた人には至極有用の仕事なので食ひはぐれどころか中には獨特の技術を有する人なら金にもなるし手職有る人は歓迎され儲けもある、なまじか學問する人よりかいか都合よいか知れぬ。

殊にクツクの如きはチーフ、クツクとして百弗も取つてゐる人がある、普通で三十弗から五十弗位た、向ふに行くについては労働者では都合悪いが向ふでは有望である、視察側の人ならこの様な仕事してゐた人も許される。

渡米出帆準備

(一)

いよく旅券は下がつてそして出發せねばならぬそれには第一どういふ事を準備しなければならぬか、先づ一番には眼である、トラホームであるとか充血してゐるとかすれば乗船されないから眼はよく診察して貰はねばならぬ、それと同時に健康状態の診断が入る、脚氣や心臓の恐いのはたとへ上陸許されても向ふへ行つてから非常に難義なのだからこの注意は大切である、乗船には目が特にやかましい、十二指腸は向ふで上陸できないから此方で十分治療しておくが肝心です、淋病梅毒これも少々なら介意はないが淋病などは洋服を着ると悪くなるそれが横濱へ来ただけでも餘程重くなる云ふからこれ等はすつかり治療しておかねばならぬ、ニキビなども

酷く吹き出してゐる人はなほしてをくべし。齒の様なものでも此方で治療して行つた方がよい向ふでは高値な醫者にかゝらねばならぬ。

トラホームは急にはなほらないから旅券とる前から注意して療治する方がよし、又日本で生命保険を附して往く事は忘れてはならぬ一事である。

(二)

最も大切な買物は日本人は男女とも洋服であるが少し位高價でもスタイルの新しもの、それもせめては二着位は欲しい新式のスタイルはミツチルから雑誌で新スタイルを取つてゐる様な洋服屋へ誂へたがよろし。

地質がいくらか悪いのでも新式のであれば何時迄も着られるから地が好くともスタイルの古いのは長く使用されない恨みがある。

それに今後新たに渡米せんとする人には上陸しても船中にも一かど立派な紳士にして行かるゝのにはスタイルの新しいのを選はねばならぬそれ

も新しいのと古いのとて價格は半分も違ふが安物であれば雨にでも降られるとすぐ縮みあがつてズボンが短くなる、日本の内地でも支那人、朝鮮人の洋服姿を見るやうに米國で着用するには甚だ體裁がよくない、一寸外見のよい格好ばかりでなく少し位はかゝつてもしつかり仕立上げた新式スタイルの方が餘程得である、洋服は着慣れないと具合が悪いもの故旅券がとれたら早速注文して幾遍も着こなす事が必要である、カウスを犬の首輪のやうにしたりネクタイを裏返しにしてゐる人が有るが米國へ行つたらこれではどうもならぬ着るには人手を借りぬ様に熟達しておくべきである、洋服の附屬品の如きも素人が買ふよりは米國歸りの洋服屋の一切の指揮によつて買つた方が安心が出来て無駄のものを買はずにすむ。カラでもカフスホワイトシャツ、ボタンなどでも一ダース位は是非無くてはならぬ。

ボタン一つ紛失したので紙捻で占めて不格好な風をしてゐると輕蔑され

物笑ひとなるのであるハンケチは少しでも多い方がよい、何品でも向ふで買ふよりは日本で買ひ調べて行つた方が安く上る、靴下も澤山買つて行くに限る靴も少し奮發して良好な奴を買つて行けば向ふの半値で間に合ふし其に質も好い。之も當になる靴屋で頼み新式スタイルにしたいのである、船中で用ふると云つて上等のスリッパを買ふ人があるが之は止した方がよい向ふでは用が無いから何もそんなものを求める必要がない、草履は船中で貸與するから之も無用。三等客の爲には横濱出帆の時甲板の上では賣つてゐる者もあるから其を一足も買つて置けばよい、もし學生でもあつて寄宿舎でも入るのならあつても差支へないけれど。寝間衣は下等なら着物、寒い時なら綿入れなども入用だが之は捨てるつもりなのは勿論の事である、上等なら西洋の寢衣の薄いのを一枚もあればよし、日本の單衣では向ふで修繕し手がないから、又藏つて置く場所がない手拭は船中では入用、向ふで

はタオルがあれば不用になる、一等室では大概着のみ着の儘で不自由しないだけの設備になつてゐる、二等では少しく不足を告げる、香水、齒磨、シャボン、香油等家で必要のものだけは心掛けておかねばならぬ、香油をコテ／＼塗つたり香水をやたらにふり懸けたりする様な眞似は米人は濫りにやらないから十分の注意を要す、一等を除いて、中、下等の船客は剃刀を持つて行けばだれでも手際よくやれる様になる、勿論船中でも床屋があるが間に合ふ事は言ふ迄もない、靴なども或る人は柳行李にするけれど米内地旅行にはこまるので竹行李の小さいのなれば米人でも使ふが余り見場のないものではない、手廻りの品は竹行李でもよいとして大きなのは駄目としたがよからう、シューツケース、トランクなら向ふの内地旅行にも用ゐられてをる、シューツケースは十圓以上はかゝる、彼地では尙高い故これも買つて行く。トランクもベットの下に潜む位のが手頃である、荷物は澤山

集める必要はない出来るなら少なくともした方が好ましい、帽子もそう流行に遅れずその人に似合つて新しければよい、山高でも中折りでもよし、烏打などは船中では便利なものは持つてゐるがよい、洋傘やステックなどは携へぬがよい、雨が降つても傘なしで歩くのが向ふの見えとするのだから、又實際に於て往來頻繁の爲引懸りやつて厄介だから手袋も働く人や學生などは無くても困らない。これ以外の些少な用意については不明の點は著者へ直接申し込んで来ればよからう。云ひ遅れたが外套はどうでも無くても叶はない。冬なれば勿論の事、フロックコートなどは向ふで特別な場合を除いて先づ持たないでも済む。日本服の派手なのを拵へて行く人があれどこれは大して役に立たないのみか關稅をとられると莫迦を見る。絹物で仕立た物は余り携えない様にするがよい如何に自分には必要であるといつても澤山携帶して稅金をとられるのも氣が利かぬ仕打ちである。

(三) 船中の食物について大層心配する人が多いが、一等客なら殆んど心配は無用。けれど日常嗜好なものは持つて行くのが便利だ、たとへば海苔とかはからとか洋かん等などは不便だけれど果物なら何んでもある、中等ではそれ程充分ではないから果物位は心つけるもよい様だ。

三等は日本の先づ上等の下宿屋位のやうな食物である。外國船であれば支那人を本位として飯も日に一度は粥などを食はせる。三等客になると毎も用もなく讀書などさう自由にはやつて居れぬのでやはり果物その他の食物を持ち込むがよし飯を食べる時に當つてお菜が氣に向かぬ時もあるやう特に好いたものは罐詰などを用意したがよろし船では酔ひ易いので食慾が變つて閉口するから梅干、ラッキョウ漬や大根の酢おろしなどの用意は殊に都合がよい、大方は最初のうち考へもなくどん／＼食つた後で不自由するか

ら豫算を立て、食ふやうにせねばならぬ。それ故買ふ時にその心算りで一日梨三ツなら十八日で五十四個とか南京豆なら幾升とか云ふ風にする、これ等はみな横濱で辨するので横濱に来てから買ふ事がよからう。

(四)

次に出發の時間が接近して來たら船は豫め選定しておかねばならぬ、それも自分の眼の方の掛念も一掃されいよく乗船が出来るかと確信した上の事である、殊に上等室を望む人は天洋丸とかバナマとか地洋丸とか定めて置くがよい中にも大阪の商船會社の汽船などは前以て申込みをしなければ部屋も少ないのでその都度満員の體である、旅行の好時節、即ち春秋の季は兩方から往來する人も多く客船を主としてゐる東洋汽船の如きは満員になるのであるもし自分獨りきめてうっかりしてゐるとつい、乗りはぐれる事がある、會社との交渉は必ずも違算なき様豫め交渉しておけば先方から細

かな手配りが爲て呉れるやうになつてゐる。

船の事が決定した事になつて初めて友人への出立の通知も買物もすべてその乗船の確定から同時に始まるのである、これを一人して好案排にきめてゐて船の方を聞いておかなかつたために次の船に延期となる人が多く見受けられる。

その爲百十九里も二百里もある故郷から人が見送りに來て一週間も一ヶ月も滞在する様な間抜けな目に出會ふ人があつたりする。

トラホームで拒絶される恐れもなし船の方もすつかりきまつてからその後で諸方へ通知してやるがよい、何時何日に立つと知らせる東京から立つ人なら新橋を發車する時刻と横濱を出帆する時を併せて知らせた方がよいそんな事は知らせる要がないなどと無頓着にしてゐる人もあるが萬事通知しておいた方が何よりの事である、又米國は落着先も併せて知らせるもよ

し、すれば後から手紙をよこそうとする人から其消息が米國へ到着後一週間位できかれる。向ふへ行つてから通知せば返事は一ヶ月半もかゝる上に不便も多い。

もし、力行會支部なら支部或は旅宿何々も知れておれば出發した後から家よりは直にでも通信か出来るわけだ。先づさういふ風に知らせておき時間を少しく取つておいて送別會を開いたりその他暇乞ひに行く人などへも安心して行かれる様にされたい。

時間を切りつめておいて、急しく徹夜したり汽車汽船で乗り廻はす内に眼が充血して乗れる船にも乗れなくなる人がある。此時間を十分上手に使ふ心懸けが大切である、船もさまり、一切終了したなら、能く旅宿へ聞き合はせ、検眼、検疫は何時、切符買ふのは何時とそれから豫め間違つかぬ様に承知しておくがよい。出發の際、横濱の旅宿は何處と定めて自分の住所をも

知らせ交渉して互に分つてゐれば色々便利も與へられる。切符を買ふ用意もぬかり其日になつて旅館に到着する人もある、旅館で通知せ様としても住所の知れぬ爲それも出来ない場合もある、故に旅館との交渉もよく忘れぬ様にしておかねばならぬ、自分ざりできめてゐる人には往々是等の失敗がある、検眼の日が來て行かねばならぬ人の多くが持參す可きの荷物を置いて行くのもあるが、検眼の後がすぐ荷物の消毒なので荷を取り寄せる暇なぞないから兎に角出發する積りですつかり其用意をして行く方がよい。その時には何分注意して眼の充血などせぬ様に服装も立派にして出かけるのがよい。

検眼だからと云つて單衣で行つかり、女が細帯一つで行つたりする人もあるがそれよりは男女共洋装した方が好い。すれば係りの人から相當の敬意も表せられる次に消毒にとりかゝるので宿屋と交渉してあれは何とか處

置して呉れる故自分で不案内なのに小手廻しをせぬが好分別だ。普通は次の日即ち出帆の日に身體の消毒がある、そして船に乗る前に水上警察に出頭して訊問を受ける、それは上中下等押しなべてやられる。

旅券はすべて其所に廻つてゐるのでその旅券によつて聞くのだ、その條項は原籍現住所姓名経歴、先方へ行つての目的等であるから少しも恐れる事なく曖昧のない様に明白に返答する、言によんだり曖昧の節があると留置されるから婦人などは特に氣をつけて自分の目的や原籍などにごりを有つてはいけぬ。

一寸注意するが年齢を問はれる時旅券の通りと云つて間違ふ人がある、それではいけない、旅券に二十才八ヶ月としてあつても二ヶ月の後なら二十才十ヶ月なのだ。

又旅券面に消したヶ所があつたり、東京府なら東京府の印がなくてはな

らぬのだそれが無い場合には疑はれるから前以つて印は押させ消した處は其消したと云ふ印を貰つておくがよい、殊に旅券の消された個所があつては婦人などは疑はれやすい、訊問が終つてから船に乗る中等上等なら自分の部屋に這入つてきめてある所に荷を始末する。それから荷を一通り調べねばならぬ、船が出てからあれが無いこれが足りないなど騒ぐ事などしないやうに。部屋に入つたら上等はもうこれで一切安心だが中、三等の客は又米國の醫師が甲板上で検査する其用意も忘れられないやうに其時荷は注意して始末しておかねばならぬ、そうしないと又出帆前で色々な人が入り込んでゐるから却々眼が放せない、ついやられる危険がある、石炭擔夫や人夫も入込むから。これが終つてまづ何事も決定してまづは安心と息が吐ける。

で時間があればハガキを書いておいたものでもあれば友人などに出来る丈澤山お別れの通信をするもよし殊にその時の印象など一寸書き添へてお

けば後から来る人の参考の端ともなる、出發に際して余裕綽々たる胸宇を示して飽く迄男らしくやつて欲しい。上等の如きは船に行つてからちき書く所があるからそこで書いてもよい。斯うしても十枚二十枚は樂にかける。それは出帆の時送つて来た友人か番頭に頼んでやればよいのだ。

出帆の時となれば荷物の片をつけてから別れのため甲板に出るなり何なり勝手にする、尙斷つておくのは何んでも一週間位は無線電信は利く只六十錢で何處の郵便局でも船の名さへわかれば通信される。言ひ残した用事でもあつたら千八百哩以内迄はすぐかけられる。それも夜の方が余計にきくからかけるなら夜間にした方が便利。船名さへわかれば普通電報を終へた時でも取り計つてくれる。著者かつて千八百哩の沖から千葉へ電報をかけて、一時間の後に返事を受け取つた事がある。この事を家に言ひ置いておくと便利がある勿論自分の方でもかけられる。又前述した如く落ち付く

住所さへ知れて居れば新聞雜誌でも見たくて友人に頼んでおいても向ふへ着いてからは一週間後には内地の事情を知る事が出来るので敢へて遅れな

(五)

いで済む便利がある。その外の準備についてもまだ残つてゐる所があるので最後に雑事を少し加へておく。

女などで日本服を着て来いと云ふ在米の夫からの指圖に従つて多くは日本服を用ふる風がある。洋服を拵へられる人までがそうだ、これは實に愚な事である。彼地へ行つては普通の人は日本服を着る時機は無いのでそれを誰れが始めたか知れぬが日本出来では時勢遅くれの洋服だから見られた圖ではないと思つてゐるからだらうが、わざと日本服を着て来る様にと云ふ、日本だつて今では米國に負けないものが出来る、それも米國の半額

で出来る、十日二十日のスタイルに遅れる事を氣にする位の社交的の連中
であれば兎も角それでなければ日本出来でも今日では十分間に合ふ。

殊に波止場から旅宿まで行くのに洋服ならず電車に乗れるが日本服な
ら自動車にでも乗らねばならぬ。向ふへ行つてから着るにしても注文して
着用される迄は戸外に出られぬ、どうしても賞めた話ではない。

殊に女服の着方は面倒で米國にゐる男の人知らないもので、これを着慣
れる迄には一寸時を要する故これも男と同じく日本にゐる時から何度も獨
りで着て見てよく習慣をつけておくがよい日本服は持つて往かないのが得
策と云ふものだ。

單衣位は寢間着によからうがこれも直ぐ不用になる。又日本の書籍をど
つさり讀んで行く積りて買ふ人があるが却て讀めない、又新しい本でも少
しでも英語が入つてゐれば税金をとらる。絹物錦繪なども税金と來る中に

は春書など持つて行つて大に儲けやうなどと目算立て、罰金に科せられる
手合あり、是等の愚を學ばぬやうにされたい。男でわざと立派な袴羽織
などを作る人もあるが是も無用にされたい。一等船客は食物を澤山持つ要は
ない。すべて船中で間に合ふ贈り物もさうだ、日本人のくれる人は大概同
じ様なものだが一等なら花も飾つてあるし、果物も自由に食べられる。これ
等の贈物はあらかじめ斷つておくがよい船中でも日本服をバサリ／＼
さして見憎いのは最初から感心しないから洋服に改められたい。ことに女
の人が細帯でゐたりするのなど日本人が見てさへ見ぐるしい、この注意は
片時も怠つては困る。婦人はボーイや怪しい男と近附きならぬがよい、惡
い噂でも立つた日には到着後迷惑を受ける人も随分ある、男女とも船の中
では行狀を慎むのが何より大切の事だ酒を飲んだりなどして不評判の起ら
ない様にせぬと上陸の際差支へとなる又眼が充血する憂もある。

船中の心得

(一)

前條に略述べたやうに上中下を通じて船客はいよ／＼船が出港するとなれば送りの人があればそれに挨拶す可く甲板に出て互にハンカチか旗など振るのが普通となつてゐる。

尤も望遠鏡で船が遠くなる迄見て居る人もあるから金が有つたらこれを携帯するも一興であらう、見送り人の影は漸く没し去り港外に出て密航者有無の検視も經て船が本航路につくと上中下各々自分の部屋に歸つて一と片付けするがよい。

物品を置く場所も一定して何事が起つても決して狼狽せぬやうにしたいそれから船中に用ふる服を着替へ同船者に一通りお挨拶をしておく。船中

第一念とすべきは好い氣になつて心を許し依體の分らぬのに誰れ彼れの區別もなく輕はづみな交際を結ばぬやうにする事だ、上陸の時に頸つ子を捉へられてきうといふ辛い目に逢つた人があるから。婦人などは氣さくに身の上話しをしたり米國に居る夫の事など洩したりすると悪い企みを有つた人が乗つてゐてこれを好い餌に食ひ物としたと云ふ例めしが珍しくないから優しい猫撫聲をかけられたからと云つてうっかり口車に上つてスル／＼交際してはならぬ、よく／＼日常の行爲を鋭く觀察し、身元も分つてからなら會話位交へたからとてさう危険もなからう、が随分見立て違ひもあるからまあ愛嬌などは節約しておいた方が萬全の計である、切場詰つた厄介を背負込まぬ豫防が何よりの事。殊に下等室の婦人などには船毎に雑多な事件が起つてゐるから腰を軽く浮かしてはいけない。

甘い女と見られて二三人の悪漢につけられたりしては思はず罪を犯すと

云ふ事もある、これは極く眞面目に考量すべき點である、馴れ／＼しい人の言葉に絆されて身上話を始める丈は止したが上策であらう。先達つて記者が桑港に滞在中一人りの女が餘り親切にする男があるので氣を許して交つたのが禍となり遂に割なき仲となり、船中の評判喧しく桑港に船が着くと告訴された。この男は度々米國へ往來してゐるのでその様な事には手慣れてゐた。又米國に待ち切つてゐた夫は痛く面目を失し金も遣つて色々運動を試みたが夫がその罪を黙許したに拘らずこの様の女は米國で又如何なる不始末を仕出かさぬとも限らぬとて送還された、男は罰金の上懲役になつた。又記者が昨年シャトルに行く時乗合つた三等船客の中には一寸濫皮の剥けた女がゐて中等に生白ひ男がゐた、その二人りが親密にしてゐると皆噂の種に上りその間に情を通じた證據が現はれた訴へようかといふ事で乗合客の面目を重んずる人々の衆議の結果上陸したら移民官に訴へるの

であつたが女はビクトリアで上つたしその夫もそこへ迎ひに来てゐるので時間もなくそのまゝにして過ぎたが後で夫婦の仲にゴタ／＼が湧いた事であらう、これを制止する爲に船室も夫婦もの、獨り者、男、女、各別になつては居る、然し一旦暴風が來ると自然その區別がなくなりその場合に親切にされるのは萬更厭でもなからうがそれに酬ゆるに貞操を以てするとは余り人情が有り過ぎて結構の事とも云へなからう。日米國を始終往復してゐる人でこのやうな事をやりつけてゐる奴もあるのだから婦人の如きは十二分の注意を萬遍なく拂ふのみか強固な決意を有つてゐねばならぬ、出来る丈日本に居た時知り合つてゐた信任の置ける人々と同船するのが安全と云ふべきで、船中だけ十八日位何んでもないと輕蔑する人もあるか知らぬがその間に女の生命なる節操を破られては何所へも面向きが出来まいではないか、いくら洒々した女でも血が通つてゐたなら。故に船中同行者は最

初からきめてかゝり船中俄の友は精撰したがよい自重の厚い人は一人りの話し相手なくとも平氣である筈である。

(二)

愈船中の服装が出来上がったなら出来る丈甲板へ出て、運動した方がよし。

船の中は空氣も好い所から身體に好からうと思ふ人もあるがこれは間違ひ。汽船の駛走すると共に自分の身體も間接なから一所に運動してゐるのだがそれだけではどうして足らない。

始めから船の動搖に慣れる爲め運動して食物をも十分消化させておけば別段に酔ふといふ掛念もない。それを寝たまゝで間食を頻りにやつてゐると身體に變調を來たし、酔ひもし眼も充血する事もある。起居の時間も不規則に流れると消化を悪くしたり腦の状態も面白くなる。平常でさへ

身體の好くない人は船體の動搖で一層悪くなり持病が起つたりする、で上陸の時酷く衰弱して随つて面倒な事も發生する、上陸後引續いて病院に入り死去したといふ人もある、上等には運動の設備もあるが二等三等には特別に何の設備せないが、種々なる工夫して運動すれば、いくらでも運動が出来る、女の人も成る丈甲板へ出て適度に運動してゐれば曖昧な男に付け廻はされる危険からも脱がられる。

それに眼の充血し易い人は餘り海風に觸れないやうに注意されたい。早く寢床につくといふ習慣をつけ朝は冷水摩擦などかゝさずにやれば此上もない、それから猥りに退屈だからと云つて食物に締まりがなく腸胃を害する人もある、日本人の僻で旅中間食をやつてはよく身體の具合を悪くする外國でも行かうとする人は體格身體を何より大切にせねばならぬ、上陸すぐ眼覺しい活動でもするやうな健康な體格を保つてゐねば困る、殊にク

リスチャンでもあれば船中でもその道を説く様にして忙しくしてゐれば身體に異状も起るまい、船中に入つたら一層身體を強壯にしやうといふ覺悟が必要なのは云ふ迄も無い事規則正しい生活、冷水浴起床就寢時間等何所迄も身體強健の爲勝ぐれた生活をせねばならぬ。

(三)

書籍は英語に因んだもので、會話、英語の聖書英和新聞などがよい、新本で英語の入つたものだと澤山買込んで行けば税金を取られるがそれも十冊や二十冊、自家用としてならば差支へない。人に依つてはこれは讀めない人があらう、その時は小説類でも健全なもの、太閤記、四十七士傳等上陸してからも續いて愛讀されるのが望ましい又上陸の時にも餘り下らぬ本を持つてゐると侮蔑される春畫を文字に代へたやうなものは控へて欲しい讀書してゐるの酔はぬ人もあり讀書した爲腦を悪くして、却つて船暈にか

ゝる人もあるが二六時中船の中にぎりゐるのだから食つ切りでも居れないから普通の運動後は讀書するのが何より一番よいことだ又外國へ行つた積りて西洋人に交はるのもすゝめたい英語の實力の有る人なら二週間余の間でも大分ブラクテカル、イングリツシエ位はやれるやうになる。

餘り風采が悪ければ往復も出來ぬが。郵便船、東洋汽船等日本の船なら服裝さへ好かれれば三等に居ても友人があれば一等へも覗かれるから、これには服裝をよく調べておかねばならぬ、或人の希望したやう、船中で大に讀書しやうなどは思ひも及ばぬ業なればそんな豫算は立てぬが増し。調べ物、勉學の事など六ヶ敷い。それに上陸の日も船中では分かるから、そうしたら故郷への通信をと認めておくもよい又、日々の出來事は几帳面にも出來ぬもの故。オプショナル即ち課外的のものを見る程の心でなくてはならぬ、再三言小事だか女は勿論男も服裝を亂さぬやうに充分手入れをして婦人は

日本服なら袴を着けられたい甲板で風に吹き捲くられて太股など露はすな
どを見るが西洋人など澤山乗つてゐるし日本人が見ても冷汗を掻くやうな
ことがある。

それからボーイや給仕などの心付けも船によつて相違もあるが下等の方
なら一同連合してやるがよい、成る可くは先きにやつた方が後からよりも
一寸具合がよい。

彼等も船客からは貰ふ習慣になつて居るのだから最初にやつて了つた方
がよし、中には三遍位に小切つてやる。すれば時々思ひ出してその度に一
層よくしてくれるからと云ふ人もあるなれどボーイが心得てゐるから左様
意地悪くする事はない、上等にはボーイが附きつ切りてあるけれど、これ
も初めやるがよい。其金額も船によるが郵船タコマ等は東洋汽船からはい
くらか落ちてゐる、その邊の模様を察し釣り合のとれるだけやるに限る。勿論

澤山やれば誰れでも嬉しいに違はないが。上等ではボーイに五圓から十圓
或る人は二十圓も氣張るものがある、大概そこら邊でよろし。若し酔つて
飯を部屋へ態々運はせるやうな事の有つた場合には亦相當の手心を使ふ。
給仕や其取締りなどにも船客連合してやつたが得であるこれも平均五六圓
のところバスボーイには二三圓平均毎日入る人と二日目に入る人などその
人に依つて別だが。サルンボーイにも二三圓、デッキボーイ三圓位これ等は
みな上等の話して下等では給仕及び世話して呉れる人に連合で心付ける。
要するにボーイ、給仕には傲慢ならず、親切に對するのが大切、同情を
以て接するのが便利である、彼等だつて數年の内には如何になるかも知れ
ぬ、悪くされた事は人がよく記憶してゐるもの故親切と同情とを盡すがよ
い。

良くしておけば上陸の時など船に忘れて來た物など持つて來て呉れる、

別れを惜んでくれたりする。

船長、事務長其他の高等海員には一度位は船客一同で御馳走するのが良い。平常から馳走を食つてゐるから別にさういふ必要もないやうだが又船客連合して船員一同を慰める事も悪くない船長の方でそれに酬ゆる事もある或船に於て記者等がその船長等の事に好取扱ひの親切であつた處からその厚意を會社へ通じて謝意を述べたら夫が動機で昇進したと云ふことも聞いた、食堂内の談話も理窟に傾かぬやう、碎けた樂天趣味に富んだ話など禮法になつてゐるこれも知つておくがよい。それから努めて船員などに衝突せぬやうボーイにも昵近するかよひさすれば愉快な航海が出来る譯である、食物が粗末だと云つては事務長に突つ掛りなどする人もあるが、上中下一體に人は寛裕な心で敬意を拂つて決してダークサイトばかり見ると云ふやうにせぬがよし、運動會など催される時は小理窟など捏ねずに進んで贊助

し、金も相當に寄附した方よし、僅か十八日間の事だから、極めて快適の氣分よく送るやうにして詰らぬ不平屁理窟は禁物にされたい。

上 陸 心 得

(一)

第一は眼、檢眼の如何に因つて上陸出来るかどうか、決定するのだからこれが心配であるのは當然の事。タコマ、シャトル、バンクーパーの方はビクトリヤで一應みな見られるこれも上等までもあるのだが今では上等は餘程寛大になつて見られない人もある程だ中、下等は嚴重だ尤も下等客は局部の検査もされる、それから上陸地のタコマはタコマ、シャトルはやはりシャトルで又檢疫される。

桑港は港内に入つてからの事で上等は見られなくて濟む。中等下等は共

にエンゼルアイランドに二十四時間ばかり留められる、入港前三三日から充血の患有る人は十分氣を附けて眼を餘り使はぬ加減にし鹽風にも眞向からは受けず成る可後背から受けるやうにしておけば大事もあるまい、が心配の度を過すのもよくない、十二指腸は余りタコマ、シヤトルはそうでもないが桑港は大分やかましい淋病など船中で起きたら早く治療しておかれたいしつひせん天然痘等などに罹つた人は一週間も留置された者がある、これも快くしておかねばならぬ。服装を少しも介意はない人もあるなれどこれは大切な一つである故凜然と水際立して見えるやうに垢で汚さぬ事も無論である。

最も日本人は極ハイカラにして行つて西洋から見れば恰度好加減になるから支度には手抜かりのないやうに心がけて顔を剃り髪を刈つておくなど普通の事だが忘れてはいけぬ、無線電信が利くから二三日前に迎へに來て

呉れる様に知人に頼んでおくのも好都合である、疾病としてはトラホーム充血トラホームの痕跡、淋病、梅毒、重い肺疾、十二指腸等傳染性のものの上陸すれば迷惑を惹き起する憂あるものを検査するのでそれでなくても顔青く見え服装劣れば怪しく注目される又態度としても極めて快活の調子を帯ばなければ損である、要するに紳士淑女の態度を維持すれば何よりである。

(二)

船が着いていよいよ上陸となると先づ移民官の訊問がある、その尋問の原本はかねて横濱或は神戸に於て切符を買ふ時二十條餘りの汽船會社が本人に記入せしめし訊問取調書がある、がそれを原本として尋問されるのだ例へば生年月日、原籍、姓名、目的、無政府主義でないか、最後にゐた場所、男か女か、犯罪の有無、精神病院に居た事の有無等一々それに明答して移民官が可なりと思ふてから始めて許される段取りとなつてある、此原本は會

社から事務長の手に渡つてゐるのでそれが又移民官に付與されるそれで嚴密に聞かれるのだ、汽船會社の時と少しも違はぬ様、服装が取り亂れて居たり、答辯が曖昧であつたりすると成り行きが面倒になつて來る向ふではちやんと控書を見て言つてゐるのであるから間違つたら通らぬ。

無政府黨員の如きは日本にもあつて曾つて現はれた位、米國でも非常に嫌忌してゐる、で、いかにも無頼漢の風體であつたり、言語が亂暴であつたりすると怪しく注意を引いて上陸も困難に陥る、次に重要な點は契約労働と云ふ事である、これは深く心得えておかねばならぬ、日本では向ふに引き受け人や世話する人があれば容易に旅券下附になるらしいが規則として無政府黨員は上陸許されない、又契約労働も許されない、もし答辯の中で何處そこへ行つて働くと云ふと却つて契約労働と思はれて上陸出來ぬ事がある、かう云ふ事は實に大切である。

移民官は時としては幾何の金で何を勉強しますかと問ひ、金の來やうが遅かつたら何うしますと聞かれるこの様な時には働いて金をとりますと云つたつても決して差支へはないのだ。

其行先は何處と言はれたら友人の許とか何んと云つてもよいがそこで労働する契約だと言つてはいかぬ、信用ある人の所へ行くだけならよいのだ、努めて辻褄の合はぬ事は口に出さぬやうにして笑談にも無政府黨員、契約労働、醜業婦などに誤解されぬ用意をしておくがよし。對話には英語の出來る人なら此上ないが會話が不得手であつても通辯が居るから大に心を据え置いて出來るだけ立派に言つて退けられたい、訊問で拒絶を食ふ事などは滅多にはないけれど。女の方は呼び寄せなら呼び寄せ、寫眞結婚ならそれは知つてゐる、其所に來てゐればあの方と云ふ風に何事も隠し立て止しにする一人りもの、女などは格別行く先きを明かにしないと上陸か六ヶ敷

いのである。愈々これが濟むと各々船から出掛けてよいのだ、船の外へは豫め手紙を出すか電報打つて置いたのなら友人等か迎ひに出てゐる、都合のよい人は馬車か自動車で待ち受けてゐる、其前には税關で荷物の検査がある、これは容赦なく一々開ける封してあるものでもナイフで切つてあける、賣品と見ると税金をかける、自分のものと證明されば構はないが、でも絹などは三疋も四疋も持ち合せてゐると友人の土産と言ひ張つても聞き入れられない、寧ろ新しいものや同種類の揃つたものは持たぬが安氣だ、その爲め意外の税金をとられ泣き面の蜂といふ御難を見る事がある、税金をとられるやうなドチな目に會つたらそこで拂つてスグと上陸する、迎への有る人は清々した心持で一所に行かれる、この迎へのない人は一寸見當が付かない、固より旅館からは客取りが来て眼を光らしてゐるが人に依つては餘り頼もしくもないのか多いからそれよりか前々落ち付く先きを日本から

紹介して貰ひちやんと極めておいたがよい、信用のある人ならば力行會などではその人のため何れの方面に限らず正しく紹介の勞を取つてやる、澤山煩さく旅館から來てゐても正直にもその勧誘に落ち入つて行くと業體の悪い穴へ引かゝつてどうもそれなり根性を腐らしそこが病み附きとなり恢復の見込がない自墮落な人間になつて了ふ、この例は大分少くはないから身體は初めから確實な所へ置く様に、特に女の單獨渡米の如きは嚴重にも自警すべき要點である、寫眞結婚でも約束した人なれば來て呉れる。

この時日本服を着てゐると歩く事も電車にも乗れやしない馬車が自動車にでも無理にハヅまねばならぬ仕儀である、馬車は一時間一弗から二弗、自動車なら五弗位はかゝる。

日本で着物を儉約したり又は日本のでは流行遅れだなどと思つたりしたのでこのやうな餘り慥巧でもない眞似をしなければならぬ、洋服なら電車

など手軽に乗れる、出迎ひの人とレストラントへ寄て中飯を認めるなども自由である。

女などが日本服を麗々しく着飾つてやつて行く人があるがこれは中々滑稽なものだ。

一定した所へ落着いた上でその報知を日本の方々へ出す。

渡米上陸者の日本規定及び注意

外國に上陸したる日本人は到着後七日以内に氏名及生年月日、本籍、族籍及職業、現所在地到着の年月日を總領事館、領事館又は大使館に届け出づることになつてゐる故、渡米上陸者は桑港シャトルそれの上陸地領事館若しくは總領事館等に届出を要す、歸國又は轉住の場合も届出でねばならぬ、若し該令規定の届出を怠つた者或は虚偽の届出をしたものは領事大使公使が在留證明其他一切の證明を拒否する故決してこれを忘れずに七日以

内に届出を済まさねばならない、でないとい徴兵猶豫に關する在留證明書も呼び寄せ迎妻に要する各種證明書も或は下附されない虞がある、これは在米日本人會の手を経て在米領事館に差出せばよいのだ此届出については別に手数料を要さないが其の團體に任意若干の金を寄附しておく方よし、如斯事を怠慢に付しておくとい公の場合證明を要する時に大變困難するからその地くの領事に必ず届ける様にしておく現住所は自分が其所に住んで居ないでも郵便物を受け取る住所は定めておかねばならぬ。

何人でも手紙を受けとり又諸届のため一定の個所を極めておく事が必要であるこれは日本に居た時から非常に信用ある團體に紹介して貰つておいてそこへ行けば日本からの郵便物諸届その他を受取られる様にして置く方便利である、現住所はその郵便物受取に定めてある所を届け出でて置いても差支え無い。

上陸に就いて心得可き米國の規則 及び注意

上陸者に對しては上陸に關する米國の規定がある此合衆國に入る外國人は一人にて金四弗を納付するこれを入國税と云ふ、日本人は概ね横濱で船賃と共に納めてゐるから向ふへ行つてから其煩ひが無い、合衆國に入る外國人にして入國に先ち一ヶ年以上引續き加奈太ニューファンドランド又は黒西哥に來りたる者又は既にこの國を通過せんとする者は入國税の要がない、尙、三十日以内で再び日本へ歸るといふ場合には其時入國税は貰つて來る事が出来るこの規定は現今行はれてゐる折角入國税を拂つても入國を禁止される人がある、合衆國移民法第二條及び第三條によれば左の一項に該當する者は入國を禁止される事になつてゐる。

瘋癲、白痴、心身虚弱、發狂者入國前五年以内に曾て發狂したる者曾て二回以上發狂したる者、貧窮者公費の救助を受くるに至るべき者乞食肺結核其他不潔なる傳染に罹れる者、重罪又は破廉耻罪に關する輕罪の所罰を受けたる者、多夫多妻主義又は無政府主義を遵奉する者暴力に依りて合衆國政府其他現存せる政府並に法律を顛覆し其他政府の官吏を暗殺すること、を主義とする者、醜業婦、醜業婦を密入せんとする者契約労働者（お前は何處へ行くと訊かれ、何所へ行つて働くかと明かに約束あると云へば駄目だ若し學資ない時は何處かで働くか云ふ可なり）此種の労働又は勤務をなすことを申出で又は約束したるの故を以て入國許可の出願を爲したる日より一年以内に返還せられたる者他人より乗車乗船切符又は旅費の支給を受けたる者（但し其支給を受けたる者が前記の階級に屬せずとの確證ありたる時は此限りにあらず）年齢十六歳以下の兒童にして父母又はその一方に伴

はれざる者。

重罪犯人にも破廉耻罪に關せざる國事犯人は入國を禁止されず又獨立したる精巧労働者が此國に存せざる場合に入國を許さる契約に依るものと雖も俳優、美術家講師歌手宣教師教授學者従僕等は自由に入國を許さる。

だからして船が米國に着いた時は其船長が乗客三十名毎について一通宛の名簿を調製して當移民官に之を差出すものである、其名簿には船客の氏名年齢男女結婚の有無職業、讀書の有無、國籍、人種の區別、その外前記の入國拒絶に關係なきものを記載して示す右の名簿には船醫の署名を要す移民官はその上で一切の外國人を検査す又移民官は一定の醫官を督して移民の健康診断を爲さしむ右の検査に通過したる者は上陸を許さる。

船客名簿は濱で切符を買ふ時記入する者の故上陸を許されない渡米者でない事さへ答へて行けばよい、お前は發狂者でないか否。乞食でないか

否。無政府主義か否。契約労働か否、云々と答へればよいのだ。

それ故切符を買つた時に答へた事は悉く暗記して置かねばならぬ、此調書は切符を買つた時の答へで作つてあるのだから頓珍漢の返事などして留置を食ふことの無い様にせねばならぬ、婦人の如きは格別注意しないと怪しいと見られると却々上陸される人も留置かれて遅くなることもある。

又此答について、noとyesの使ひそこなふ事が多い故注意されたい、通辯がゐても、ついうっかりして、間違へる、『お前は乞食では無いか』と聞かれた時、日本では『はい、乞食では有りません』でよいのだが、向ふでは、『いえ、乞食ではありません』と先づ否定の言葉を用ひねばならぬのである、この所を氣を付けて置けばよい。

旅館の注意

出發港の旅館についての戒心は先方へ上陸した時採る可き旅館の上にも同じく必要である、出發港の旅館などは紹介者の手蔓にて特別の關係のあるのなら好いがでないとも米國へ行く人だからといふこすい腹からどうせ行つて了へは後は何んでもない金もどつさり持つてゐるだらうなんて悪い推量を廻はし買はなくともよいものを強ひて買はせ、遠慮して可なるべき金をも頂戴と出しやばる。頭からカスリをハネル事を考へてゐる、何もかうまで疑ふ譯もないやうだか單にこの位迄氣を付けておく事は強ち詰らぬ所爲でもあるまい。

出来るならば初めから此様な事に手慣れた人の案内か或は信用ある人からの紹介。とり扱ひつけてゐる人の世話等ならこの人々に對しても眞逆か

に粗末もなるまいと思はれる。

先方の旅館を選択するには最上級の判断を以て余程上手に立ち廻はらなると危ない事此上なし、輕卒や無頓着はこの場合は大の禁句古くからゴマ付いてゐる狸のやうな者、その邊の悪徒の連中か盛んに入り込んでゐて恐ろしい誘惑の網を張つてゐる、その旅館の選び方一つで上陸時の目的に往々變更が行はれる學術修業に行つた人でも腰を据えた宿屋がもし勞働紹介などやつてゐるやうなものなら鐵道へ行つてはどうか農園によい口があるがどうですとか勧められつひそれに乗つて一二年金を儲けてからでも學校は遅くはないといふ考へになりそれが魂に絡み付きとなつて金一方の慾張りに早變りして一生頭の上がる模様がなくなつた人もゐる、知人のうちにも早うつかりした隙に所有品やなんど一切掻浚はれた人もあるからこれも旅館故といへば頓馬な目に會はぬ用心が大事である、確實で信用ある旅

館を選ぶに越した事はない、船の中で知り合つた爲めそれと一所に泊るとか新聞の廣告などに目をくれて、これがよからうなと知つたか振りをして怪しい宿屋に入つたためその時の一大損害を蒙るばかりか一生動きのとれぬ様に囚れの身となるものもある、比較的間違のないのは知人の紹介、信用ある人の指導で宿をとるにある。これ等は至つて些細な事から末はどんなハメに陥るかも知れぬので有るから以上の注意こそ望ましい、先方の旅館と云つても日本の宿屋とは大分違つて平民的であるから、且那樣と擔げ上げてわけもなく丁寧にすると云ふやうな事はない。

労働神聖、平民主義であるからどうも無愛嬌に見えたり殺風景にもとれるからこの積りで居なければならぬ、日本の江の島や鎌倉の遊覽地の宿屋で迎へられる心でゐると大きな間違である、それが爲上陸早々失望する人もある、著者の如きも最初渡米した時にはその感があつた、多くの人に聞

いても同じやうな感を抱いてゐる、こんな事には氣を留めせやうにせねばならぬ。

就業について

先づ上陸後一週間位は誰しも有耶無耶に送つて了ふらしい、公園に行くとか友人を訪ふとか、買物をするとか、料理屋に出掛けるとか又は歓迎會に臨むとか手紙をかく等その關係の廣い人程忙しく時を過す、この有耶無耶間の生活かその人將來の生活を支配する事大なりだ、即ちその交友の種類が影響する所多い、これなどは前述の旅館の撰び方も共に一方の生活を左右する端緒を開くのだから十分信用の置ける人とがある團體に限られた人とかに極まつて交はるがよい、力行會では行く人に一人りゝ紹介狀を持たしてやる。支部の人、その近傍の會員などに頼んでやるから大方信

用も出来る、一體いくら親戚のものとか故郷の人、同窓の人とか云つて却て大陸へ長く行つてゐると色々と厭な僻がついてゐるから此方に居た時の人であるとしても、そう、心無しに交はるのが常識でもあるまい。

又職業を求むるに少しの知る邊もない人は友人を頼つても餘り勢力のない人であると自然にその人に入りの桂庵などの口入れ屋へ行くやうになる、其所で大體方針が決定して了うのだ、これ等が流れて或は農園に働く人となり、鐵道の工夫となるのが常である、これは従來の渡米者のやり方であるからもう今後はこれではなるまい、これからは目的も少し遠大なところにつけ支度も漏れなく調へ可能的に研究してこの仕事ならと見込みがあると確信したら猛然として行つてからは一切の顧慮を捨て一直線に突進するがよし、學術なら學術、商業なら商業とその目的とした道に辿つたがよい、上陸後建築の宏壯なるのや美しく着飾つた往來人々の間に立つて茫

然驚いてゐたり。友人などが僅か一方面しか見ぬ目で忠告、助言されなどして心變はりのしそうな時には、うんと強く踏み堪えて土に嚙り付いてなりと最初の十分に調査した目的から離れぬ方にしたいものだ。さうすれば行くと直ぐから此方で考へてゐた事をば辛い苦しいといふ贅澤をも言はず必ず貫徹して行く。

これは日本でも同じ事だが彼地へ行つた人でもこの初一念を變へずによつた人が大きに成功する根元となつてゐる、この目移りから來た轉々たる心がこの人の一生を誤ませた例はいくらも舉示される日本にゐた時からこれなら良いと云ふ目的と四方八方から手廣く研究した所を飽くまで守つて行かねばならぬ、上陸してからゆつくり考へて見やうなんと言つてゐる日にはどうせ碌な事はないに極つてゐる。要は上陸後すぐとり掛る業には日本で十二分に研究しておくに云ふのである、やれ借金を拂ひますまでと

かいくらの金をとります迄と加行つてから様子を見ますといふ手合は成功する人が誠に少い、何でも一直線に目的の仕事に這入れる人だけ行つたがよい、勿論勞働的では行かれない、少しでも教育があつて行く人なら此の用意あつて然るべしである、その土地や地方の研究も此方でやつた方が廣くやれて便利に富む、行く先きを定めるにしても米國から歸つた人、その外の團體等の間に於て自由に聞かれるのだからこれ等の人々に依つて十分自分の體格に適した地を選ぶ事も出来る、殊にこれ等の人は利害損得なしに指導してくれるのだから公平な研究が出来る、米國に行つてからではどうも範圍が狭くなり易く利害關係のある人は一方を知らせても他方は秘密にする場合もあり、自分の色眼鏡をかけて見る場合も多い、であるから日本人に付き研究した方が容易でもある事は今更言を俟ない。

上陸當時警戒すへき要點

歡迎會だからと云つてつい酒を飲ませられて下戸が酒呑みの看板をかけるやうになり、些度だから付き合へと悪所へさゝのかされてそれが病み付きの原因となつたり、博打物はこんなものだと連れて行かれていつか手を出し始めて面白くて廢められぬ人になつたり或は桂庵を選び損ひ悪い職業を選び當てたりしたので生涯が泥に浸たされ又は友人の選擇から飛んだ厄介に絆らはれたりするその外で一般の人はホームシックに罹つて故郷の空忘れらず配慮と淋しさに瘦せ果てる殊に妻など残して行つた人は格別その様な心細さに取り附かれて了ふ斯いふ時に生ぢか職業を選んだりするのは非常に考へものである、この際に當つて存外意志のよはい人などは家郷へ手紙をよこして米國といふ所は思つた程でない或は中々困難でやり切れ

ないとか病氣したとか云つて弱意を吐いてやるので家では徒らに心配するばかり時には心配の餘りそれなら歸つて來いと云はれ直ぐ歸つた人さへある、このホームシックの來るのは一般であるからこれと知らぬためつい無意識の内に胃されるといふ事に氣付かぬスゴク歸つて來て又急に行きたくなる人もある、かう云ふ時は大變に消極的に傾いて困つて了ふ一體この病の發作的であるのを知つてゐればその様な場合には努めて自ら反對して決して病中職業を見付けるやうな事はしないがよいこれも最初からそれと分つて自分の病的になつたのに深い注意を怠りさへしなければ大した過りにも落ちはずまい。

尤も氣候風俗食物等も變るのでいくらか健康を害するにも相違はないから消極的になつてもよく呑み込んでかゝれば案する程でない。それには身の健康のために規則正しい生活を造り食物氣候などにも用心してゐれば

そう悪くならず其期間が通過して了ふ、もし病にでも罹ると費用は嵩むばかり、而して収入としては更になく持つて行つた金も消え失せる、これ等の打撃に負けては遂に精神上に變調を帯びる始末になる、これ等の事は著者が多大の實例を見來つたのであれば渡米者は吳々も緻密な頭腦から割り出して手抜かりの起らぬ様着々と其計畫通りに進んで行く大勇猛心の養成が平素に於てから必要である。

ホームシックは元來亡國病である、島國のものが少し外國に出かけると直に此様な状態に落入りやすい、吾人日本人がかゝる考を持つは恥だと思ふやうにならねばならぬ、英國の今日の富を爲せる所以は海外發展の念の強い爲であつて、デホー氏の著したロビンソンクルソーの冒險談の如きが小説ではあるが、彼れなぞに含まれたる思想でこれが臣民中に行き涉つてゐるのに大いに基因する、アレキサンダーセルカークが冒險によつて暗示

を得てデホーが書いたもので實際あつたものでは無きも、英國民の思想を現してゐた事は確である、千六百六十一年から千七百六十一年に至る間の英國は、宗教界、政治界の紛争ざりで國內で愚圖々々してゐた時であつたが此書が出たので、海へ〜と云ひ出すやうになつた、内地にゐたつて到底駄目だと云ふ様になつてゐた時に當つてかういふ思想を持つ人が現れるのは當然の事、即ち到るところは故郷であると云ふ考へからどし〜海の外へ海の外へと出るやうになつた、之れが英國民をして今日の富を致させた原因故、日本人も少し海外に出れば直にホームシックにかゝるやうな弱いところの無いやうにしたいものである。

ホームシック之れが敢て國を愛する所以ではないのである、内地に於てもこのホームシックにかゝり易い地方と然らざる國とがある、この病的にかゝりやすい地方の人は東京へ出てても却々事を爲し難い弊がある、況して

海外へ出て行くなら尙ほこの様な島國的根性を取り去らねばならぬ。

此状態は長くつゞくものではないが、その僅の時に大動搖を來して一生を誤る人も出るのである、日本人も此様な状態が長く續いては、到底海外發展なぞ思ひもよらず、大和民族の發展も前途心細い次第であるから英國民のやうに勇敢の氣性を養ひ、内にゐて、不景氣〜でたら〜であるよ

り思ひ切つて出た程なら後を振り返らず、猛然直進されたいものだ。今では英國民は海外何れの地に於ても實權を握つてゐる、何處の地に碇泊して見ても彼等の國旗の見えぬ所は無い、即ち彼等至るところこれ吾が家郷の思想より海外何れの地に於ても或人は大旅館の主人となり、鑛山を持ち、その他有ゆる方面の開拓を爲してゐるので、他國は之れが後に續いたに過ぎぬ位のものだ。

太平洋の赤道直下に大洋島と云ふがある、これは四里四方ばかりの小島

があるが、ミラと云ふ英國人が小さなボートで、この邊の南洋諸島と利源がありさうなものだと探検して或時は覆つて沈没しかけ、或時は土人の爲に殺されんとし、日射病に犯されなぞした結果、この島を發見して、磷酸石灰の全島に滿せるを發見して、今では全世界に賣り出し、シドニーに出張店を設け、本店を英國に置き、始終往來して盛大にやつてゐる、全く國王の如き有様で、その國の女王あるに拘らず殆んど己れ一人の有の如くに振り舞ひつゝある、日本人も二百人位も働いてゐる。

之れももとを云へばロビンソンクルソーの如き海外發展の思想が此人を造つたのである、全く英國の富は海外から集めて來て得たるもの、又彼等は日本人の如くホームシックを起さぬ様、ホームを携えて行く、世界至る所に彼等はホームを持參してゐるのだ、日本人も心を大にし、ホームを持つて行くもよいが、それが能はぬとしても、海外至る所これ吾が家の考へ

であれば、このホームシックにも犯される所が微少であらう、又たとへ襲ひ來るも、目覺してをれば、自ら努めて之れに勝ち得るものである。

苦學する人に告ぐ

記者は學術研學のために誰れでもかれでも渡米すると云ふ様な企には賛成したくはない、勿論米國で學問の出來ぬわけもなければ少しばかりの學問で生活して行かうとする人に對してはどうも感心されぬ、日本でも記者は學問でパンを得やうといふ苦學生の思慮を戒めてゐる、苦學して學術を修めたからとて別に法律にも觸れはしてないのだけれど、學術にしつゝり適當した頭腦の人なら寧ろ獎勵するのが順である。

日本といふ國は極めて貧乏な財政に餘裕のない國だからよしんば其人の家に金はあつたとしてからに學資を取り寄せて修業するなどは贅澤の沙汰

ではあるまいか、それも従來の僻見を脱却して勞働の神聖なるを認め運動でもする積りで働けばどうやら、やつて行けぬ事はない、米國太平洋沿岸の如きはスクールボーイと云ふのがあつてこれに従事すれば學問も可なり、出来る少し大きな町に行けばハイスクールがある、これに入學する位の人にはスクールボーイでも十分に支へて往ける。

最もハイスクールに入れぬ人はグランマースクールか夜學にでも入れる、何れでも働けたら其れで行ける、働くと言へは大袈裟だが日本にあるとこれ位は身體の爲に運動するにしか當らない、スクールボーイで學校に行くには午前八時から午後三時迄にして其前後各二時間宛働かさへすれば食はした上にお晝の辨當も立派にしてくれる（梨子の一つ二つやサンドウッチ、林檎、鹽位容れたもの）で、あるから身體も好くなる、日本の上流の人が郊外散歩に行く位のものに有り附く、朝夕の食事にしてもみな其割に悪か

らう筈はない尙その上に規則的に朝夕働けば自然衛生上強壯になるは勿論の事である、その朝夕の仕事と云つても尤も手輕いものに過ぎぬステツプを洗つたり或はストープの掃除、皿を洗つたり櫥側を拭いたり、ガーデンに水を注ぐ、そんな事を繰り返すのが精々なれば頗る容易な事である、そして一室は與へられて寢臺もあり電氣かガスもつく。寢臺のシーツや枕掛けも一週間に一度はちやんと洗濯してくれる、主人の使つたハンカチや又番號が合へはカラー、ガフスもくれ、筆筒や机も古いものは貸してくれる、まして約束以外の働きをすれば別に心付けもある、契約以外の時間は自分の時間としてどうでも自由に學び得らる、日本などの學僕が一日働き通はすのとは違ふ、それで一週二弗都合のよい人は三弗も渡されてゐる、英語でもよく出来、性質に難が無ければ猶更餘計に呉られる、その外月謝は入らぬと來てゐる、夜學でも何んでも入らぬから一週二弗三弗貰へは小遣

には不足ないから貯めておけばそれだけつゝ増して行くばかり。

高が洗濯や文房具に拂つても知れたもの、スクールボーイで一ヶ月六圓八圓國元へ送つてゐる人もある、これでは日本の田舎の小學校の助手の月給位は送れるのだ、以上は最も運よく行つたスクールボーイである、中には大分これ迄到らぬ人もあるがその人々の心懸け奈何で親切にして實直に勤めてゐれば段々よくなるのは言はずとも明な事である。

よし主人が不親切であつても自分でさへ正直に仕事をテキパキ片付けて行けば、いつかは給料も上かつてゆく、殊に夜學にでも行く人なら晝間は一日働られるから、ハウスオークを引受ければ賃金の價もよしスクールボーイの二倍三倍の収入にもなる。かうやつて勉強してゐた人も随分あること、から果して大學迄進むにはどうだらうといふにこれは一般にやれるとは確答は出来ない、ハイスクールに一二年、大學三年としてこれは始めか

ら身體が健全で着々豫算通りに實行した後の効果である、が一體自由の國なれば身體の健否や周圍の事情が多く中途に挫折させる機會を與へてゐるだから大學卒業は頭抜けて意志の強固な人でなくては駄目であると思つた方が間違なし、ハイスクールだけで廢めても一般白人と交際も間に合ひ役にも立つから學校は大概これ位に切り上げてそれよりか日米貿易に従事するとか會社、銀行とかに入り世に出て實地に働いた方がよい、何時までも戀々として學才もないのに學校に計り居た所で何もならない、それも天才を持つた人なら大に成功してから人類のために大に盡すに越した事はない尤も東部にはスクールボーイの口も少ないからスクールボーイで學ばんとする人は太平洋沿岸に居る方がよいのであるシカゴ以東になると或人の世話で特別に學校に入れてくれるかなんぞでないとも六ヶ敷くてやれそうもない、だからハイスクール迄は西部で卒へ、大學に入る様になつてか

ら東部へ移る様にするものが多い、かうして一ト通り成功して歸つてゐる人などはいくらもある。

學資ある學生に告ぐ

學資を家から仰ぐ事の出来る人は無論貰ふがよい、然し學校を卒業してから何になるかは考へものである、それも米國にて仕事を見付る人は兎もかく、學資でもある人は家に歸つて或る位地を獲得しやうと努める傾向であるが、米國製のマスターオブアーツ、ドルトルフイロソヒー等は果して何を内地でやつてゐるか、それ故學問ならば何を苦に病んで態々米國三界まで出かけなくとも濟むぢやないか、それよりも日本の大學でやつた方が多くの實力を得られ又便宜をも得られる、これは飾りない正直正銘の言である、日本に歸つてゐる人や現に米國にて研學してゐる人などもそれを言

つてゐる、多くの實例でも解かる、中には米國でなければやれぬ様な學術もある、金も惜し氣なく貸出して盛んに研究してゐるものもあるからこれは米國の方が優つてゐる、例へば天文學の如きは日本では頼んと駄目だが向ふでは富豪が莫大な金を出して迄やらしてゐる、或は某々の大學の腦髓の研究とか云ふ風で一人りの生徒に澤山の教師が喰付いてゐる様なものもある言はずともその結果は知るべしである、それ等の學術は渡米前から充分研究しておく事が大切である、今後の日本は深き意味のある英文學か電氣工學か醫學等その一つを選ぶには將來を見越した卓見を有つてゐる必要がある如何なる場合にも國勢と吻合すべき種類の學術でなくてはいけぬ。もし電氣工學なら日本よりも米國の方が利益であると思當がつかう英文學ならそれが何よりも自分にとつて適當であると思へばそれは一決する即ち日本に歸つて來た時丁度役に立つといふやうにやらねば嘘である、單に大

の眞似をしてやれ哲學博士だのドクトルだとか云つたりして肩書ばかり光つてゐても何にもならぬ、學科に依つてはさう難義して彼地まで行かずとも苦學の事ならまだしも尊い金を日本から持つて行く必要がない人によつては西部でやれるのや東部ハーバートに行かねばならぬのもあらうが苦學するなら矢張り田舎の大學であれば親切にもしてくれ方法も與へてくれるからその方へ向ふのもよいが、が學科に特色のことに就いては自由に選擇出來ぬ一面があるのでそれは學資ある人に譲らねばならぬ。で學資は三十弗から五十弗もあれば足りる、農商務省ではその海外練習生に對して大學へも何所へも入らぬに係らず二十五弗から三十五弗迄下げてゐる。それは少し不足であるらしい。

太平洋沿岸なら未だ廉く食ふ道もあるがそれも學校の都合次第なれば定額は以上の如しとする、唯此様な金を費つて扱その結果は如何と一考して

見るこれだけの金さへあれば日本で高等學校から、大學を修めてから運よくば文部省の留學生になつて行く事も出来る、これが至極穩當なやり口である、向ふへ行つて一生やる氣ならともかく歸つてから仕事でもしやうとするには日本で大學を卒へた方がよいに異存はあるまい。唯學科の如何によりては米國に往くのがよい事があるは勿論である。

日米貿易に志す學生に告ぐ

上陸後に何をやつたらよからうかなど色々考へあぐみ煩悶を重ねた上で日本將來のため且つは自己のためから打算して日米貿易の必要を認め得たなら一意これに従事するのも可なりだ尙この様な人々に限つて一、二年日本で十分その準備を仕上げ居たならと思はれるが、併し初め先方へ渡つて色々な仕事に手を出して見たがどうも身體に適せず思はしくないとなれ

ば勢ひ先きに考へた商法に還るのが策の得たものである、商賣ならば矢張り日米貿易がよいとなる、これなら日本品を米人に賣り擴めさへすれば論は無い商賣と云へば米國では日本人はみな日米貿易となるのだ、小さい店では米國品を賣つてゐるのもあるが漸く大きな店となれば誰しも勝手の分つた日本品を米人に賣り捌くやうになる、又其方が利益が多いのである。却説日米貿易に就ては著者は從來の先輩者がやつたのよりは一步進んだ所を敢て試みて欲しい、一つ方面をひろげ、ロッキーマウンテンを越えてイーストの方へ立ち廻れば隨て品物もはけて行く、品によつては賣行きの奈何もある事なれば必ずしも山を越したからと云つて悉く首尾がよいとは言へぬ。シラネバタを越しロッキーマウンテンの間、モルモン教徒の多いユタアイダホ等の如きは茶を飲まぬから(今では少し用ふるやうになつたが)太平洋沿岸よりも茶商に成算は立たぬ譯であるが米國全體に擴めやうとするにはロッキ

一以東ニューヨークの方角に突進するに在るのだ、これも言葉には容易な様に聞えるが其實却て難しいものである、何も志したからとて必ず成功するには極まらない、深い要求の下に立つて確乎としてやる程の氣概があるなら日米貿易で差し當り是非語學に熟達してこれが流暢に行けば意志の疎通も利き米人の人情風俗も解し厭す可き時は厭し、愛嬌を振り撒く時は笑ひを上手にこなすやう、すべて時機を見計ひ相手の米人に通するまゝに動く宗教上の觀念も、日本人は由來偶像教徒と輕蔑されてゐるから彼等のエホバの神を信奉して成る丈米紳士に信賴される事を旨とする、それに事務には勤勉を第一として飽迄も精力的であり常に彼等の嗜好、需要に應ずる日本品を持つて行けば疑ひなく成功の道も拓かれる、最初その下稽古として白人間に雜り白人の店に働くもよい、然しさうして立つにはどうで英語が拙劣では困難である、よし上手に話せるにしても太平洋沿岸では

餘り雇つてくれ手が無い之に反して東部へ行けば日本人も少ないし又雇つてもくれる。

かくして白人の中では英語しか使はぬ様に心して言語、行爲も寸分違はぬまでに白人に同化すれば信用も湧いて來ると同時に仕事も都合よく捗ゆくであらう。

特種の事項を研究する學生に告ぐ

渡米せんとする人の内にはそれ々の目的を有つてゐる、譬へば専門の學校を踏まずに或る特種の一事項に深い趣味を有してゐる爲めでの研究を完成させやうとて渡米した人もある、鮭の鑑詰とか牧畜の方の研究とか製材の事、寫眞術或は保險の方、興信所の事、米國の養蠶の不可その視察とか從來これ等特種の研究に抱負を以つて行つたものも多かつたけれど一

度上陸すると事志と違ひ徒らに素志を遂ぐるに由なくて苟めの生活に轉じた人も尠くなかつた、鱒の鑑詰研究者が即刻バンに差し支へてハウスオークをやつたりキッチンに働いたりスクールボールになつたりして最早初めの志望も弗と厭になり鱒の鑑詰は何處へか姿を隠し知らぬ顔で目的外の商法に宿替へして見たり農業に頭を出したりする連中が多かつた、どうしたものが折角樂みにしてその報告を待ち構へてゐる故郷の團體へも父兄の許へも又は新聞へ報告の約束ありしも闇み雲に沙汰もせず生死の程も知らずと云ふ人もある、これ等はみな日本に居た時日本の事よりか米國の事情を落度なく調べて置いたなら解つたらうに、米國に實際發達して居ないものを的切り發達してゐると勘違ひして行くからの事で、もう／＼こんな莫迦な真似は二度と再び復習せぬ様念には念を入れるが賢しい遣り方である、若し特種の事項研究と出かけるにはこれは米國がよいか英國か佛國か

と仔細に調査する、こゝで判然解つたなら農商務省でも相應に便宜を與へてくれる、専門家の側でも世話もするし力行會などでも力を盡してどうにかしてやる。

銚の鐘詰ならバンクーバーの南フレザリーバーの方でやつてゐるとか製材會社はバンターバーンヤトル邊りに澤山所在するとか、會得して行けば間の抜けたドチも踏むまい、これなら働きもし研究も出来る何事も東洋流の大ざつぱにやつては粗漏が多く終には尻毛を出すやうになる、精確に研究して行つたがよからう。

農商務省の海外練習生は毎年二度試験の上で採用するからこれに當つてから行けば金を貰つて其事項には責任を負ふて調査も行き届く事になる、種類は何んでもあるからその人が適任者と認めらるれば選抜に預かる譯である、米國ならば七十圓迄は下附される、でどうかかうか甘く漕ぎつける

公務の餘暇に働きもすれば書籍も買へる、斯いふ人ならば歸朝するとして官省の關係もあり社會の信望もあるから職業などは心配するに及ばない。

また本國との連絡にも事缺かぬので常に内地の事情にも通じ歸つて來ても決して智識に於ては遅れる筈が無い、能く新歸朝者の中には歸朝早々大仕掛けの事業を始やうと意氣込んでゐると案外にもそんな事は日本で已に古いものとなり發展の方面が閉ぢられてゐるので開いた口が塞がらぬみじめな目に突き當る人もある、で内地の事情にも常にも遅れずして三年四年歩武を並べて調査を結了して戻れば一寸大したものである、最初の内にかりにも心を緩めて外の事に浮氣を寄せる事があればどうしても後には蹉躓の主因となる、必ず外の事に深入りしては折角研究しやうと決心した事もいつかはそち退けといふ風になる、これが段々大陸風のルーズに流れズル

ズルべつたりに其れなりになつて了ふ、特種の事項を研修する志の人は大體此の心懸けにして着手せねばならぬ。

迷ひは何よりも其人を誤らせる裏切りなのだ、戯談ではない、了見一つでどうにもなる。

一技を専修せよ

特に此項を設けたのは戒心の、餘韻と見てもよい、前記の通り特殊研究のうちには二三兼備の人もあり又歳と共に變る人あり或は靴から洗濯屋菓子屋料理と取り換へて行く人などもある所謂蛇蜂とらすの失態は多く此等の人から産み出される、とかく四圍の推涉と一所に變りやすいは人心、迷ひやすいのが常であるとは云へ當人の爲悲しむ可き事である、記者は此等多くの成り行きを視るに第一、日本で將來生活して行くか、將た米國に永住

するかその何れかによつて従つて研究す可き技術も違つて來る米國で計畫するもので日本でも景氣の好いものもある米國で善くつて日本では駄目なものもある、従つてその技術も將來米國に住むか日本で住むかが極まつた上の事となる、畢竟日本に歸るとしたなら恰度その頃社會必須の技術を研究することにしたい。

彼の森永西洋菓子の主人は數年の間一意専念製造の技能を磨き日本へ歸つてから着々成功し出した、森永氏の偉い所もあらうが、一つはその時勢に離れず時好に投じた觀がある、がこれも森永氏が依然米國に踏み留つてゐたらどうなつたか分らない、又もう少し早く歸朝して存外思軒不遇であつたかも知れぬ勿論艱難辛苦してその濫輿を究めたのでもあるが時機の適切か一番肝要であつたらう斯く米國か日本かその一つに決定した上でその未來を見越し之れと思ふ一技を専修する事を切望する、それも尙人眞似す

るのは以つての外の僻事である、模擬は吾人の耻辱なりと獨人は言つた模倣は自殺なりとエマーンソンは言つた何でも新しい路を擴く意表外の事をやる。人がレストランで儲けたからと云つては無鐵砲にそれがよい、靴店で店を廣くしたから己れも一つやつてみようといふ工合に日本人の常として同じ場所に同じ業を出しては角突き合ひを始めるのみ、これが米國に於てさへ然り況ん日本に於てはそれ以上のものがある。

ドクトル、オブ、ミデシンで成功したからオイそれ、デッチャストが甘いからとて己れもやるわけでは誠に外聞もよからず、拙手の極である、何んにしても先づ奇想天外より來るものに見落しなく常に着目せん事を潜かに期する様あつて欲しい、斯して數年を一つの事に精力を集注してやつたら必ずその効驗偉大となり多くの人も感服する事であらう。

この種類の人なら双を擧げて渡米を御すゝめ申すのである。

歸るか歸らぬか

將に渡米せんとする渡米者に向つて友人や親戚のものが「君は一體歸るのか歸らぬか」と訊く記者も時々この術語を浴びせかけると奮發した人は永住と言ひ放つ或人は三年とかいや何に十年とか三十迄は歸られませんとか言ふ、この年數は何でもない様だが成功に大影響がある、弱腰の人なら仕事の出來ぬは定のものなれば言ふ迄もないが、どうせ志を立てたなら永住がよい、けれど人によつてはそれに適せぬ人、家庭の事情に迫られてどうも行かぬ人もある此一事を好加減に抛つておくとどうして仕事の選び方研究の上にも拘はる此曖昧は著しく其人を賊する、上陸の際友人に聞かれて頭を掻き乍ら年數を確答し兼ねる人もありこれでは困る、いつも仕事をやる時永住とか、歸へるとか迷つてゐる人は居常その事が頭を司配して落付

きがないで研究も金儲けもすべて此一事の如何によつて決定される、出来るならそれは永住の方がよい色々な事情もあれば、それと非難もされまい、永住するからと云つても故國に背く爲ではない、米人になつてゐる日本人がなくては其後から續く數百萬の日本人の幸福を最も正確に保證する事が出来ない、永住も皇國のため永住せずして戻ると其間に何も變はりはないのだ要は確然と歸るか歸らぬかを自覺してそれから、調査、研學、仕事を、それと着手するが利益である、從來の渡米者に聞いても一體曖昧な人は三、四年間は愚圖く送つて丁ひ馬鹿な夢を見た人があつたと云ふ、今漸く永住の氣になつて道具など買ふ人や永住であつた人が歸る氣になり出し子供の教育など米風にておいたものが連れて歸るとなれば即ち半米人半日本人といふ妙な板挟みにして困る事もある、先輩者の多くもこの平凡なやうで極めて重大な「歸るか歸らぬか」を先決する必要ありと云つてゐる。

永住出來ぬ人が空元氣で又は理窟からのみこの永住計畫も立てやうものならそれは問題でない、これでは駄目なのだから再三思をこゝに到して、適當の處分を自己に對して確定せられたきもの也。

神學を學ばんとする學生に告ぐ

基督教を學び歸朝して傳道せんとする人、或は在米同胞を指導せんとするキリスト信者は如何にして神學校に入る可きかと云ふに信仰が強くて熱烈である事が何より大切であるが同時に名利の念に淡く、救濟の念に富んだ人でなければならぬ、でないと將來傳道に殉じた所で見ると可き効果が現はれず又、神學校に入るにも其資格が無いのだ、神學校に入りさへすれば補助して貰へるから、安氣に食つて勉強が存分出來て行かれる。或神學校の如きは教育局より三百圓、傳道局より二百圓、かれこれ、五、六百圓の金

は樂に與へられるのだそれでも猶不足であれば夏季休業中、何處かへ傳道に出掛けて傳道説教するか勞働に身を投じて相當に金を貯蓄し足らぬ部分を埋めて行くやうにする。何にしるそうまでせずとも金錢の注意に疎かな人は別として大抵、給與されただけのもので儉約すれば、どうやらやれない事はない。

最も神學校は哲學、倫理、論理、心理學、比較宗敎學、或は文學、史學と云ふ如き科目を一通り研究した上改めて修めるのであるから、その道筋のうちで特に頭に適した學科があるなら結局は畢生の研究をその方に傾注して行くも好い、心理なら心理學の大家、論理、或はグリーキ語の蘊奥に入るのも悪いとは云へない、故に神學校に入つたからと云つて必ず牧師か傳道師にならねばならぬ譯のものではなからうけれど學校では實際牧師となる人を希望するのであれば概して實地の傳道師に従事する向きの人の

みが入學すべきものと心得おかねばならぬ、哲學その他の高尚な學問をやつて中學の教師となるのは敢て傳道の精神に背反した所爲でもないか元來、神學校は主として牧師を作りたいのだからその心算で入らねば後悔の來ないも限らない、卒業すれば日本へ歸つても牧師として衣食の道は至つて安全なものである、又、思想界に貢獻して其名をなす者も尠なくはない一體に人間を善導して行く事なれば職業として愉快でもあり、並びに時代の思潮に棹さしその中流に浮ぶのであればいかにも生々として箇中別天地を俯仰する態度が忍ばれて、まことにゆかしいこれに入つて先方の補助に依り學びたいと思ふ人は先づ眞正な信者であり且つ衷心から傳道に従事せんとする希望者であれば始め或教會の會員となつて牧師からの推選がなければならぬ現今、米人が日本傳道に漸く趣味を失つたかのやうなれど流石は富裕な米國であれば未だ全く日本からの神學生を拒むやうなことは無く

養成に力を盡してゐる神學を修める人は成る可く小さな教會の神學校には入らずして大きな方に志願したがよいそれはすべての設備も完全で大成される譯であれば。又氣質に合はぬ流派の神學校にも入らぬ様に注意したい、譬へば極く冷靜に思索する性分の人が神學の二校を教へるに止め狂熱的に活動する救世軍の如きに入ると重い悶えが後から起つて來る又、狂熱的な人が哲學的の神學校に入つても矢張り同じ事であるこれを思量してからその學校を選ぶ可きで有る多くの神學校は日本の中學校卒業程度の人を喜び迎へる、勿論これに入つてから心理學や哲學を研究する爲めになら卒業したつて薄幸に陥り易いか唯バンに有り附けるからと云ふ卑鄙な考へから割り出して神學校に入るのは却々問題である、少しく勞働に疲れ果てた者がよく神學校へ避難する傾向などあるけれどこれではどうも學校のためにもならず本人にとつても善い事でないのか結果が甚よろしく無い眞から抑壓

も能はぬ一片の信仰があつてこそ自ら進んで入校すべきものである。

日本にゐても米國神學校に交渉すれば親切に聞いてよこす、それには綿密な記入す可き用紙も付いてゐて、適當なものを見ればそれで入學を許可してくれる、ムーデーならムーデーの神學校に直接手紙を出せば必ず丁寧な案内書を呉れる。

大學に入らんとする者に告ぐ

大學校に入るには無論早稻田、慶應、同志社を卒つた人なら直ぐにもスタンホードなどの如くに、本邦の或學校と關係ある大學に入學する事が出来る、これは學校と學校との間に兼て交渉が成立してゐるからである、よしんば入學が叶つたとしてもレクチャーが解らない人では失望である、日本で五年十年學んだ人で相手の言語は聞きわけて自分の意志を向ふへ通する

には容易な事ではない、特に天才のある人でもプロナウンゼーション、ア
クセント等を彼地で大きに直はさねばならぬ、實力の有る人でも或はグラ
ンマースクール或はハイスクールなどで少し癖直しをやる、それからなら
生徒教師の言語もわかりレクチュアを筆記するにも都合よくなるのだ、
連絡の有無に係らず、大學に入らんとする人はこのハイスクール或はグ
ランマースクールで學ぶそれにはスクールボーイになつて通學する、此
所では日本でやれない科目を十分修めておけば大學に行つてから樂であ
る。

日本で中學以上の教育を受けるか或は連絡のついてゐる學校に學んだも
のでも日本での英語はとて、役に立ちかねるから向ふで新規にやり直し
が必要となる、でなければ大學でも講義を半分しか聞けぬ人となる、それ
は及第し學校は卒業しても實力は怪しいものである、それも唯、肩書だけ

とりに行つた人なら兎に角、眞實研學に行つた人なら定めし自ら顧みて撫
然たる所があるであらう、學資の都合等などで思ふ通りの學校に入れない
人は太平洋沿岸よりロッキを越して田舎の大學に入り或一科目を充分に
修めそれからシカゴ、エール、コロンビア等の大學に學ぶ様學校から交渉をつ
けて貰つてその親學校と云ふやうなものを卒業して澤山金箔をつけて來た
方がよろしい、併し最初も話した通り大學と云つても有り觸れた容易な學
科で胡魔かし、やつとマスターオブアーツ何々學士と興づいて日本に居つ
ては、そんなものはもうゴタ／＼前が支へてゐるので餘り面白い目にも會
はずに萎けて了ふ、それより今迄に無い日本にも嶄新な學術を深く研究し
て來るに限る、それが妙なもので米國に上陸して色々と奮闘に奮闘を重ね
て散々苦んだ揚句にモ一なんでも構はないといふ氣になり大學に入つただ
けで自分勝手に偉らがつて居るものがある、日本將來が大に要求する學科